

松山市国民健康保険
第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)・
第4期特定健康診査等実施計画(案)

(令和6年度～令和11年度)

松山市国民健康保険

目次

第1章 保健事業実施計画(データヘルス計画)の基本的な考え方		
1.	背景・目的	P.1
2.	計画の位置付けと基本的な考え方	P.2
3.	計画期間	P.4
4.	関係者が果たすべき役割と連携	P.5
5.	保険者努力支援制度	P.6
第2章 第2期計画にかかる係る考察及び第3期における健康課題の明確化		
1.	保険者の特性	P.7
2.	医療の状況	P.9
3.	介護の状況	P.17
4.	特定健康診査・特定保健指導	P.19
5.	第2期データヘルス計画に係る評価	P.24
	(個別事業の評価と課題)	P.25
6.	第2期データヘルス計画に係る考察と課題	P.33
7.	第3期データヘルス計画の目標設定	P.34
第3章 課題を解決するための戦略		
1.	保健事業の方向性	P.35
2.	個別の保健事業	P.35
	(個別保健事業計画)	P.36
3.	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	P.42
4.	ポピュレーションアプローチ	P.42
第4章 特定健康診査・特定保健指導の実施(法定義務)		
1.	第4期特定健康診査等実施計画について	P.43
2.	目標値の設定	P.43
3.	特定健診の実施	P.44
4.	特定保健指導の実施	P.45
5.	個人情報の保護	P.47
6.	結果の報告	P.47
7.	特定健康診査等実施計画の公表・周知	P.47

第 5 章 計画の評価・見直し	
1. 評価の時期	P.48
2. 評価方法・体制	P.48
第 6 章 計画の公表・周知及び個人情報の取扱い	
1. 計画の公表・周知	P.48
2. 個人情報の取扱い	P.48
参考資料	P.49

第1章 保健事業実施計画(データヘルス計画)の基本的な考え方

1. 背景・目的

平成25年6月14日に閣議決定された「日本再興戦略^{※1}」では、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「計画」の作成、公表、事業実施、評価等を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」とされ、平成26年3月に示された「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」(厚生労働省告示)を踏まえ、PDCAサイクル^{※2}に沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画(データヘルス計画)を策定し、保健事業の実施・評価・改善等を行うこととなりました。

また、平成30年4月からは、都道府県が共同保険者となり、令和2年7月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2020(骨太方針2020)^{※3}」では、保険者のデータヘルスの計画の標準化等の推進が掲げられ、令和4年12月の経済財政諮問会議における「新経済・財政再生計画 改革行程表^{※4}2022」では、「当該計画の標準化の進展に当たり、保険者共通の評価指標やアウトカムベースでの適正なKPIの設定を推進する。」と示されました。

このような動向を踏まえ、本市では、健康課題を解決するための効果的・効率的な保健事業の実施に向け、「第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)」を策定しました。

※1 日本再興戦略:我が国の経済再生に向けて、産業基盤の強化、医療・エネルギー等の市場創出、国際経済連携の推進や海外市場の獲得等、第二次安倍内閣が掲げた成長戦略のこと(H25.6 閣議決定)

※2 PDCA サイクル:P(計画)→D(実施)→C(評価)→A(改善)を繰り返しながら業務の精度を高め、目標を実現するための枠組み

※3 経済財政運営と改革の基本方針:政府の経済財政政策に関する基本的な方針を示すとともに、経済、財政、行政、社会などの分野における改革の重要性とその方向性を示すもの

※4 新経済・財政再生計画 改革行程表:新経済・財政再生計画に掲げられた主要分野ごとの重要課題への対応と KPI(重要業績評価指標)、それぞれの政策目標とのつながりを明示することにより、目指す成果への道筋を示すもの

2. 計画の位置付けと基本的な考え方

(1) これまでの変遷

第1期 計画期間 平成27年度～平成29年度（3年）

第2期 計画期間 平成30年度～令和5年度（6年）

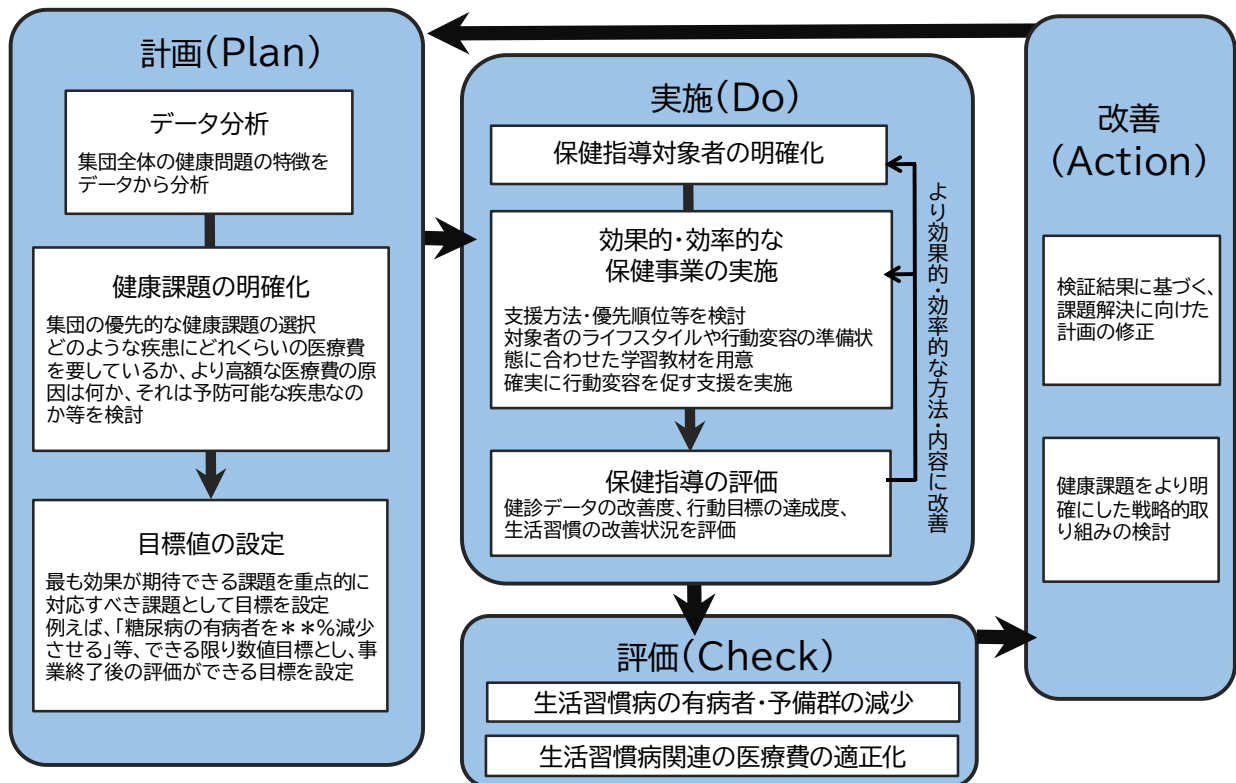
(2) 第3期データヘルス計画

データヘルス計画は、被保険者の健康の保持増進に資することを目的として、保険者等が効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るため、特定健康診査の結果やレセプトデータ等の健康・医療情報を活用し、PDCAサイクルに沿って運用するものです(図表1-1)。

計画策定に当たっては、データ分析を行い優先的に取り組むべき健康課題を抽出した上で、健康増進法に基づく「基本的な方針」を踏まえるとともに、健康増進計画や医療費適正化計画、特定健康診査等実施計画など各種計画と調和のとれたものとする必要があります(図表1-2)。

また本計画は、都道府県と保険者が共通の認識を持ち、一定の方向性を持って保健事業を展開していくため、本市が目指す目標の中に、愛媛県内共通の評価指標も設定しています。

図表1-1：保健事業のPDCAサイクル



図表1-2: データヘルス計画とその他法定計画等との位置付け

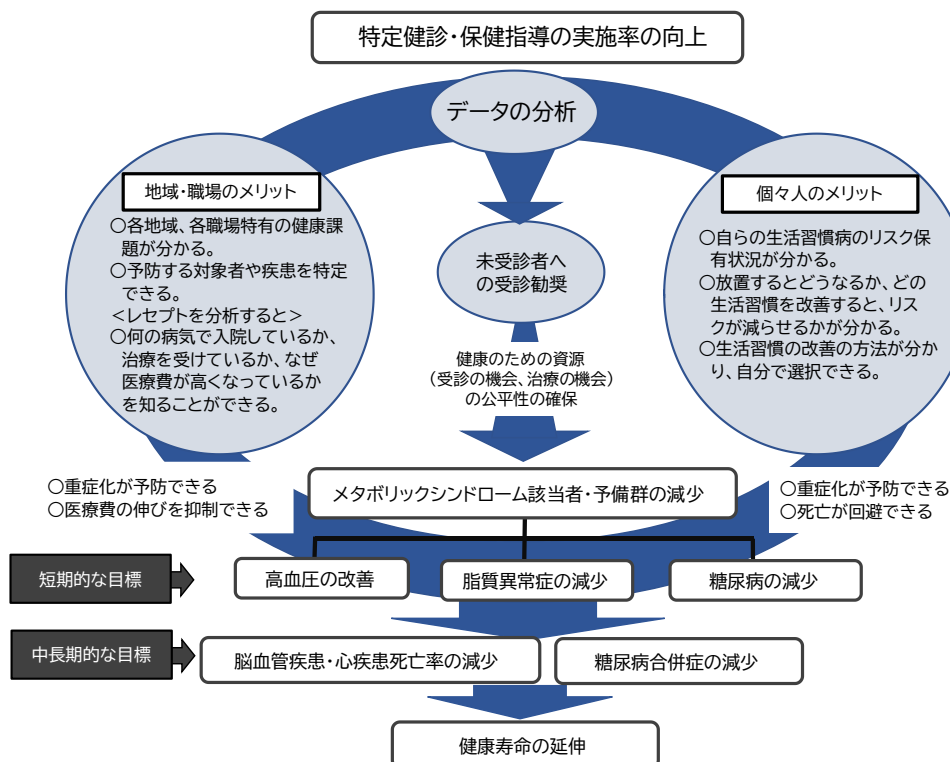
	健康増進計画	データヘルス計画 (保健事業実施計画)	特定健康診査等 実施計画	医療費適正化 計画	医療計画 (地域医療構想含む)	介護保険事業 (支援)計画
法律	健康増進法 第8条、第9条 第6条 (健康増進事業実施者)	国民健康保険法 第82条 健康保険法 第150条 高確法 第125条	高齢者の医療の確保に 関する法律 第19条	高齢者の医療の確保に 関する法律 第9条	医療法 第30条	介護保険法 第116条、第117条、 第118条
根拠・期間	令和6~17年(12年)	令和6~11年(6年)	令和6~11年(6年)	令和6~11年(6年)	令和6~11年(6年)	令和6~8年(3年)
計画 策定者	都道府県:義務 市町村:努力義務	医療保険者	医療保険者:義務	都道府県:義務	都道府県:義務	市町村:義務 都道府県:義務
基本的な 考え方	全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現に向け、誰一人取り残さない健康づくりの展開とより実効性を持つ取組の推進を通じて、国民の健康の増進の総合的な推進を図る。	被保険者の健康の保持増進を目的に、健康・医療情報を活用しPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業実施計画を策定、保健事業の実施及び評価を行う。	加入者の年齢構成、地域的条件等の実情を考慮し、特定健康診査の効果的かつ効率的に実施するための計画を作成	持続可能な運営を確保するため、保険者・医療関係者等の協力を得ながら、住民の健康保持・医療の効率的な提供の推進に向けた取組を進める。	医療機能の分化・連携の推進を通じ、地域で切れ目のない医療の提供、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制を確保	地域の実情に応じた介護給付等サービス提供体制の確保及び地域支援事業の計画的な実施を図る。
対象年齢	ライフステージ (乳幼児期、青壮年期、 高齢期) ライフコースアプローチ (胎児期から老齢期まで 継続的)	被保険者全員	40歳~74歳	すべて	すべて	1号被保険者 (65歳以上) 2号被保険者 (40~64歳で特定疾病 がある者)
対象疾病	メタボリックシンドローム 内臓脂肪型肥満 糖尿病 糖尿病合併症 (糖尿病性腎症) 循環器病 高血圧 脂質異常症 虚血性心疾患 脳血管疾患	メタボリックシンドローム 内臓脂肪型肥満 糖尿病 糖尿病性腎症 高血圧 脂質異常症 虚血性心疾患 脳血管疾患	メタボリックシンドローム 内臓脂肪型肥満 糖尿病 糖尿病性腎症 高血圧 脂質異常症 虚血性心疾患 脳血管疾患	メタボリックシンドローム 糖尿病等 生活習慣病の 重症化予防	5疾病 糖尿病 心筋梗塞等の 心血管疾患 脳卒中 がん 精神疾患	要介護状態となることの予防 要介護状態の軽減・悪化防止 生活習慣病 虚血性心疾患 ・心不全 脳血管疾患 認知症 フレイル 口腔機能低下、低栄養
補助金等		保健事業支援・評価委員会(事務局:国保連合会)による 計画作成支援 保険者努力支援制度(事業費・事業費連動分)交付金		保険者協議会(事務局:県、国保連合会)を通じて、 保険者との連携		地域支援事業交付金 介護保険保険者努力支援交付金 保険者機能強化推進交付金

(3) 第4期特定健康診査等実施計画

特定健康診査等実施計画は、保健事業の中核をなす特定健診及び特定保健指導の具体的な実施方法を定めるものであることから、データヘルス計画と一体的に策定します。

さらに、「標準的な健診・保健指導プログラム(令和6年度版)^{※5}」(以下「プログラム」という。)は、高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健診・特定保健指導を中心に、健康増進法に基づく生活習慣病対策を推進するための効果的な健診・保健指導を実施するに当たり、事務担当者を含め、健診・保健指導に関わる者が理解しておくべき基本的な考え方や実施する際の留意点等を示したものであることから、基本的な考え方については、プログラムに準じた実施が求められています(図表1-3)。

図表1-3： 特定健診・特定保健指導と国民健康づくり運動



注)プログラムにおいては、保健指導により発症や重症化を予防でき、保健指導の成果を健診データ等の客観的指標を用いて評価できるものを主な対象としている。データ分析を行い解決すべき課題や取組が明確となり、分析に基づく取組を実施していくことは、健康寿命の延伸ひいては社会保障制度を持続可能なものとするにつながる。

3. 計画期間

この計画の期間は、令和6年度から令和11年度までの6年間^{※6}とします。

※5 標準的な健診・保健指導プログラム(令和6年度版)での中長期的な目標疾患は、脳血管疾患・心疾患、糖尿病合併症の減少を用いている。なお、心疾患には健康づくりにより予防可能でないものも含まれているため、予防可能な循環器病の発症を予防し、結果として心疾患全体の死亡率を減少させることを目指すことより、保健事業実施(データヘルス)計画においては、第2期同様虚血性心疾患を予防の対象疾患とする。また、糖尿病合併症である細小血管障害(網膜症、腎症、神経障害)、大血管障害のうち、個人の生活の質への影響と医療経済への影響とが大きい糖尿病腎症に着目することとする。

※6 データヘルス計画の期間については、平成26年3月厚生労働省告示「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」第5の5において、「特定健康診査等実施計画や健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とすること」とされており、これらとの整合性を踏まえて設定

4. 関係者が果たすべき役割と連携

(1) 市町村国保の役割

本計画は、被保険者の健康の保持増進と保健事業の積極的な推進を図るため、国保部局が中心となって策定し、保健衛生部局等住民の健康の保持増進に関係する部局と連携を図りながら効果的・効率的な保健事業を実施・評価し、必要に応じて計画を見直します。

また、被保険者に対しては、健康課題の周知や生活改善のための情報を提供し、主体的かつ積極的な取組を促します(図表1-4)。

(2) 関係機関との連携

計画の実効性を高めるため、本市の健康課題や取組を、共同保険者である愛媛県のほか、国民健康保険団体連合会、医師会、薬剤師会等の関係機関と共有し、連携、協力して取り組みます。

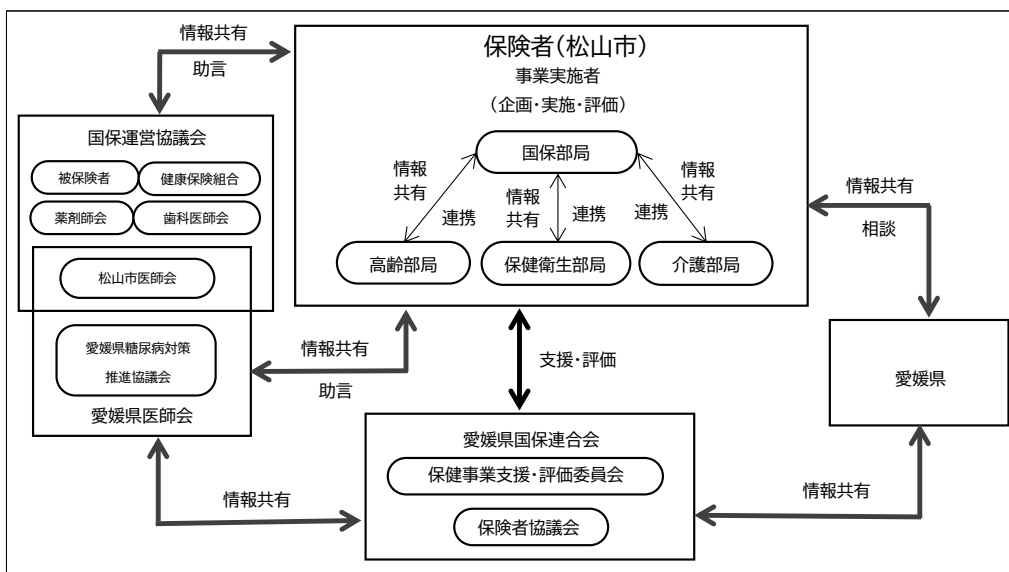
また、被保険者が保険者間を異動しても切れ目のない支援が行えるよう、保険者協議会や、後期高齢者医療広域連合、地域の医療機関や大学等とも連携、協力します。

(3) 被保険者の役割

本計画の最終的な目的は被保険者の健康寿命の延伸や健康の保持増進であることから、被保険者自身が健康の保持増進が大切であることを理解し、主体的・積極的に取り組むことが重要です。

また、国保運営協議会の委員として、取組の方向性について意見を述べるなど計画の策定や推進にも参画します。

図表1-4：松山市の実施体制図



5. 保険者努力支援制度

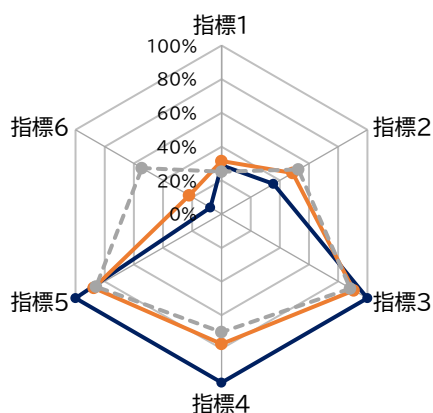
保険者努力支援制度は、医療費の適正化に向けた取組等を支援するため、保険者の取組状況に応じて国から交付金が交付される制度です。

本市では、共通指標③～⑤などは得点率が高いものの、共通指標①、②、⑥が低い傾向にあります（図表1-5）。

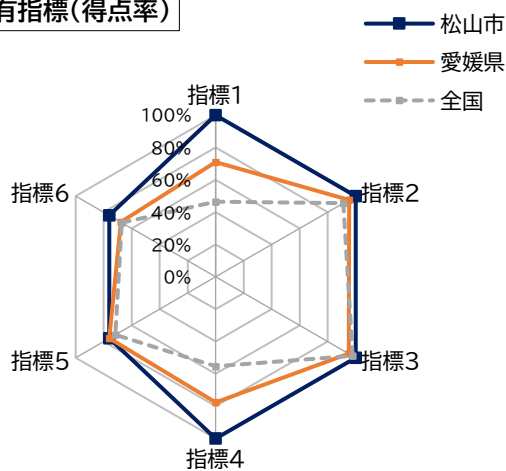
図表1-5：令和4年度保険者努力支援制度(取組評価分) 結果

		満点	松山市		(得点率)	
共通	指標①	特定健診受診率・特定保健指導実施率・メタボ該当者及び予備群の減少率	190	55	点	28.9%
	指標②	がん検診受診率・歯科検診受診率	70	25	点	35.7%
	指標③	生活習慣病の発症予防・糖尿病等の重症化予防・特定健診受診率向上の取組の実施状況	120	120	点	100.0%
	指標④	個人インセンティブ・分かりやすい情報提供	60	60	点	100.0%
	指標⑤	重複・多剤投与者に対する取組の実施状況	50	50	点	100.0%
	指標⑥	後発医薬品の促進の取組・使用割合	130	10	点	7.7%
合計		620	320	点	51.6%	
		満点	松山市		(得点率)	
固有	指標①	保険料(税)収納率	100	100	点	100.0%
	指標②	データヘルス計画の実施状況	30	30	点	100.0%
	指標③	医療費通知の取組の実施状況	20	20	点	100.0%
	指標④	地域包括ケア推進・一体的実施の取組状況	40	40	点	100.0%
	指標⑤	第三者求償の取組の実施状況	50	38	点	76.0%
	指標⑥	適正かつ健全な事業運営の実施状況	100	76	点	76.0%
合計		340	304	点	89.4%	

共通指標(得点率)



固有指標(得点率)



第2章 第2期計画に係る考察及び 第3期での健康課題の明確化

1. 保険者の特性

(1) 本市の人口と国保加入者

本市の国保加入者は、令和4年度が約9万6千人、加入率は19.0%で、いずれも徐々に減少しています。年代別では、65歳以上の割合が45.9%となっています(図表2-1)。

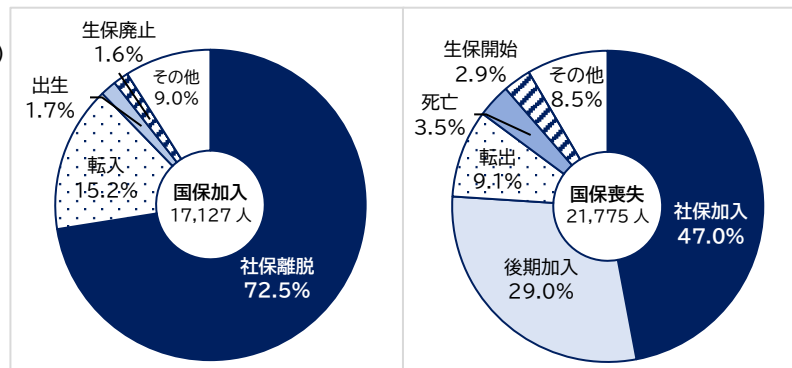
加入理由は社会保険からの離脱が最も多く72.5%、喪失理由は社会保険への加入が47.0%、後期高齢者医療保険への加入が29.0%となっています(図表2-2)。

図表2-1: 人口と国保加入者の推移

	H30	R01	R02	R03	R04
人口	511,649 人	509,797 人	508,371 人	505,521 人	502,052 人
国保加入者	106,427 人	103,311 人	102,334 人	100,180 人	95,532 人
国保加入率	20.8%	20.3%	20.1%	19.8%	19.0%
65歳以上加入者	47,607 人	47,086 人	47,492 人	46,596 人	43,824 人
65歳以上加入者割合	44.7%	45.6%	46.4%	46.5%	45.9%

出典: 国民健康保険事業概要

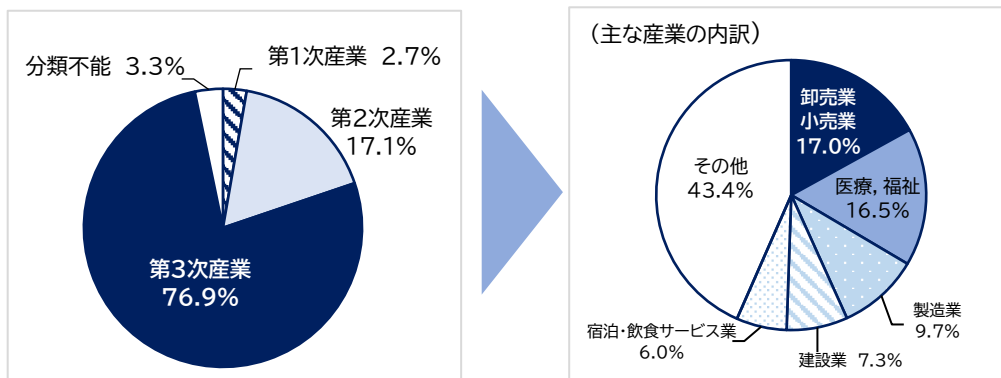
図表2-2:
被保険者の異動状況(R04年度)
出典: 国民健康保険事業概要



(2) 本市の産業の状況

本市の産業は第3次産業が76.9%を占め、卸売・小売業と医療・福祉の割合が高くなっています(図表2-3)。

図表2-3: 本市の産業の状況



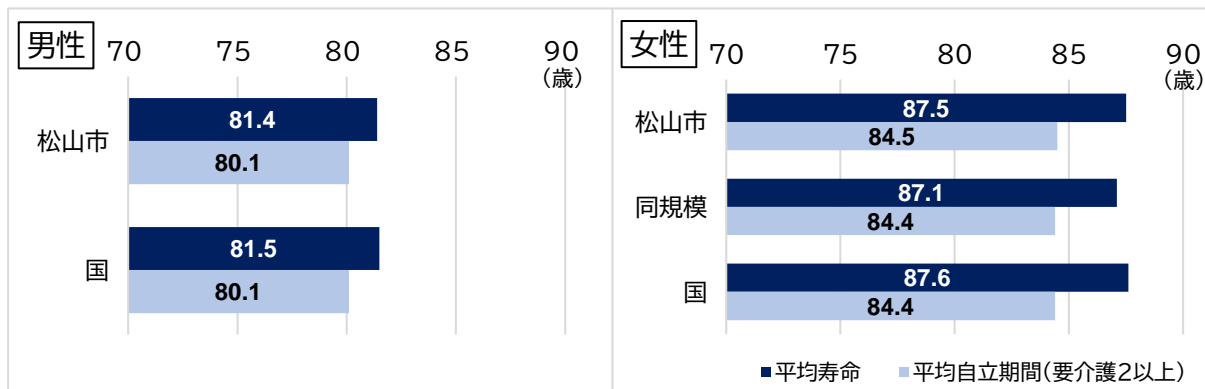
出典: 令和2年国勢調査

(3) 平均寿命と平均自立期間

本市の平均寿命は、男性81.4歳、女性87.5歳、「平均自立期間^{※7}」は、男性 80.1歳、女性 84.5歳となっています。

平均寿命と平均自立期間の差は、男性1.3歳、女性3.0歳で、女性の方が長くなっています(図表2-4)。

図表2-4： 平均寿命と平均自立期間



出典：(平均寿命)令和2年市区町村別生命表
(平均自立期間)KDBシステム_地域の全体像の把握

(4) 主たる死因の状況

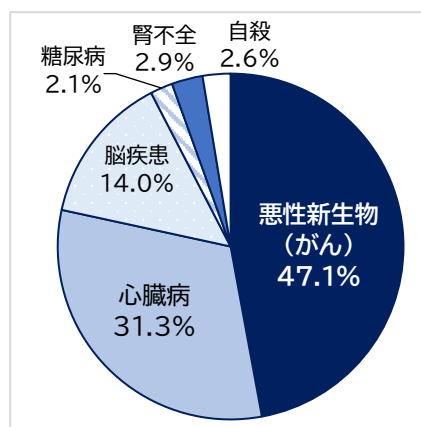
本市の令和4年度の主たる死因は、悪性新生物(がん)の割合が最も高く、次いで心臓病・脳疾患となっています。

また、本市は同規模保険者^{※8}や国^{※9}と比べて心臓病・脳疾患の割合が高く、特に心臓病は約4ポイント高くなっています(図表2-5, 2-6)。

図表2-5： 主たる死因の状況(R04年度)

疾病項目	松山市		同規模	国
	人数	割合	割合	割合
悪性新生物(がん)	1,485	47.1%	51.2%	50.6%
心臓病	989	31.3%	27.3%	27.5%
脳疾患	443	14.0%	13.3%	13.8%
糖尿病	66	2.1%	1.9%	1.9%
腎不全	91	2.9%	3.5%	3.6%
自殺	81	2.6%	2.8%	2.7%

図表2-6： 主たる死因の割合(R04年度)



出典：KDBシステム_地域の全体像の把握

※7 平均自立期間：要介護2～5を不健康な期間とし、平均余命からこれを除外した「日常生活動作が自立している期間の平均」を指す
 ※8 同規模保険者：中核市・特別区のうち、KDBシステムに参加している自治体
 ※9 市町村・特別区のうち、KDBシステムに参加している自治体

2. 医療の状況

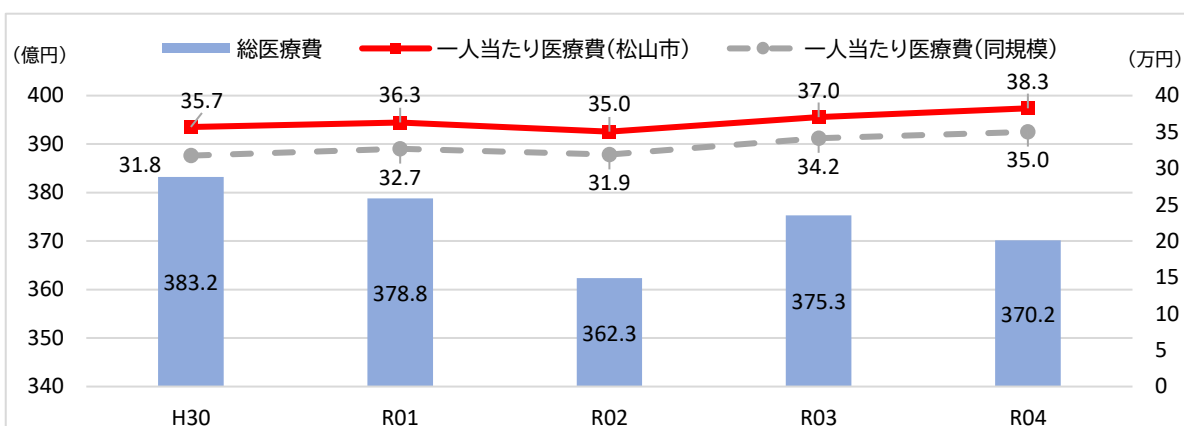
(1) 医療費の状況

1) 医療費の推移

本市では、被保険者数の減少に伴い総医療費は減少傾向ですが、一人当たり医療費は増加しています。また、一人当たり医療費は、国や同規模保険者と比べて高くなっています(図表2-7, 2-8)。

入院・外来別では、費用の割合は入院が減少し外来がやや増加していますが、1件当たり費用額は、入院・外来とも増加しています。また、医療機関の受診率は平成30年度と比べて上昇し、国や同規模保険者と比べても高くなっています(図表2-8)。

図表2-7: 総医療費と一人当たり医療費の推移



出典:KDB システム 地域の全体像の把握

図表2-8: 医療費の推移

年度	松山市				同規模	県	国
	H30		R04		R04	R04	R04
総医療費	383.2 億円		370.2 億円		--	--	--
一人当たり医療費	35.7 万円	県内 13 位 同規模 15 位	38.3 万円	県内 16 位 同規模 18 位	35.0 万円	39.0 万円	34.0 万円
入院	1件当たり費用額	54.4 万円		59.6 万円	62.9 万円	58.0 万円	61.8 万円
	費用の割合	42.4%		39.4%	39.2%	42.3%	39.6%
	件数の割合	3.0%		2.6%	2.5%	3.0%	2.5%
外来	1件当たり費用額	2.3 万円		2.5 万円	2.5 万円	2.4 万円	2.4 万円
	費用の割合	57.6%		60.6%	60.8%	57.7%	60.4%
	件数の割合	97.0%		97.4%	97.5%	97.0%	97.5%
受診率	768.3		781.1		721.7	771.2	705.4

出典:ヘルスサポートラボツール

2) 年代別医療費の推移

令和4年度の医療費総額は、平成30年度に比べ減少していますが、65～74歳では、医科・歯科、調剤のいずれも65歳未満の約1.5倍となっています。(図表2-9)。

図表2-9：年代別医療費の内訳

	医療費総額(億円)		医科・歯科(億円)		調剤費(億円)	
	H30	R04	H30	R04	H30	R04
65歳未満	162.1	159.7	136.6	132.5	25.5	27.2
65～74歳	253.0	248.4	213.9	206.6	39.1	41.8

出典：国保総合システム

3) 高額レセプトの状況

1件当たり100万円以上の高額レセプトは、総医療費の約2割を占め、令和4年度は平成30年度と比べてやや増加しています(図表2-10)。

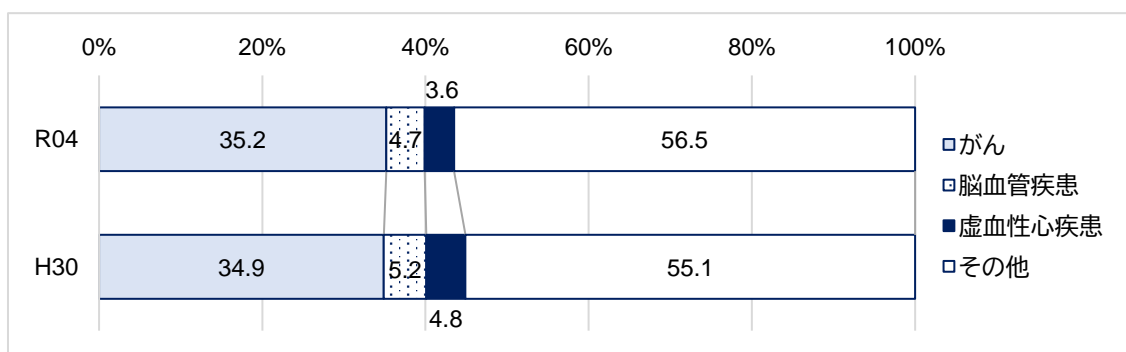
また、高額レセプトの内訳は、悪性新生物(がん)が最も多く、令和4年度は総医療費の35.2%を占め、悪性新生物や心疾患、関節疾患などが上位を占めています(図表2-11, 2-12)。

図表2-10：高額レセプト(100万円/件 以上)の推移

対象年度		H30 年度	R01 年度	R02 年度	R03 年度	R04 年度
総医療費		383.2 億円	378.8 億円	362.3 億円	375.3 億円	370.2 億円
レセプト総件数		100.9 万件	98.8 万件	91.6 万件	94.5 万件	93.3 万件
対象者数		2,951 人	2,584 人	2,665 人	2,755 人	2,691 人
費用額	A	72.1 億円	67.7 億円	68.1 億円	74.1 億円	72.4 億円
	A/総医療費	18.8%	17.9%	18.8%	19.8%	19.6%
件数	B	4,564 件	4,111 件	4,245 件	4,456 件	4,402 件
	B/総件数	0.45%	0.42%	0.46%	0.47%	0.47%

出典：ヘルスサポートラボツール

図表2-11：高額レセプトの総費用に占める割合



出典：ヘルスサポートラボツール

図表2-12: 令和4年度 高額レセプト(100万円/件 以上) 内訳 費用額降順

順位	疾病名	人数	件数	費用額 (億円)
1	その他の悪性新生物<腫瘍>	389	641	10.47
2	その他の心疾患	194	287	6.03
3	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	183	345	5.05
4	関節症	249	282	4.80
5	その他の神経系の疾患	96	156	2.59
6	虚血性心疾患	120	133	2.58
7	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	17	81	2.43
8	骨折	137	162	2.41
9	悪性リンパ腫	39	81	1.77
⋮				
12	脳梗塞	81	118	1.53
⋮				
14	脳内出血	53	102	1.49

出典:KDB システム(様式 1-1)基準額以上となったレセプト

4) 疾病別医療費の状況

① 総医療費の内訳

令和4年度の総医療費のうち、最も多いのは新生物<腫瘍>で、次いで循環器系の疾患、筋骨格系及び結合組織の疾患となっており、平成30年度と比べ、新生物<腫瘍>や内分泌、栄養及び代謝疾患が増加しています(図表2-13)。

図表2-13: 疾病別医療費(大分類)^{※10}

	医療費(億円)	
	H30 年度	R4 年度
新生物<腫瘍>	60.8	66.2
循環器系の疾患	52.8	47.3
筋骨格系及び結合組織の疾患	38.2	36.9
内分泌、栄養及び代謝疾患	33.1	33.7
精神及び行動の障害	31.9	28.3
尿路性器系の疾患	30.5	27.5
神経系の疾患	26.5	24.9
呼吸器系の疾患	23.2	21.9
消化器系の疾患	22.7	20.9
その他	62.3	60.9

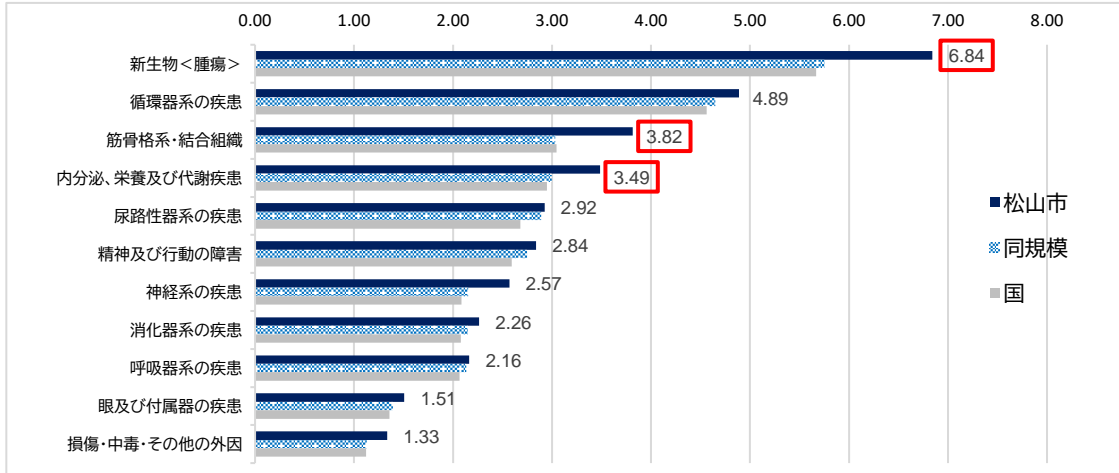
出典:KDB システム 疾病別医療費分類(大分類)

※10 疾病別医療費分析(大分類):「循環器系の疾患」には脳血管疾患や心疾患、原疾患となる高血圧症を含む。「内分泌、栄養及び代謝疾患」には糖尿病や脂質異常症を含む。

② 疾病別の一人当たり医療費(大分類)

一人当たり医療費を疾病別に比較すると、ほとんどの項目で同規模保険者や国と比べて高く、特に「新生物<腫瘍>」、「筋骨格系・結合組織」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」で差が大きくなっています(図表2-14)。

図表2-14: R04年度 疾病別一人当たり医療費(大分類)

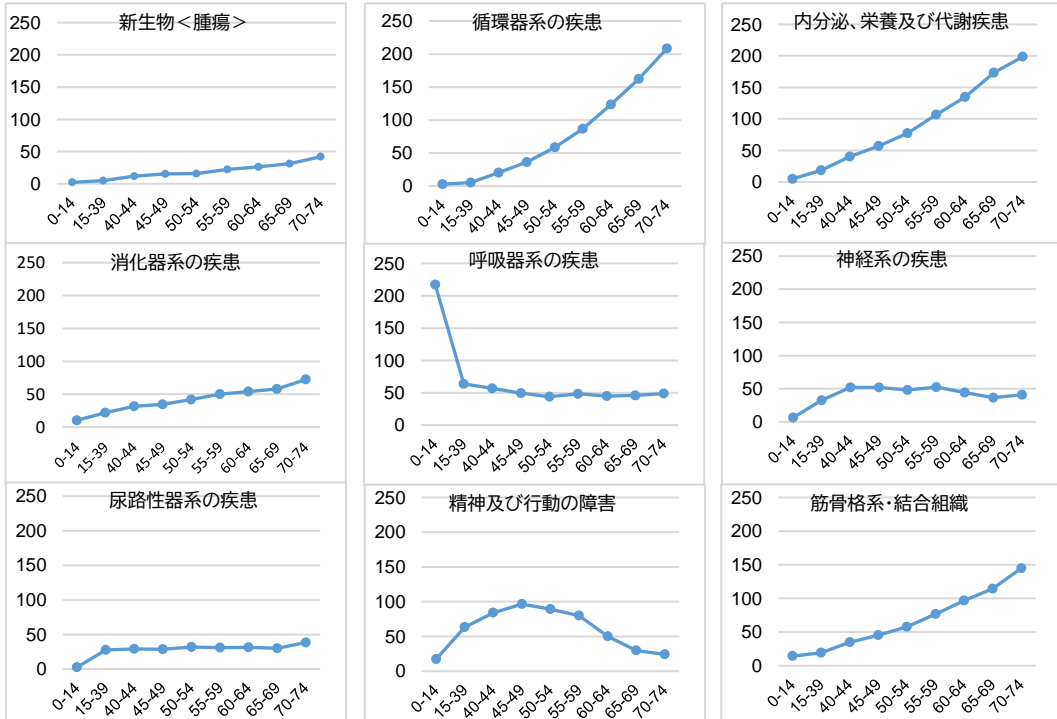


出典:KDB システム 疾病別医療費分析(大分類)

③ 年齢別の受診状況

疾病別の千人当たりレセプト件数を年齢別に比較すると、15歳未満では「呼吸器系の疾患」が多く、40歳代以降は「循環器系の疾患」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」が顕著に増加しています(図表2-15)。

図表2-15: R04年度 年齢別千人当たりレセプト件数(大分類)



出典:KDB システム 疾病別医療費分類(大分類)

(2) 中長期目標疾患の状況

1) 医療費の推移と国・同規模保険者等との比較

中長期目標疾患(脳血管疾患・虚血性心疾患・慢性腎臓病)が総医療費に占める割合は、平成30年度の8.93%に比べて約1ポイント減少していますが、疾患別で見ると、脳梗塞・脳出血や狭心症・心筋梗塞は、国や同規模保険者と比べて高い状態が続いています。

その他、悪性新生物や筋骨格系・結合組織の疾患も国や同規模保険者と比べて高くなっています(図表2-16)。

図表2-16: 中長期目標疾患の医療費の推移

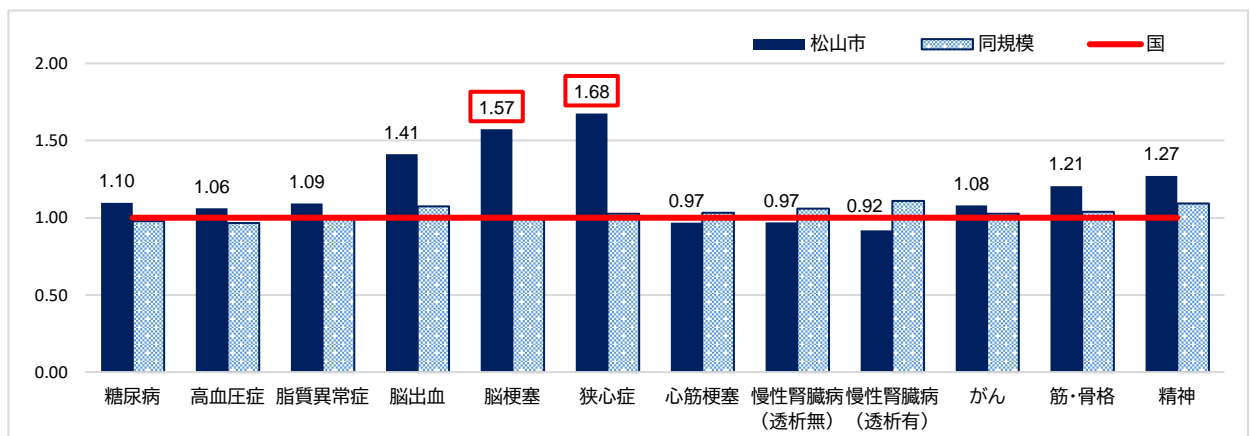
		松山市		同規模	県	国	
		H30年度	R04年度	R04年度	R04年度	R04年度	
総医療費(円)		383.2億円	370.2億円	--	--	--	
中長期目標疾患 医療費合計(円)		34.2億円	29.2億円	--	--	--	
		8.93%	7.90%	8.39%	7.91%	8.03%	
松山市	脳	脳梗塞・脳出血	2.60%	2.36%	2.05%	2.30%	2.03%
	心	狭心症・心筋梗塞	1.85%	1.63%	1.45%	1.58%	1.45%
	腎	慢性腎不全(透析有)	4.23%	3.66%	4.59%	3.75%	4.26%
		慢性腎不全(透析無)	0.25%	0.26%	0.30%	0.27%	0.29%
その他の 疾患	悪性新生物		15.87%	17.89%	16.43%	17.44%	16.69%
	筋骨格系・結合組織の疾患		9.97%	9.98%	8.56%	9.80%	8.68%
	精神疾患		8.31%	7.42%	7.85%	8.34%	7.63%

出典:KDBシステム 健診・医療・介護データから見る地域の健康課題
注)最大医療資源傷病*11(調剤含む)による分類結果

2) 千人当たりレセプト件数(外来)の比較

千人当たりレセプト件数(外来)をみると、糖尿病、高血圧、脂質異常症などの短期目標疾患は、同規模保険者や国と比べてほとんど差がない半面、中長期疾患では、脳梗塞・狭心症などが1.5倍を超えて高くなっています(図表2-17)。

図表2-17: R04年度 千人当たりレセプト件数の比(外来) 国を1.0とした場合の比較



出典:KDBシステム 疾病別医療費分析(細小(82)分類)

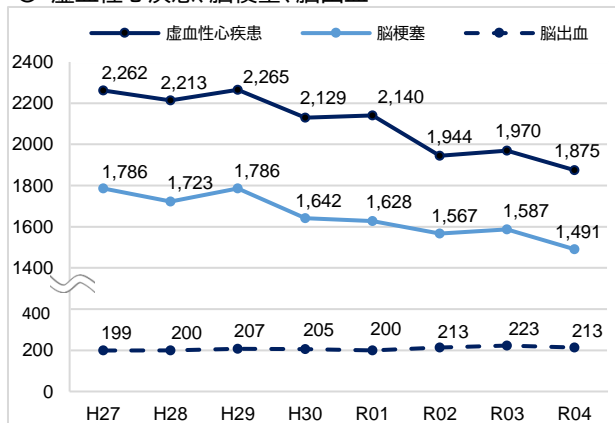
※11 最大医療資源傷病名:レセプトに記載された傷病名のうち、最も医療費を要した傷病名

3) 新規患者の状況

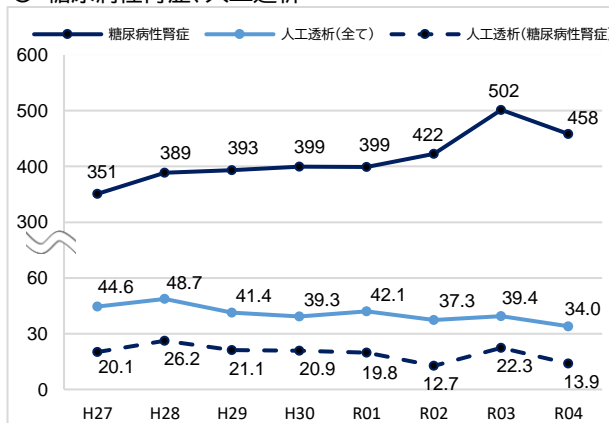
中長期目標疾患の新規患者の推移をみると、虚血性心疾患と脳梗塞では減少し、脳出血は横ばいとなっています。人工透析の原因疾患である糖尿病性腎症は増加傾向にありますが、人工透析導入者の伸びは抑えられています(図表2-18)。

図表2-18: 新規患者の推移(人口10万人対)

○ 虚血性心疾患、脳梗塞、脳出血



○ 糖尿病性腎症、人工透析



出典: DHP システム_新規患者集計リスト

4) 治療の状況

中長期目標疾患を治療している人の割合を平成30年度と比較すると、脳血管疾患と虚血性心疾患では低下し、人工透析は横ばいとなっています。年代別では、65~74歳で脳血管疾患が0.6ポイント、虚血性心疾患で1.0ポイント減少しています(図表2-19)。

図表2-19: 中長期目標疾患の治療状況

年齢区分		被保険者数		中長期目標の疾患							
				疾患別	脳血管疾患		虚血性心疾患		人工透析		
		H30年度	R04年度		H30年度	R04年度	H30年度	R04年度	H30年度	R04年度	
治療者(人) 0~74歳	A	107,365	96,767	a	9,021	7,951	8,537	7,276	427	413	
				a/A	8.4%	8.2%	8.0%	7.5%	0.4%	0.4%	
再掲	40~64歳	C	34,088	30,577	c	1,843	1,581	1,821	1,517	205	176
		C/A	31.7%	31.6%	c/C	5.4%	5.2%	5.3%	5.0%	0.6%	0.6%
	65~74歳	D	47,537	44,075	d	7,103	6,297	6,623	5,674	213	228
		D/A	44.3%	45.5%	d/D	14.9%	14.3%	13.9%	12.9%	0.4%	0.5%

出典: KDB システム_疾病管理一覧(脳卒中・虚血性心疾患)、地域の全体像の把握

(3)短期目標疾患の状況

短期目標疾患を治療している人の割合は、平成30年度に比べて高血圧症・脂質異常症・糖尿病の全てで上昇し、40～64歳より65～74歳の方が高くなっています。

そのうち、合併症(中長期疾患)を治療している人の割合は、平成30年度と比べて高血圧症・脂質異常症では概ね低下しているものの、糖尿病では、脳血管疾患・虚血性心疾患の治療割合が低下している反面、糖尿病合併症の治療割合が増加しており、特に、65～74歳で増加しています(図表2-20, 21, 22)。

図表2-20: 高血圧症治療者の状況

高血圧症		40～64歳		65～74歳		
		H30年度	R04年度	H30年度	R04年度	
高血圧症治療者(人)	A	7,604	7,023	24,030	22,982	
	A/被保数	22.3%	23.0%	50.6%	52.1%	
合併症 (中長期目標疾患)	脳血管疾患	B	971	825	4,108	3,626
		B/A	12.8%	11.7%	17.1%	15.8%
	虚血性心疾患	C	1,156	976	4,729	4,195
		C/A	15.2%	13.9%	19.7%	18.3%
	人工透析	D	195	163	202	221
		D/A	2.6%	2.3%	0.8%	1.0%

出典:KDB システム_ 疾病管理一覧(高血圧症)

図表2-21: 脂質異常症治療者の状況

脂質異常症		40～64歳		65～74歳		
		H30年度	R04年度	H30年度	R04年度	
脂質異常症治療者(人)	A	9,110	8,363	24,996	23,438	
	A/被保数	26.7%	27.4%	52.6%	53.2%	
合併症 (中長期目標疾患)	脳血管疾患	B	848	750	3,950	3,404
		B/A	9.3%	9.0%	15.8%	14.5%
	虚血性心疾患	C	1,217	1,049	4,926	4,363
		C/A	13.4%	12.5%	19.7%	18.6%
	人工透析	D	129	106	142	155
		D/A	1.4%	1.3%	0.6%	0.7%

出典:KDB システム_ 疾病管理一覧(脂質異常症)

図表2-22：糖尿病治療者の状況

糖尿病		40～64 歳		65～74 歳		
		H30 年度	R04 年度	H30 年度	R04 年度	
糖尿病治療者(人)		A	5,058	4,762	14,622	13,575
		A/被保数	14.8%	15.6%	30.8%	30.8%
合併症 (中長期目標疾患)	脳血管疾患	B	524	473	2,493	2,137
		B/A	10.4%	9.9%	17.0%	15.7%
	虚血性心疾患	C	817	727	3,402	2,937
		C/A	16.2%	15.3%	23.3%	21.6%
	人工透析	D	120	111	128	140
		D/A	2.4%	2.3%	0.9%	1.0%
糖尿病合併症	糖尿病性腎症	E	584	582	1,814	1,764
		E/A	11.5%	12.2%	12.4%	13.0%
	糖尿病網膜症	F	899	833	2,644	2,532
		F/A	17.8%	17.5%	18.1%	18.7%
	糖尿病性神経障害	G	284	257	705	659
		G/A	5.6%	5.4%	4.8%	4.9%

出典：KDB システム_ 疾病管理一覧(糖尿病)

(4) 保険者別の比較

1) 後期高齢者医療との比較

保険者別で医療費を比較すると、後期高齢者の一人当たり医療費は、国保の2.41倍高く、同規模保険者や国よりも高くなっています。疾患別に比較すると、後期高齢者の医療費割合は、糖尿病、新生物、精神疾患で国保より低いものの、中長期目標疾患はおおむね高くなっており、特に筋・骨疾患は 4.42 ポイント、脳血管疾患は2.07ポイント高い状況です(図表2-23)。

図表2-23：目標疾患が医療費に占める割合

市町村名	総医療費	一人あたり医療費(月額/円)	中長期目標疾患				短期目標疾患			(中長期・短期)目標疾患医療費計	新生物	精神疾患	筋・骨疾患		
			腎		脳	心	糖尿病	高血圧	脂質異常症						
			慢性腎不全(透析有)	慢性腎不全(透析無)	脳梗塞脳出血	狭心症心筋梗塞									
① 国保	松山市	370.2億円	30,988	3.66%	0.26%	2.36%	1.63%	5.22%	2.80%	1.94%	66.1億円	17.9%	17.9%	7.42%	9.98%
	同規模	--	28,428	4.59%	0.30%	2.05%	1.45%	5.17%	2.87%	2.06%	--	18.5%	16.4%	7.85%	8.56%
	県	--	31,528	3.75%	0.27%	2.30%	1.58%	5.53%	3.10%	1.91%	--	18.5%	17.4%	8.34%	9.80%
	国	--	27,570	4.26%	0.29%	2.03%	1.45%	5.41%	3.06%	2.10%	--	18.6%	16.7%	7.63%	8.68%
② 後期	松山市	655.3億円	74,533	4.07%	0.48%	4.43%	1.88%	4.05%	2.92%	1.50%	126.6億円	19.3%	11.3%	3.65%	14.4%
	同規模	--	73,306	4.49%	0.47%	3.76%	1.70%	4.08%	2.91%	1.47%	--	18.9%	11.2%	3.34%	12.7%
	県	--	72,588	4.43%	0.50%	4.32%	1.80%	4.12%	3.07%	1.39%	--	19.6%	10.5%	3.60%	14.0%
	国	--	71,162	4.59%	0.47%	3.86%	1.65%	4.11%	3.00%	1.45%	--	19.1%	11.2%	3.55%	12.4%

出典：KDB システム_ 健診・医療・介護データから見る地域の健康課題

注)最大医療資源傷病(調剤含む)による分類結果

3. 介護の状況

(1) 介護認定者と介護度の状況

本市の令和4年度の要支援・要介護認定率は、国保の2号認定者(40～64歳)が0.43%、1号認定者(65歳以上)が22.4%で、国や同規模保険者と比べて高くなっています(図表2-24)。

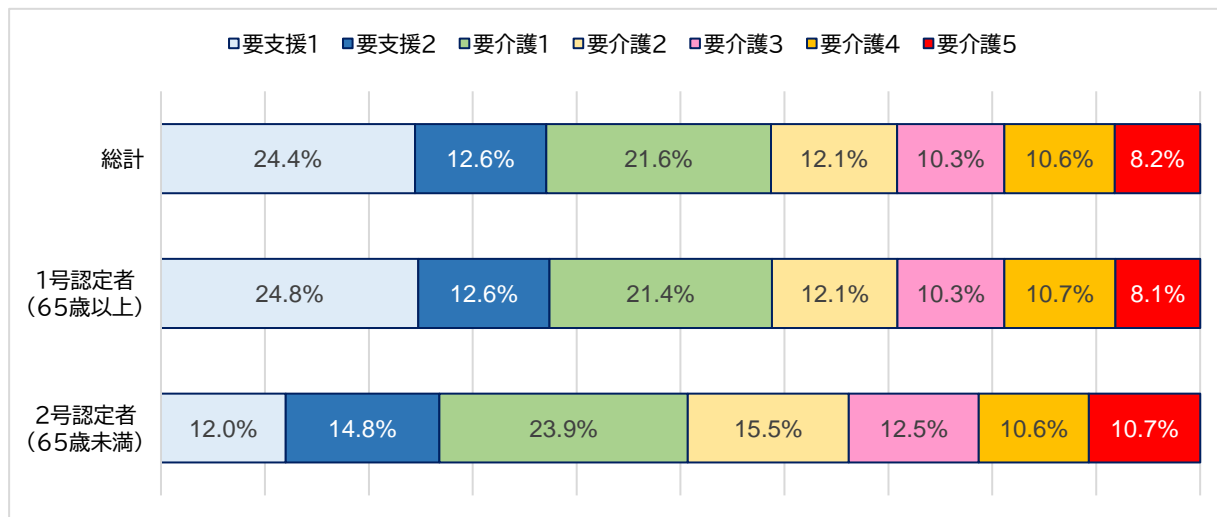
介護度の内訳は、2号認定者は要介護2以上の割合が高く、1号認定者は要支援1・2の割合が高くなっています(図表2-25)。

図表2-24: 要介護認定者(率)の状況

	松山市		同規模	県	国
	H30年度	R04年度	R04年度	R04年度	R04年度
高齢化率	25.9%	28.6%	26.4%	33.4%	28.7%
1号認定者(65歳以上)	30,062人 23.4%	31,293人 22.4%	20.5%	21.6%	19.4%
新規認定者	3,840人	3,919人	--	--	--
再掲	65～74歳	3,614人 5.4%	3,448人 5.0%	--	--
	新規認定者	705人	669人	--	--
	75歳以上	26,448人 42.8%	27,845人 39.4%	--	--
	新規認定者	3,135人	3,250人	--	--
2号認定者(40～64歳)	774人 0.46%	709人 0.43%	0.39%	0.41%	0.38%
新規認定者	151人	130人	--	--	--

出典:KDB システム_健診・医療・介護データからみる地域の健康課題

図表2-25: 介護度の内訳(R04年度)



出典:KDB システム_要介護(支援)者認定状況

(2) 介護給付費の状況

本市の令和4年度の介護給付費は、認定者の増加などにより総額は平成30年度より増加していますが、一人当たりの給付費などは減少しています。しかし、一人当たり給付費は、国や同規模保険者と比べ高くなっています(図表2-26)。

図表2-26: 介護給付費の変化

	松山市		同規模	県	国
	H30年度	R04年度	R04年度	R04年度	R04年度
総給付費	431.2 億円	452.0 億円	--	--	--
一人当たり給付費	33.5 万円	32.4 万円	30.1 万円	32.0 万円	29.1 万円
1件当たり給付費全体	6.0 万円	5.7 万円	5.6 万円	6.3 万円	6.0 万円
居宅サービス	4.7 万円	4.5 万円	4.1 万円	4.5 万円	4.1 万円
施設サービス	29.2 万円	29.7 万円	30.1 万円	29.4 万円	29.6 万円

出典:KDB システム 健診・医療・介護データからみる地域の健康課題

(3) 要支援・要介護認定者の有病状況

全ての受給者区分において、9割以上の方が基礎疾患(高血圧症・糖尿病・脂質異常症)を有しています。

また、有病割合が最も高いのは筋・骨格疾患で、2号被認定者が85.7%、1号被認定者が96.1%となっています。

血管疾患のうち最も高いのは脳卒中で、2号被認定者は66.9%と1号被認定者より11.5ポイント高くなっています。(図表2-27)。

図表2-27: 血管疾患の視点でみた要介護者の有病状況(R04年度)

受給者区分			2号		1号			合計	
年齢			40~64歳	65~74歳	75歳以上	計			
介護件数(全体)			709	3,448	27,845	31,293	32,002		
再)国保・後期			357	2,377	25,789	28,166	28,523		
レセプトの診断名より重複して計上)	疾患	順位	疾病	件数	件数	件数	件数	件数	
				割合	割合	割合	割合	割合	
	血管疾患	循環器疾患	1	脳卒中	239 66.9%	1,193 50.2%	14,416 55.9%	15,609 55.4%	15,848 55.6%
			2	虚血性心疾患	88 24.6%	751 31.6%	12,202 47.3%	12,953 46.0%	13,041 45.7%
			3	腎不全	54 15.1%	326 13.7%	4,538 17.6%	4,864 17.3%	4,918 17.2%
	合併症	4	糖尿病合併症	62 17.4%	451 19.0%	3,817 14.8%	4,268 15.2%	4,330 15.2%	
				基礎疾患 (高血圧・糖尿病・脂質異常症)	328 91.9%	2,186 92.0%	24,768 96.0%	26,954 95.7%	27,282 95.6%
	血管疾患合計			338 94.7%	2,247 94.5%	25,126 97.4%	27,373 97.2%	27,711 97.2%	
	認知症		認知症	49 13.7%	517 21.8%	11,499 44.6%	12,016 42.7%	12,065 42.3%	
	筋・骨格疾患		筋骨格系	306 85.7%	2,163 91.0%	24,907 96.6%	27,070 96.1%	27,376 96.0%	

出典:ヘルスサポートラボツール

4. 特定健康診査・特定保健指導

(1) 特定健康診査(特定健診)

① 健診受診者及び受診率の状況

本市の特定健診の対象者数は、被保険者数の減少に伴い年々減少しています。

受診率は、新型コロナウイルスの影響で健診実施を見合わせたことなどにより、令和元～2年度は低下しましたが、令和3年度以降再び上昇し、令和4年度は33.1%となりました(図表2-28)。

図表2-28 特定健診受診者の状況

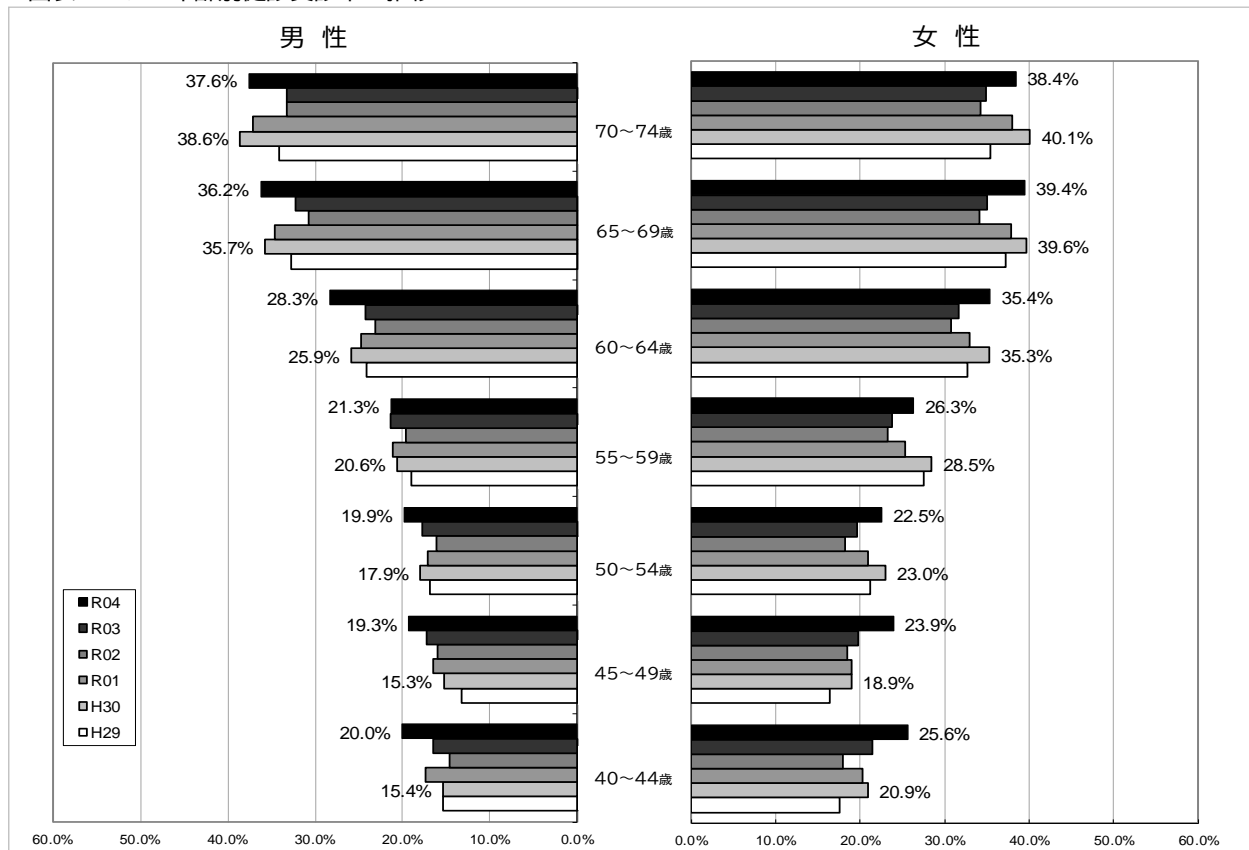
	H30	R01	R02	R03	R04
対象者	75,233 人	73,522 人	72,982 人	71,568 人	68,106 人
受診者	24,689 人	23,179 人	20,903 人	21,147 人	22,510 人
受診率	32.8%	31.5%	28.6%	29.5%	33.1%

出典:特定健診法定報告データ

② 特定健診の年代別受診率

受診率を年代別にみると、40～50歳代は60～70歳代と比べて低い状態が続いていましたが、40歳代は、男女とも他の年代より伸び幅が大きく、特に女性は平成30年度から5ポイント近く上昇しています(図表2-29)。

図表2-29: 年齢別健診受診率の推移



出典:ヘルスサポートラボツール

(2) 健診結果の状況

① 内臓脂肪症候群該当者の推移

特定健診の結果、内臓脂肪症候群と判定された人の割合は、平成30年度と比べて増加しています。性別で見ると、男性は約3割と女性より高くなっています(図表2-30)。

図表2-30：内臓脂肪症候群該当者の状況

年度	健診受診者 (受診率)	内臓脂肪症候群該当者数 (割合)		内臓脂肪症候群予備群該当者数 (割合)	
		男性	女性	男性	女性
H30	24,689 (32.8%)	4,481 (18.1%)	3,049 (30.6%)	2,549 (10.3%)	1,707 (17.2%)
			1,432 (9.7%)		
R04	22,510 (33.1%)	4,386 (19.5%)	3,021 (32.5%)	2,287 (10.2)	1,568 (16.9%)
					1,365 (10.3%)

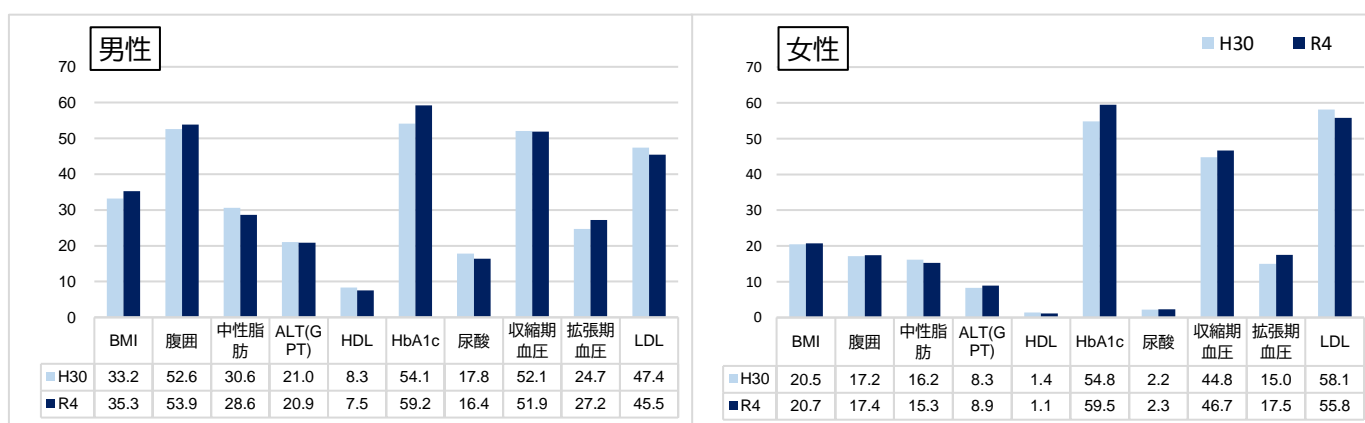
出典：特定健診法定報告データ

② 有所見者の状況

平成30年度から令和4年度までの結果で、最も割合が高かったのは男女共に HbA1c、次いで男性は腹囲、女性は LDL コレステロールでした。

令和4年度は、平成30年度と比較して減少している項目が多い中、HbA1c は男女共に増加傾向となっています(図表2-31)。

図表2-31：健診有所見者状況の推移

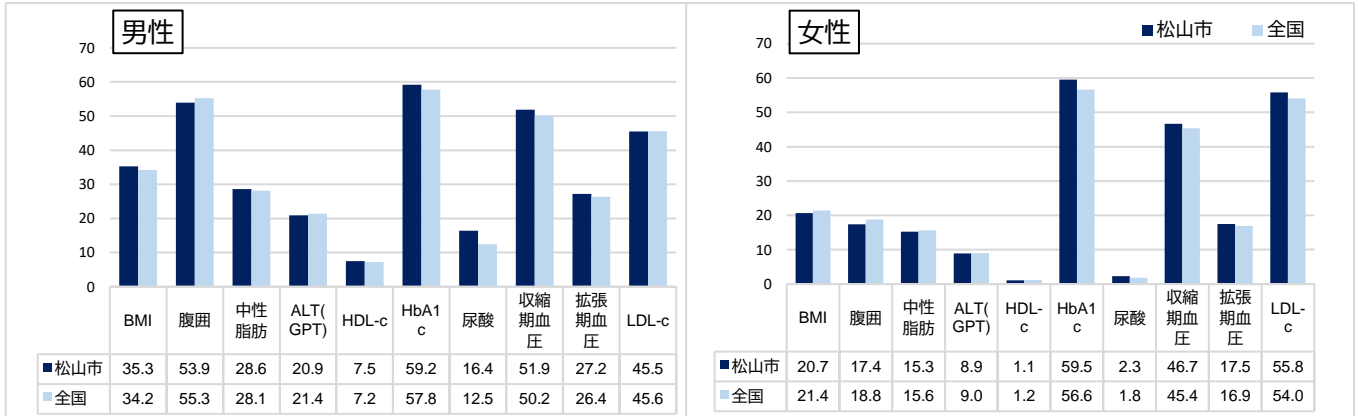


出典：KDB システム (様式 5-2) 健診有所見者状況

③ 全国との比較

令和4年度の健診有所見率を国の平均と比較すると、男女共に HbA1c と収縮期血圧、拡張期血圧が全国を上回っています。さらに、男性では BMI と尿酸が、女性では LDL コレステロールが高くなっています(図表2-32)。

図表2-32： 健診有所見者の比較



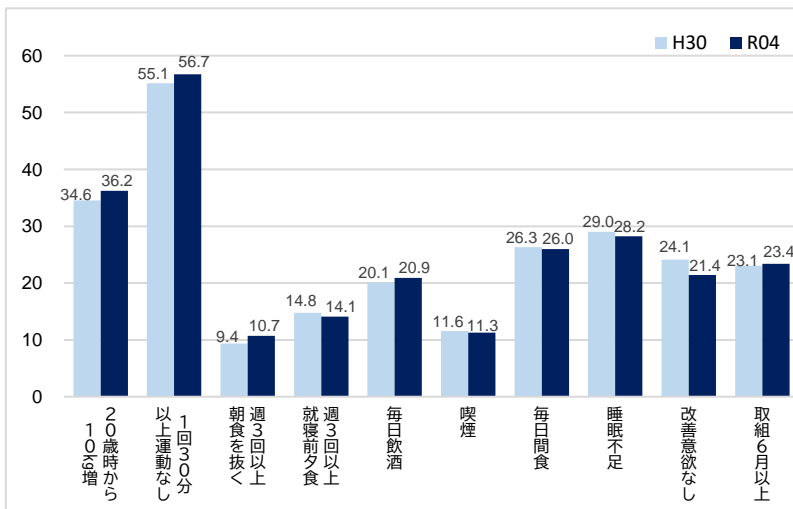
出典:KDB システム_(様式 5-2)健診有所見者状況

(3) 質問票からみる生活習慣の状況

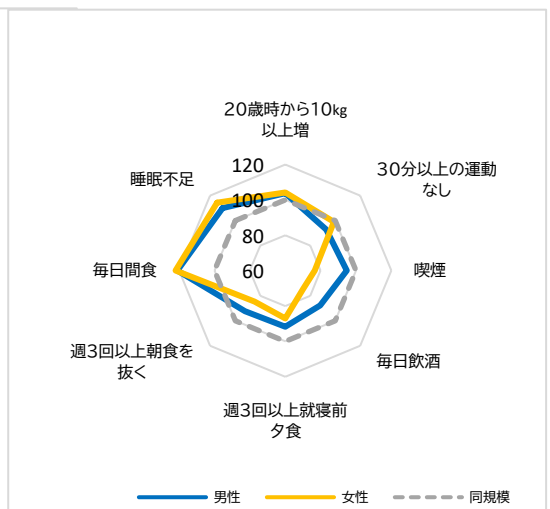
令和4年度の質問票の回答によると、本市は、「1日30分以上の運動なし」の割合が最も高く、次いで「20歳の頃から10kg以上増加した」の割合が高くなっているほか、「週3回以上朝食を抜く」などの割合が増加しています(図表2-33)。

同規模保険者との比較では、男女とも「毎日間食する」や「睡眠不足」の割合が高くなっています(図表2-34)。

図表2-33： 質問票の経年変化



図表2-34： R04年度 質問票の比較



出典:KDB システム_地域の全体像の把握

(4) 健診受診後の治療状況

① II度以上高血圧者の治療状況

令和3年度のII度以上高血圧者の割合は、平成30年度に比べて1.7ポイント増加し、未治療者(内服なし)の割合は、減少はしたものの6割以上となっています。また、未治療者は40.1%、治療中断者は4.1%となっています(図表2-35)。

図表2-35: II度以上高血圧者の割合と治療の状況

	健診受診率				高血圧 II度以上高血圧											
					II度以上高血圧の推移(結果の改善)								医療のかかり方			
	H30年度		R03年度		H30年度		問診結果		R03年度		問診結果		レセプト情報(R03.4~R04.3)			
	受診者 A	受診率	受診者 B	受診率	未治療 (内服なし)		未治療 (内服なし)		未治療 (内服なし)		未治療 (内服なし)		未治療		治療中断	
				C	C/A	D	D/C	E	E/B	F	F/E	G	G/E	H	H/E	
松山市	24,689	32.8	21,147	29.5	1,345	5.4	844	62.8	1,498	7.1	916	61.1	601	40.1	61	4.1
愛媛県	76,277	33.1	65,894	30.7	5,189	6.8	3,198	61.6	5,234	7.9	3,206	61.3	2,103	40.2	216	4.1

出典:ヘルスサポートラボツール

② HbA1c7.0%以上該当者の治療状況

令和3年度のHbA1c7.0%以上該当者の割合は、平成30年度に比べて0.8ポイント増加し、未治療者(内服なし)の割合は、3割となっています。また、未治療者は6.7%、治療中断者は2.6%となっています(図表2-36)。

図表2-36: HbA1c7.0%以上該当者の割合と治療の状況

	健診受診率				糖尿病 HbA1c7.0%以上の推移											
					HbA1c7.0%以上の推移(結果の改善)								医療のかかり方			
	H30年度		R03年度		H30年度		問診結果		R03年度		問診結果		レセプト情報(R03.4~R04.3)			
	HbA1c 実施者 A	実施率	HbA1c 実施者 B	実施率	未治療 (内服なし)		未治療 (内服なし)		未治療 (内服なし)		未治療 (内服なし)		未治療		治療中断	
				I	I/実施 者A	J	J/I	K	K/実施 者B	L	L/K	M	M/K	N	N/K	
松山市	24,688	100.0	21,147	100.0	1,039	4.2	360	34.6	1,064	5.0	319	30.0	71	6.7	28	2.6
愛媛県	76,227	99.9	65,844	99.9	2,938	3.9	942	32.1	2,943	4.5	888	30.2	221	7.5	72	2.4

出典:ヘルスサポートラボツール

(5) 特定保健指導

① 特定保健指導対象者及び実施率の状況

本市の特定保健指導対象者は、特定健診受診者の約1割を占めています。

また実施率は、令和元年度に専従専門職の確保や業務委託の導入など、実施体制を見直した直後は上昇しましたが、新型コロナウイルスの影響で利用勧奨を見合わせたことなどにより、令和3年度以降は再び低下しています。階層別では、令和4年度の積極的支援該当者の実施率は9.9%、動機付け支援該当者は29.9%で、積極的支援該当者の実施率が低くなっています(図表2-37)。

図表2-37: 特定保健指導の状況

		H30	R01	R02	R03	R04
対象者		2,824 人	2,561 人	2,352 人	2,394 人	2,473 人
健診受診者に占める割合		11.4%	11.0%	11.3%	11.3%	11.0%
利用者(終了者)		358 人	727 人	891 人	741 人	614 人
実施率		12.7%	28.4%	37.9%	31.0%	24.8%
階層別	積極的支援	5.9%	7.6%	10.0%	10.6%	9.9%
	動機付け支援	14.6%	34.3%	46.4%	37.6%	29.9%

出典:特定健診法定報告データ

② 内臓脂肪症候群該当者の減少率の状況

令和4年度 of 特定健診での内臓脂肪症候群の該当者は、男性が 32.5%、女性が 10.3%で、男性の割合が高くなっていますが(図表2-30)、内臓脂肪症候群の減少率は、男性が 18.4%、女性が 23.8%と女性の割合が高くなっています(図2-38)。

図表2-38: 内臓脂肪症候群該当者の減少率の推移

	H30	R01	R02	R03	R04
男性	19.8%	16.6%	15.5%	16.3%	18.4%
女性	24.3%	22.3%	20.8%	20.0%	23.8%
合計	21.3%	18.4%	17.1%	17.5%	20.1%

出典:特定健診法定報告データ

5. 第2期データヘルス計画に係る評価

(1) 第2期データヘルス計画目標の達成状況

関連計画	達成すべき目的	課題を解決するための目標		初年度 (H29)	中間評価 (R1)	最終評価 (R4)	R5 目標値	
データヘルス計画	中長期目標	脳血管疾患の総医療費に占める割合0.16%減少 *(H28年度国平均2.36%)	実績値	2.702%	2.573%	2.366%	2.61%	
			目標値	2.748%	2.704%	2.638%		
		虚血性心疾患の総医療費に占める割合0.05%減少 *(H28年度国平均2.36%)	実績値	2.264%	1.811%	1.633%	2.36%	
			目標値	2.403%	2.389%	2.368%		
		糖尿病性腎症による透析導入者の割合の維持	実績値	59.2%	58.7%	54.5%	66.7%	
			目標値	66.7%	66.7%	66.7%		
	短期目標	脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症の発症を予防するために、高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム等の対象者を減らす	内臓脂肪症候群該当者・予備軍の減少率20%	実績値	20.0%	18.4%	19.3%	20%
				目標値	20%	20%	20%	
			健診受診者でⅡ度以上高血圧者の割合0.35%減少	実績値	5.30%	5.44%	7.0%	4.95%
				目標値	5.25%	5.15%	5.00%	
			健診受診者で脂質異常者(LDL140以上)の割合3.5%減少	実績値	28.1%	29.2%	27.4%	25.7%
				目標値	28.7%	27.7%	26.2%	
		健診受診者でHbA1c6.5%以上が占める割合2%減少	実績値	8.5%	9.1%	9.1%	6.0%	
			目標値	7.7%	7.2%	6.3%		
糖尿病の未治療者を治療に結びつける割合50%維持		実績値	53.4%	46.5%	44.5%	50%以上		
		目標値	50%以上	50%以上	50%以上			
糖尿病の保健指導実施人数の増加		実績値	7	15	22	増加		
		目標値	増加	増加	増加			
特定健診受診率、特定保健指導実施率を向上し、メタボ該当者、重症化予防該当者を減らす	特定健診受診率60%以上	実績値	29.8%	31.5%	33.1%	60.0%		
		目標値	30.0%	40.0%	60.0%			
	特定保健指導実施率60%以上	実績値	9.8%	28.4%	24.8%	60.0%		
		目標値	18.0%	32.0%	53.0%			
	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率25%以上を維持	実績値	22.6%	22.0%	22.2%	25%以上		
		目標値	25%以上	25%以上	25%以上			
保険者努力支援制度	その他	胃がん検診25%以上	実績値		8.5%	13.8%	25%以上	
			目標値	10.0%	16.0%	25.0%		
		肺がん検診25%以上	実績値		10.5%	15.6%	25%以上	
			目標値	12.5%	17.5%	25.0%		
		大腸がん検診25%以上	実績値		10.6%	15.5%	25%以上	
			目標値	12.5%	17.5%	25.0%		
	子宮頸がん検診25%以上	実績値		12.8%	16.8%	25%以上		
		目標値	23.0%	23.5%	25.0%			
	乳がん検診25%以上	実績値		16.3%	20.2%	25%以上		
		目標値	20.0%	22.0%	25.0%			
	後発医薬品の使用により、医療費の削減	後発医薬品の使用割合80%以上	実績値	66.7%	74.8%	80.0%	80.0%	
			目標値	63.6%	69.0%	77.1%		

2.366% : 目標を達成した項目

(2)個別事業の評価と課題

事業名	事業の概要（内容・方法）	R4年度までの振り返り（評価・課題点の明確化）				事業評価 達成・未達成の状況確認	目標値の評価		課題																																																																																																																			
		ストラクチャー	プロセス	アウトプット	アウトカム		指標	達成状況																																																																																																																				
特定健康診査事業	<p>【内容】 40歳～74歳の国民健康保険加入者に対して健康診査を集団健診・個別健診の委託で実施する。 健診結果から保健指導対象者の抽出を行い生活習慣病の予防及び医療費の抑制を目的としている。</p> <p>【健診項目】 ・身体計測(身長・体重・腹囲) ・血圧測定・問診・診察 ・血液検査・尿検査 ・貧血検査・心電図検査 等</p> <p>【受診率向上の取り組み】 ・未受診者に対して受診勧奨ハガキを送付 ・勧奨ハガキ送付対象者に対し、電話での受診勧奨 ・医療機関への特定健診受診呼びかけ依頼文書の送付 ・医療機関へ特定健診受診の啓発チラシ設置（通院中未受診者対策）</p> <p>H20～ 事業開始 H26～ 自己負担金無料化 H30～ 受診勧奨業務を委託</p>	<p>【健診体制の整備】 R元年度まで ・がん検診と同時受診できる体制を構築 ・集団健診について、H30年度から完全予約制に移行 ・受診しやすい環境整備のため、健診の土日開催やレディースデイ（託児付き健診含む）を設定</p> <p>R2年度から ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部会場・日程の変更や縮小及び各会場・医療機関で感染対策を実施 ※感染対策の取組事例（集団健診） ・健診前体調確認（問診・体温測定） ・予約定員の調整</p> <p>R3年度から ・集団健診の健診予約システムの導入（コールセンターを一元化、WEB予約開始）</p> <p>R4年度から ・R3年度から開始したWEB予約を推進するため、WEB予約特典を導入</p> <p>【受診勧奨業務の委託】 対象者の選定や送付時期等、効果的に効率的に勧奨を実施するためにH30年度からナッジ理論を活用した受診勧奨の委託を開始</p>	<p>【受診券発行】 毎年5月下旬に一括発行し、対象者へ送付。年度途中加入者には受電後に随時発行するなど迅速に対応</p> <p>【法定報告対象者抽出】 法定報告の除外登録等の抽出すべきデータを正確に抽出し、データ管理を徹底した。</p> <p>【健診の実施回数】 (R4年度) 集団健診 171回 個別健診 235指定医療機関</p> <p>【法定項目以外の検査項目】 以下を全員に実施 ・血糖・尿酸・尿潜血 ・心電図・貧血検査 ・血清クレアチニン</p>	<p>【各年度の法定報告値】 ※R4年度は速報値</p> <p>● 特定健康診査対象者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象者（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>75,223</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>73,522</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>72,982</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>71,568</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>69,136</td> </tr> </tbody> </table> <p>【受診勧奨ハガキ送付数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>送付数（件）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>46,332</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>34,000</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>38,470</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>38,000</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>49,445</td> </tr> </tbody> </table> <p>【電話勧奨実施率】 ハガキによる勧奨通知の反応がない人を対象にした電話による勧奨実施率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>71.3%</td> <td>95.4%</td> <td>89.0%</td> <td>86.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医療機関に受診勧奨チラシ設置】 ・ R4年度 6,960部</p>	年度	対象者（人）	H30	75,223	R元	73,522	R2	72,982	R3	71,568	R4	69,136	年度	送付数（件）	H30	46,332	R元	34,000	R2	38,470	R3	38,000	R4	49,445	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	71.3%	95.4%	89.0%	86.9%	<p>【各年度の法定報告値】 ※R4年度は速報値</p> <p>● 特定健康診査受診者数（人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>受診者数（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>24,689</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>23,179</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>20,903</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>21,147</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>22,519</td> </tr> </tbody> </table> <p>● 特定健康診査受診率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診率</td> <td>32.8%</td> <td>31.5%</td> <td>28.6%</td> <td>29.5%</td> <td>33.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【年齢別受診率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40代</td> <td>16.2%</td> <td>16.8%</td> <td>13.9%</td> <td>16.7%</td> <td>19.9%</td> </tr> <tr> <td>50代</td> <td>21.5%</td> <td>19.6%</td> <td>16.7%</td> <td>18.9%</td> <td>20.8%</td> </tr> <tr> <td>60代</td> <td>35.2%</td> <td>33.1%</td> <td>28.2%</td> <td>30.8%</td> <td>34.5%</td> </tr> <tr> <td>70代</td> <td>38.7%</td> <td>36.5%</td> <td>32.2%</td> <td>33.1%</td> <td>36.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【受診勧奨委託業者の結果分析より】 ● リピート率(※)の推移 (※)前年度受診者のうち、当該年度も継続して受診した者の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>リピート数（人）</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>17,372</td> <td>80.7%</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>17,530</td> <td>75.1%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>15,625</td> <td>69.9%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>14,875</td> <td>75.5%</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>15,743</td> <td>79.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>● 未経験受診者(※)数 (※)過去3年間で受診歴がなく、当該年度に初めて受診した者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>受診者数（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>3,643</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>3,557</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>3,459</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>3,899</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>4,523</td> </tr> </tbody> </table>	年度	受診者数（人）	H30	24,689	R元	23,179	R2	20,903	R3	21,147	R4	22,519	年度	H30	R元	R2	R3	R4	受診率	32.8%	31.5%	28.6%	29.5%	33.1%		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	40代	16.2%	16.8%	13.9%	16.7%	19.9%	50代	21.5%	19.6%	16.7%	18.9%	20.8%	60代	35.2%	33.1%	28.2%	30.8%	34.5%	70代	38.7%	36.5%	32.2%	33.1%	36.7%	年度	リピート数（人）	割合	H30	17,372	80.7%	R元	17,530	75.1%	R2	15,625	69.9%	R3	14,875	75.5%	R4	15,743	79.8%	年度	受診者数（人）	H30	3,643	R元	3,557	R2	3,459	R3	3,899	R4	4,523	<p>○H30年度を最高値としてR2年度までリピート率が低下し続けていたものの、R3・R4年度はR元年度を上回る結果となった（コロナ禍でも健診を受診する人はリピート率が高い。）。</p> <p>○未経験受診者数は新型コロナウイルス感染拡大前は増加傾向にあり、コロナ禍では減少しているが、R3・R4年度はR2年度を上回る結果となった。引き続き新たな受診者の取り込みが必要</p> <p>○若年層の受診率について、高齢層と比較して受診率が低い状況である。</p> <p>○受診勧奨の効果が現れてはいるが、目標とする受診率50%には届かず、引き続き未受診者対策を実施する必要がある。</p>	<p>特定健康診査受診率</p> <p>(R3年度) 目標値 50.0% 実績値 29.5%</p> <p>未達成</p>	<p>○リピート率の向上 受診者の特性に応じた受診勧奨の継続。効果的な時期に1回目の受診勧奨を実施し、年度末にも受診漏れ防止のための受診勧奨を実施する。健診を受けるメリットについての周知啓発の検討</p> <p>○未経験受診者への周知 引き続き広報等を活用して周知を行うとともに、ハガキによる受診勧奨を行う。</p> <p>○新規国保加入者へのアプローチについて検討する。</p> <p>○若年層（40、50歳代）の受診率向上 若年層の世代に適したコミュニケーションツール（市公式LINE等）による受診勧奨を実施する。またWEB予約システムでの予約について、さらに周知啓発していく。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の関係で縮小している集団健診の会場について、利用希望者の多い会場（保健所等）の再開を検討する。</p> <p>○受診勧奨の業者選定についてR6年度以降プロポーザル方式に変更するなど、受診勧奨の質の向上を図る。</p>
		年度	対象者（人）																																																																																																																									
H30	75,223																																																																																																																											
R元	73,522																																																																																																																											
R2	72,982																																																																																																																											
R3	71,568																																																																																																																											
R4	69,136																																																																																																																											
年度	送付数（件）																																																																																																																											
H30	46,332																																																																																																																											
R元	34,000																																																																																																																											
R2	38,470																																																																																																																											
R3	38,000																																																																																																																											
R4	49,445																																																																																																																											
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																																									
71.3%	95.4%	89.0%	86.9%																																																																																																																									
年度	受診者数（人）																																																																																																																											
H30	24,689																																																																																																																											
R元	23,179																																																																																																																											
R2	20,903																																																																																																																											
R3	21,147																																																																																																																											
R4	22,519																																																																																																																											
年度	H30	R元	R2	R3	R4																																																																																																																							
受診率	32.8%	31.5%	28.6%	29.5%	33.1%																																																																																																																							
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																																							
40代	16.2%	16.8%	13.9%	16.7%	19.9%																																																																																																																							
50代	21.5%	19.6%	16.7%	18.9%	20.8%																																																																																																																							
60代	35.2%	33.1%	28.2%	30.8%	34.5%																																																																																																																							
70代	38.7%	36.5%	32.2%	33.1%	36.7%																																																																																																																							
年度	リピート数（人）	割合																																																																																																																										
H30	17,372	80.7%																																																																																																																										
R元	17,530	75.1%																																																																																																																										
R2	15,625	69.9%																																																																																																																										
R3	14,875	75.5%																																																																																																																										
R4	15,743	79.8%																																																																																																																										
年度	受診者数（人）																																																																																																																											
H30	3,643																																																																																																																											
R元	3,557																																																																																																																											
R2	3,459																																																																																																																											
R3	3,899																																																																																																																											
R4	4,523																																																																																																																											

事業名	事業の概要（内容・方法）	R4年度までの振り返り（評価・課題点の明確化）				事業評価 達成・未達成の状況確認	目標値の評価		課題																																																																																																																																																																																																																																															
		ストラクチャー	プロセス	アウトプット	アウトカム		指標	達成状況																																																																																																																																																																																																																																																
特定保健指導事業	<p>【内容】 特定健康診査結果から抽出された積極的・動機付け支援対象者に対して、支援レベルに応じた保健指導を実施する。</p> <p>指導では、利用者の健診結果や聞き取りから健康課題を明確にし、自らが生活改善を実行できるように支援を行う。</p> <p>支援期間はH29年度までは6か月、H30年度からは、第3期特定健康診査等実施計画の変更に基づき3か月以上としている。</p> <p>【方法】 H20年度～ 直営 R元年度～ 直営+委託 面談・電話・手紙等で支援</p> <p>【事業の流れ】 対象者の抽出 ↓ 案内通知発送・申込受付 ↓ 初回面談 ← 利用動奨※ ① ↓ 継続支援 ↓ 実績評価 ↓ 事業評価の実施・次年度計画</p> <p>※○ ・委託(主に電話動奨) →積極的支援、動機付け支援(40・50代) ・直営(主に訪問動奨) →動機付け支援(60・70代)</p>	<p>【指導体制の整備】 ●H30年度まで 健康づくり推進課へ執行委任を行い、直営のみで案内発送・指導・利用動奨(主に電話)を実施。グループ支援中心。 ●R元年度から 国保・年金課での実施へ体制変更するとともに、案内発送・指導・積極的支援の電話動奨を委託することにより、直営は訪問中心の利用動奨を行う分担の体制を構築。個別支援を実施 ●R5年度から PFS(成果運動型民間委託契約方式)を導入し、直営が実施していた「40・50歳代の動機付け支援該当者の利用動奨」も委託範囲に追加</p> <p>【委託業者選定】 終了率や指導の質・利用者の満足度も担保できるよう、入札ではなく、公募型プロポーザル方式により委託先を決定 R元年度(株)ベネフィット・ワン R2年度～R5年度(株)ワルクル</p> <p>【直営実施の人材の確保】 国保・年金課職員に加え、会計年度職員を募集し人材を確保</p> <p>【指導実施者のスキルアップ】 保健指導を実施する担当者が庁外や県外の研修会へ参加するなど、指導実施者のスキルアップを行った(オンライン含む)。</p> <p>【ICTを利用した遠隔面談】 委託・直営ともICTを利用した遠隔面談の体制を整備</p> <p>【評価等】 ・受診促進のための実施体制を整えることができた。</p>	<p>【効果的な役割分担】 案内通知作成や受付などは民間業者のノウハウをいかして効果的に実施するとともに、事務負担軽減で直営実施が適している訪問動奨を実施</p> <p>【対象者抽出】 特定健診データ管理システムから抽出したデータを自庁システムで資格喪失者等の除外等確認後、案内通知を利用券付番月に送付するなど適正・タイムリーに実施</p> <p>【指導効果等の分析】 KDBシステムから出力される帳票や自庁システムでのデータ、法定報告値等を使用してデータによる分析を実施</p> <p>【対象者への周知】 特定健康診査の結果送付時に、健診結果の見方と特定保健指導対象者には通知が発送されることを記載したリーフレットを同封して周知 利用券付番月に通知を発送後、積極的支援、動機付け支援40・50歳代には委託による電話動奨、60歳以上の動機付けには直営での訪問動奨を実施</p> <p>【利用者増加のための取組】 ・R2年度の委託内容に、無関心層の人の利用を増やすため、講演や測定などの利用動奨イベントを実施する内容を追加 ・R5年度からPFS(成果運動型民間委託契約方式)を導入 直営が実施していた「40・50歳代の動機付け支援該当者の利用動奨」も委託範囲に追加</p> <p>【評価等】 ・年度毎に、新たな取組を実施することができた。</p>	<p>【特定保健指導終了者と終了率】 (法定報告)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>終了数(人)</th> <th>終了率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29年度</td> <td>262</td> <td>9.8%</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>358</td> <td>12.7%</td> </tr> <tr> <td>R元年度</td> <td>727</td> <td>28.4%</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>891</td> <td>37.9%</td> </tr> <tr> <td>R3年度</td> <td>741</td> <td>31.0%</td> </tr> <tr> <td>R4年度</td> <td>614</td> <td>24.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【支援レベル別終了率】 (法定報告)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>積極的</th> <th>動機付け</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29年度</td> <td>5.0%</td> <td>11.2%</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>5.9%</td> <td>14.6%</td> </tr> <tr> <td>R元年度</td> <td>7.6%</td> <td>34.3%</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>10.0%</td> <td>46.4%</td> </tr> <tr> <td>R3年度</td> <td>10.6%</td> <td>37.6%</td> </tr> <tr> <td>R4年度</td> <td>9.9%</td> <td>29.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【年齢別終了率】 (R3年度 法定報告)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>終了率</th> <th>年齢</th> <th>終了率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40～44</td> <td>13.5%</td> <td>60～64</td> <td>22.6%</td> </tr> <tr> <td>45～49</td> <td>14.8%</td> <td>65～69</td> <td>41.6%</td> </tr> <tr> <td>50～54</td> <td>13.9%</td> <td>70～74</td> <td>40.7%</td> </tr> <tr> <td>55～59</td> <td>18.7%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【委託・直営実施数】 R4年度実施分 (R4年4月～R5年3月)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>初回実施数</th> <th>終了者数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託</td> <td>266</td> <td>244</td> <td>91.7%</td> </tr> <tr> <td>直営</td> <td>400</td> <td>392</td> <td>98.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【方法別利用動奨の人数】 R4年度実施分 (R4年4月～R5年3月)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>訪問</th> <th>電話</th> <th>その他</th> <th>申込数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託</td> <td>0</td> <td>471</td> <td>0</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>直営</td> <td>1325</td> <td>51</td> <td>68</td> <td>377</td> </tr> </tbody> </table> <p>【オンライン面談利用者数】 R4年度実施分 (R4年4月～R5年3月)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>積極的</th> <th>動機付け</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託/初回</td> <td>6</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>委託/最終評価</td> <td>3</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>直営/初回</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>直営/最終評価</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【利用動奨イベント実績】 R4年度実施分 (R4.11月、R5.3月に実施)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4.11月</th> <th>R5.3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>案内送付数</td> <td>628</td> <td>409</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>12</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>		終了数(人)	終了率	H29年度	262	9.8%	H30年度	358	12.7%	R元年度	727	28.4%	R2年度	891	37.9%	R3年度	741	31.0%	R4年度	614	24.8%		積極的	動機付け	H29年度	5.0%	11.2%	H30年度	5.9%	14.6%	R元年度	7.6%	34.3%	R2年度	10.0%	46.4%	R3年度	10.6%	37.6%	R4年度	9.9%	29.9%	年齢	終了率	年齢	終了率	40～44	13.5%	60～64	22.6%	45～49	14.8%	65～69	41.6%	50～54	13.9%	70～74	40.7%	55～59	18.7%				初回実施数	終了者数	割合	委託	266	244	91.7%	直営	400	392	98.0%		訪問	電話	その他	申込数	委託	0	471	0	24	直営	1325	51	68	377		積極的	動機付け	委託/初回	6	13	委託/最終評価	3	11	直営/初回	0	0	直営/最終評価	0	0		R4.11月	R5.3月	案内送付数	628	409	参加人数	12	11	<p>【特定健診メタ比率】KDB</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">男性</th> <th colspan="2">女性</th> </tr> <tr> <th>松山市</th> <th>国</th> <th>松山市</th> <th>国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29年度</td> <td>29.9%</td> <td>28.4%</td> <td>9.4%</td> <td>9.8%</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>30.6%</td> <td>29.2%</td> <td>9.7%</td> <td>10.0%</td> </tr> <tr> <td>R元年度</td> <td>31.5%</td> <td>30.0%</td> <td>9.9%</td> <td>10.4%</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>32.9%</td> <td>32.3%</td> <td>11.0%</td> <td>11.3%</td> </tr> <tr> <td>R3年度</td> <td>32.9%</td> <td>32.1%</td> <td>11.1%</td> <td>11.0%</td> </tr> <tr> <td>R4年度</td> <td>32.5%</td> <td>32.0%</td> <td>10.3%</td> <td>11.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【特定保健指導による特定保健指導対象者減少率】 (法定報告)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男性</th> <th>女性</th> <th>全体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29年度</td> <td>21.9%</td> <td>23.3%</td> <td>22.6%</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>28.8%</td> <td>27.0%</td> <td>27.9%</td> </tr> <tr> <td>R元年度</td> <td>18.9%</td> <td>25.9%</td> <td>22.0%</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>18.1%</td> <td>14.9%</td> <td>16.8%</td> </tr> <tr> <td>R3年度</td> <td>22.2%</td> <td>21.5%</td> <td>21.9%</td> </tr> <tr> <td>R4年度</td> <td>19.6%</td> <td>25.7%</td> <td>22.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【内臓脂肪症候群該当者及び予備群の減少率】 (法定報告)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男性</th> <th>女性</th> <th>全体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29年度</td> <td>17.1%</td> <td>21.6%</td> <td>18.5%</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>18.4%</td> <td>24.5%</td> <td>20.4%</td> </tr> <tr> <td>R元年度</td> <td>16.9%</td> <td>22.1%</td> <td>18.6%</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>14.9%</td> <td>19.9%</td> <td>16.5%</td> </tr> <tr> <td>R3年度</td> <td>16.4%</td> <td>21.4%</td> <td>18.0%</td> </tr> <tr> <td>R4年度</td> <td>17.3%</td> <td>25.2%</td> <td>19.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【指導後の腹囲・体重減少率】※② (R3年度健診実施分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>直営</th> <th>委託</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>腹囲</td> <td>42.9%</td> <td>53.9%</td> </tr> <tr> <td>体重</td> <td>54.8%</td> <td>66.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R4年度は集計中</p> <p>【指導後の特定保健指導対象者の減少率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>直営</th> <th>委託</th> <th>全体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直営</td> <td>29.2%</td> <td>36.4%</td> <td>32.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(R3年度特定保健指導対象者をR4年度で評価)</p> <p>【指導後の内臓脂肪症候群該当者及び予備群の減少率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>直営</th> <th>委託</th> <th>全体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直営</td> <td>29.3%</td> <td>38.0%</td> <td>33.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(R3年度特定保健指導対象者をR4年度で評価)</p> <p>【指導実施者の翌年度の健診受診率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>直営</th> <th>委託</th> <th>全体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直営</td> <td>80.3%</td> <td>81.3%</td> <td>80.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(R3年度特定保健指導対象者をR4年度で評価)</p>		男性		女性		松山市	国	松山市	国	H29年度	29.9%	28.4%	9.4%	9.8%	H30年度	30.6%	29.2%	9.7%	10.0%	R元年度	31.5%	30.0%	9.9%	10.4%	R2年度	32.9%	32.3%	11.0%	11.3%	R3年度	32.9%	32.1%	11.1%	11.0%	R4年度	32.5%	32.0%	10.3%	11.0%		男性	女性	全体	H29年度	21.9%	23.3%	22.6%	H30年度	28.8%	27.0%	27.9%	R元年度	18.9%	25.9%	22.0%	R2年度	18.1%	14.9%	16.8%	R3年度	22.2%	21.5%	21.9%	R4年度	19.6%	25.7%	22.2%		男性	女性	全体	H29年度	17.1%	21.6%	18.5%	H30年度	18.4%	24.5%	20.4%	R元年度	16.9%	22.1%	18.6%	R2年度	14.9%	19.9%	16.5%	R3年度	16.4%	21.4%	18.0%	R4年度	17.3%	25.2%	19.3%		直営	委託	腹囲	42.9%	53.9%	体重	54.8%	66.1%		直営	委託	全体	直営	29.2%	36.4%	32.3%		直営	委託	全体	直営	29.3%	38.0%	33.1%		直営	委託	全体	直営	80.3%	81.3%	80.7%	<p>○特定保健指導実施率はR元年度以降、業務委託と訪問動奨の実施により、積極的・動機付け支援の割合が上昇したが、目標の60%には達成していない。特に40～50歳代の若い世代・積極的支援対象者の利用が少ない状況。 更なる利用者の増加・満足度向上のため、健診当日の面談実施やかかりつけ医での指導、個別医療機関での実施体制の構築が必要である。</p> <p>○指導後の内臓脂肪症候群該当者及び予備群の減少率、特定保健指導対象者の減少率は、未実施者も含めた法定報告の値よりも高い割合であり、保健指導の効果が出ていると考えられる。また、特定保健指導の終了者の割合は、直営、委託共に9割以上で、脱落者が少ないことから、保健指導の質・満足度は維持できていると考えられる。</p> <p>○特定保健指導を実施した者のうち、約8割の対象者が翌年度も健診を受診していた。指導時に、受診を促す声掛け等を実施できることが要因の1つと考えられる。引き続き、指導時の健診受診の促しが必要。また、動奨で指導に結び付かなかった人に対しては、継続的な健診受診の意義の周知を行い、受診につなげる必要がある。</p> <p>○案内通知等で申し込みがなかった無関心期、関心期の人を対象に、測定や講演などの利用動奨イベントを計画。新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったが、R4年度に実施できた。申し込みがなかった人を利用しつなげるために、今後も実施・評価していく必要がある。</p> <p>○R元年度から訪問動奨を実施したことにより、R2年度の特定保健指導終了率は増加したが、無関心層の実施者が増えたため、R2年度の特定保健指導対象者減少率は低くなっていると考えられる。無関心層の生活改善を促すための指導スキルとともに、継続的に支援していく体制が必要である。</p> <p>○ICTを利用したオンライン面談が実施できる体制を整えることができた。今後も利用の普及に努め、効果的・効率的な指導ができるよう実施・評価していく必要がある。</p>	<p>(R4年度) 目標値60.0% 実績値24.8% 未達成</p> <p>(R4年度) 目標値25.0% 実績値22.2% 未達成</p> <p>(R4年度) 目標値20.0% 実績値19.3% 未達成</p> <p>(R4年度) 目標値2.638% 実績値2.366% 達成</p> <p>(R4年度) 目標値2.368% 実績値1.633% 達成</p> <p>(R4年度) 目標値66.7% 実績値54.5% 達成</p> <p>○特定保健指導実施率向上のため、利用者の少ない若い世代・仕事や介護等で利用に制限のある人の利用者を増やすための取組及び感染症拡大時期でも行える指導体制の充実が必要 ・魅力的な案内の工夫 ・休日・夜間の実施の充実 ・健診当日の初回面談分割実施やかかりつけ医での保健指導の実施体制づくり(医療機関や医師会との連携) ・ICTを利用した遠隔指導の実施 ・利用動奨イベント</p> <p>○内臓脂肪症候群該当者及び予備群の減少・脳血管疾患と虚血性心疾患の総医療費に占める割合を減少させるため、特定保健指導による指導効果の向上、生活改善を促す効果的な指導、体制が必要 ・指導実施者のスキルアップ(研修等) ・委託業者の適正な選定及び指導の質の担保のための取組(成果運動型民間委託契約方式(PFS)の導入により、効果把握や評価が必要) ・無関心期の人を生活改善へ促すための体制づくり(イベント等) ・特定保健指導の取組状況、実施体制の評価</p>
		終了数(人)	終了率																																																																																																																																																																																																																																																					
H29年度	262	9.8%																																																																																																																																																																																																																																																						
H30年度	358	12.7%																																																																																																																																																																																																																																																						
R元年度	727	28.4%																																																																																																																																																																																																																																																						
R2年度	891	37.9%																																																																																																																																																																																																																																																						
R3年度	741	31.0%																																																																																																																																																																																																																																																						
R4年度	614	24.8%																																																																																																																																																																																																																																																						
	積極的	動機付け																																																																																																																																																																																																																																																						
H29年度	5.0%	11.2%																																																																																																																																																																																																																																																						
H30年度	5.9%	14.6%																																																																																																																																																																																																																																																						
R元年度	7.6%	34.3%																																																																																																																																																																																																																																																						
R2年度	10.0%	46.4%																																																																																																																																																																																																																																																						
R3年度	10.6%	37.6%																																																																																																																																																																																																																																																						
R4年度	9.9%	29.9%																																																																																																																																																																																																																																																						
年齢	終了率	年齢	終了率																																																																																																																																																																																																																																																					
40～44	13.5%	60～64	22.6%																																																																																																																																																																																																																																																					
45～49	14.8%	65～69	41.6%																																																																																																																																																																																																																																																					
50～54	13.9%	70～74	40.7%																																																																																																																																																																																																																																																					
55～59	18.7%																																																																																																																																																																																																																																																							
	初回実施数	終了者数	割合																																																																																																																																																																																																																																																					
委託	266	244	91.7%																																																																																																																																																																																																																																																					
直営	400	392	98.0%																																																																																																																																																																																																																																																					
	訪問	電話	その他	申込数																																																																																																																																																																																																																																																				
委託	0	471	0	24																																																																																																																																																																																																																																																				
直営	1325	51	68	377																																																																																																																																																																																																																																																				
	積極的	動機付け																																																																																																																																																																																																																																																						
委託/初回	6	13																																																																																																																																																																																																																																																						
委託/最終評価	3	11																																																																																																																																																																																																																																																						
直営/初回	0	0																																																																																																																																																																																																																																																						
直営/最終評価	0	0																																																																																																																																																																																																																																																						
	R4.11月	R5.3月																																																																																																																																																																																																																																																						
案内送付数	628	409																																																																																																																																																																																																																																																						
参加人数	12	11																																																																																																																																																																																																																																																						
	男性		女性																																																																																																																																																																																																																																																					
	松山市	国	松山市	国																																																																																																																																																																																																																																																				
H29年度	29.9%	28.4%	9.4%	9.8%																																																																																																																																																																																																																																																				
H30年度	30.6%	29.2%	9.7%	10.0%																																																																																																																																																																																																																																																				
R元年度	31.5%	30.0%	9.9%	10.4%																																																																																																																																																																																																																																																				
R2年度	32.9%	32.3%	11.0%	11.3%																																																																																																																																																																																																																																																				
R3年度	32.9%	32.1%	11.1%	11.0%																																																																																																																																																																																																																																																				
R4年度	32.5%	32.0%	10.3%	11.0%																																																																																																																																																																																																																																																				
	男性	女性	全体																																																																																																																																																																																																																																																					
H29年度	21.9%	23.3%	22.6%																																																																																																																																																																																																																																																					
H30年度	28.8%	27.0%	27.9%																																																																																																																																																																																																																																																					
R元年度	18.9%	25.9%	22.0%																																																																																																																																																																																																																																																					
R2年度	18.1%	14.9%	16.8%																																																																																																																																																																																																																																																					
R3年度	22.2%	21.5%	21.9%																																																																																																																																																																																																																																																					
R4年度	19.6%	25.7%	22.2%																																																																																																																																																																																																																																																					
	男性	女性	全体																																																																																																																																																																																																																																																					
H29年度	17.1%	21.6%	18.5%																																																																																																																																																																																																																																																					
H30年度	18.4%	24.5%	20.4%																																																																																																																																																																																																																																																					
R元年度	16.9%	22.1%	18.6%																																																																																																																																																																																																																																																					
R2年度	14.9%	19.9%	16.5%																																																																																																																																																																																																																																																					
R3年度	16.4%	21.4%	18.0%																																																																																																																																																																																																																																																					
R4年度	17.3%	25.2%	19.3%																																																																																																																																																																																																																																																					
	直営	委託																																																																																																																																																																																																																																																						
腹囲	42.9%	53.9%																																																																																																																																																																																																																																																						
体重	54.8%	66.1%																																																																																																																																																																																																																																																						
	直営	委託	全体																																																																																																																																																																																																																																																					
直営	29.2%	36.4%	32.3%																																																																																																																																																																																																																																																					
	直営	委託	全体																																																																																																																																																																																																																																																					
直営	29.3%	38.0%	33.1%																																																																																																																																																																																																																																																					
	直営	委託	全体																																																																																																																																																																																																																																																					
直営	80.3%	81.3%	80.7%																																																																																																																																																																																																																																																					

※② 健診時の腹囲で比較

事業名	事業の概要（内容・方法）	R4年度までの振り返り（評価・課題点の明確化）				事業評価 達成・未達成の状況確認	目標値の評価		課題																																																																																																
		ストラクチャー	プロセス	アウトプット	アウトカム		指標	達成状況																																																																																																	
糖尿病性腎症重症化予防事業	<p>【内容】 特定健診結果でHbA1c6.5%以上の未受診者及び、特定健診を受診し関わらず糖尿病の治療を中断していると思われる人に対して、医療機関の受診を勧奨し、糖尿病の早期発見・重症化予防を行う。</p> <p>【方法】 対象者全員に通知を実施後、必要の人に訪問・電話勧奨を実施 ・特定健診結果による受診勧奨年間12回 ・治療中断者1回以上</p> <p>【事業の流れ】 対象者抽出 ↓ 勧奨通知の発送 ↓ 受診確認（レセプト） ↓ 再勧奨の必要なら訪問・電話 ↓ 再勧奨後の受診確認（レセプト） ↓ 事業評価・次年度計画</p>	<p>【予算・人員】 実施のための予算確保・人材の確保を行った。</p> <p>【効果的な勧奨の実施】 R元年度から特定保健指導と国保保健事業を一体的に実施する体制となり、特定保健指導と受診勧奨対象との重複者に対して一貫した指導を実施できるよう、リストを整備するなど体制を作った。</p>	<p>【事業対象者を拡大】 ●H26年度まで HbA1c6.5%以上の未治療者（6.5～8.3%の肥満者は除く） ●H27年度～H30年度 HbA1c6.5%以上の未治療者 ●R元年度～ HbA1c6.5%以上の未治療者、糖尿病治療中断者 ●R3年度～ HbA1c7.0%以上の、合併症発症リスクが高い眼科未受診者</p> <p>【対象者抽出】 対象者抽出に当たっては、対象となる被保険者の全体像を把握した上で抽出を実施した。 ・特定健診結果でHbA1c6.5%以上の未治療者を特定健診データ管理システム及びレセプトデータ等を用いて漏れがないよう抽出 ・R元年度から開始し、治療中断者の受診勧奨では、KDBシステム抽出データを利用して対象者を選定</p> <p>【勧奨後の受診状況の把握】 勧奨通知発送者全員に対してレセプトで受診があるか確認。未受診者への電話勧奨時にはレセプト確認から把握した他疾患の受診状況等も考慮しながら実施した。</p> <p>【未受診理由の把握の取組み】 ・R2年度とR3年度の治療中断者受診勧奨では、未受診の理由の把握。理由に応じた受診勧奨の実施のため、アンケートを向け、返答がなかった者に対しては電話確認を実施した。 返送率 R2年度 16.7% (6件) R3年度 52.8% (19件) 未受診の理由で最も多かったのは、以下のとおり。 R2年度「医療費がかかる」 R3年度「治療が必要と思わない」</p> <p>【新型コロナウイルス感染症対策】 ・R2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えを考慮し、治療中断者に対して例年よりも早期(8月)に受診勧奨を実施</p> <p>【ハイリスクな未治療者への受診再勧奨】 ・R4年度から、特定健診受診勧奨をした者のうち、3か月後も受診歴のないHbA1c7.0%以上の者を抽出し、訪問による再勧奨を実施</p>	<p>【特定健診後受診勧奨数】</p> <table border="1"> <tr><td>H29年度</td><td>374人</td></tr> <tr><td>H30年度</td><td>392人</td></tr> <tr><td>R元年度</td><td>256人</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>428人</td></tr> <tr><td>R3年度</td><td>474人</td></tr> <tr><td>R4年度</td><td>473人</td></tr> </table> <p>（うち眼科受診勧奨144人） （うち眼科受診勧奨146人）</p> <p>*抽出した対象者には、資格喪失者等を除いて全員通知（R元年度は新型コロナウイルス感染症の影響で2・3月対象者の抽出を令和2年度に行い受診勧奨実施）</p> <p>【特定健診受診勧奨後内科受診率】</p> <table border="1"> <tr><td>H28年度</td><td>60.2%</td></tr> <tr><td>H29年度</td><td>53.4%</td></tr> <tr><td>H30年度</td><td>51.3%</td></tr> <tr><td>R元年度</td><td>46.5%</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>49.6%</td></tr> <tr><td>R3年度</td><td>59.0%</td></tr> <tr><td>R4年度</td><td>44.5%</td></tr> </table> <p>【HbA1c毎の受診率(R4年度)】</p> <table border="1"> <tr><td>6.5～6.9%</td><td>39.5%</td><td>男性</td><td>43.9%</td></tr> <tr><td>7.0～7.9%</td><td>57.1%</td><td>女性</td><td>50.0%</td></tr> <tr><td>8.0%以上</td><td>53.7%</td><td></td><td></td></tr> </table> <p><評価等> 男性よりも女性、6.9%以下よりも7.0%以上で受診率が高い。受診勧奨対象者の約半数を占める6.5～6.9%の人の対策も必要。8.0%以上についても約半数が未受診であることから、対策が必要と要する。</p> <p>【治療中断者受診者数】</p> <table border="1"> <tr><td>R元年度</td><td>3人</td><td>／</td><td>11人</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>10人</td><td>／</td><td>36人</td></tr> <tr><td>R3年度</td><td>7人</td><td>／</td><td>36人</td></tr> <tr><td>R4年度</td><td>0人</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29年度	374人	H30年度	392人	R元年度	256人	R2年度	428人	R3年度	474人	R4年度	473人	H28年度	60.2%	H29年度	53.4%	H30年度	51.3%	R元年度	46.5%	R2年度	49.6%	R3年度	59.0%	R4年度	44.5%	6.5～6.9%	39.5%	男性	43.9%	7.0～7.9%	57.1%	女性	50.0%	8.0%以上	53.7%			R元年度	3人	／	11人	R2年度	10人	／	36人	R3年度	7人	／	36人	R4年度	0人			<p>【特定健診結果のHbA1c6.5%以上の人の占める割合】</p> <table border="1"> <tr><td>H28年度</td><td>8.0%</td></tr> <tr><td>H29年度</td><td>8.5%</td></tr> <tr><td>H30年度</td><td>8.2%</td></tr> <tr><td>R元年度</td><td>9.1%</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>9.2%</td></tr> <tr><td>R3年度</td><td>9.4%</td></tr> <tr><td>R4年度</td><td>9.1%</td></tr> </table> <p>(R5:7時点)</p> <p>【総医療費に占める腎不全（透析有）にかかるとる医療費の割合】</p> <table border="1"> <tr><td>H28年度</td><td>6.25%</td></tr> <tr><td>H29年度</td><td>5.39%</td></tr> <tr><td>H30年度</td><td>4.19%</td></tr> <tr><td>R元年度</td><td>3.92%</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>3.65%</td></tr> <tr><td>R3年度</td><td>3.36%</td></tr> <tr><td>R4年度</td><td>3.41%</td></tr> </table> <p>【糖尿病レセプトに占める人工透析の割合】</p> <table border="1"> <tr><td></td><td>男性</td><td>女性</td></tr> <tr><td>R元年度</td><td>1.8%</td><td>0.9%</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>2.0%</td><td>1.0%</td></tr> <tr><td>R3年度</td><td>1.8%</td><td>1.0%</td></tr> <tr><td>R4年度</td><td>2.1%</td><td>1.1%</td></tr> </table> <p>(各年、7月時点のレセプト参照)</p>	H28年度	8.0%	H29年度	8.5%	H30年度	8.2%	R元年度	9.1%	R2年度	9.2%	R3年度	9.4%	R4年度	9.1%	H28年度	6.25%	H29年度	5.39%	H30年度	4.19%	R元年度	3.92%	R2年度	3.65%	R3年度	3.36%	R4年度	3.41%		男性	女性	R元年度	1.8%	0.9%	R2年度	2.0%	1.0%	R3年度	1.8%	1.0%	R4年度	2.1%	1.1%	<p>○特定健診後受診勧奨の内科受診率は、新型コロナウイルスの流行に関係なく低下傾向にある。毎年健診を受診している者には、同じ内容の通知で勧奨しているため、勧奨方法の変更や工夫が必要</p> <p>○内科受診率の内訳としては、HbA1c6.5～6.9%が低く、8.0%以上でも約半数は未受診のみである。通知内容の見直し、通知後も未受診者に対して、訪問や電話による再勧奨の増加が必要</p> <p>○特定健診結果の有所見者割合の増加がみられる。R2年度以降は、新型コロナウイルス感染症による受診控えなどの影響も考えられる。</p> <p>○医療費割合では、腎不全（透析有）が減少している一方で、糖尿病レセプトに占める人工透析の割合は男女ともに増加傾向にある。糖尿病起因の腎疾患が減少しているとは言えないため、引き続き糖尿病対策は必要</p> <p>○未治療者と治療中断者の生活状況や、価値観・ニーズに応じた対応が必要</p>	<p>新規透析導入者のうち、糖尿病性腎症を持つ者の割合の維持</p> <p>(R4年度) 目標値 66.7% 実績値 54.5% 達成</p> <p>(R4年度) 目標値 50.0%以上 実績値 44.5% 未達成</p> <p>(R4年度) 目標値6.3% 実績値9.1% 未達成</p> <p>(R4年度) 目標値増加 実績値増加 達成</p>	<p>【受診勧奨による受診率の向上】 ○勧奨後未受診者への対策 ・特に合併症発症のリスクが高い者には、訪問や電話による個別の再勧奨を継続し、不在等と会えない場合の対策を検討する。 ○未治療者や治療中断者への対策 ・アンケートによる治療中断理由の把握を引き続き行い、未治療者への実施を検討する。また、理由に応じた支援や助言ができるよう、スタッフのスキルアップが必要。 ○医療機関・医師会との連携 ・実施要領や現行の通知文書などの共有を、医師会等へ周知する。</p> <p>【保健指導数の増加】 ○医療機関・医師会との連携 ○指導実施者の確保 ○指導対象者のスキルアップ ○直営保健指導体制の充実 ・時期・期間、面談方法など対象者の希望に応じて、柔軟に対応できる体制を整える。</p> <p>【その他】 ○事業連携 ・後期高齢者医療保険移行後の体系的なフォローのために、高齢部門と連携をしながら一体的な支援ができる体制を構築する。</p>
	H29年度	374人																																																																																																							
	H30年度	392人																																																																																																							
R元年度	256人																																																																																																								
R2年度	428人																																																																																																								
R3年度	474人																																																																																																								
R4年度	473人																																																																																																								
H28年度	60.2%																																																																																																								
H29年度	53.4%																																																																																																								
H30年度	51.3%																																																																																																								
R元年度	46.5%																																																																																																								
R2年度	49.6%																																																																																																								
R3年度	59.0%																																																																																																								
R4年度	44.5%																																																																																																								
6.5～6.9%	39.5%	男性	43.9%																																																																																																						
7.0～7.9%	57.1%	女性	50.0%																																																																																																						
8.0%以上	53.7%																																																																																																								
R元年度	3人	／	11人																																																																																																						
R2年度	10人	／	36人																																																																																																						
R3年度	7人	／	36人																																																																																																						
R4年度	0人																																																																																																								
H28年度	8.0%																																																																																																								
H29年度	8.5%																																																																																																								
H30年度	8.2%																																																																																																								
R元年度	9.1%																																																																																																								
R2年度	9.2%																																																																																																								
R3年度	9.4%																																																																																																								
R4年度	9.1%																																																																																																								
H28年度	6.25%																																																																																																								
H29年度	5.39%																																																																																																								
H30年度	4.19%																																																																																																								
R元年度	3.92%																																																																																																								
R2年度	3.65%																																																																																																								
R3年度	3.36%																																																																																																								
R4年度	3.41%																																																																																																								
	男性	女性																																																																																																							
R元年度	1.8%	0.9%																																																																																																							
R2年度	2.0%	1.0%																																																																																																							
R3年度	1.8%	1.0%																																																																																																							
R4年度	2.1%	1.1%																																																																																																							
<p>【内容】 糖尿病治療中、糖尿病性腎症第2～4期と推定される者のうち、かかりつけ医の承諾を得た上で指導を希望する者に対して保健指導を実施</p> <p>【方法】 (1) 委託 -指導期間：約6か月 -指導回数：面談2回、電話10回 (2) 直営 -指導期間：約6か月 -指導回数：面談3回(訪問も可)、電話10回 -かかりつけ医から紹介があった場合は、随時保健指導を実施</p>	<p>【委託業者の選定と連携】 対象者選定に当たり、健診・レセプトデータを詳細かつ正確に分析し、糖尿病性腎症病期の階層化をすることができる業者を選定（H28年度～R4年度までデータホライゾンに委託）</p> <p>【実施体制】 ●H28年度～H30年度 委託による保健指導のみ実施 ●R元年度から 1医療機関の協力があり、直営での保健指導に着手 ●R3年度から -保健指導プログラムの参加者に係る医師指示書料を市で負担 -ICTを活用した面談も対応可能 -直営による保健指導プログラムを開始</p> <p>【保健指導の実施】 ・対象者に案内文書を送付し、かかりつけ医の承諾を得た上で指導を希望する者に対し保健指導を実施</p> <p>【保健指導終了後の状況把握】 ・保健指導終了から半年後にフォローアップを行い、受診状況や検査値の把握、生活全般について指導を実施 ・保健指導についての満足度を調査するため参加者にアンケートを実施（R3年度から）</p> <p>【新型コロナウイルス感染症の影響】 R2年度からR4年度まで新型コロナウイルス感染症対応のため、指導に従事できる専門職が不足</p> <p>【医療機関連携等】 糖尿病対策推進会議の医師に市の窓口になっていただき相談</p>	<p>【対象者抽出】 (1) 委託 委託業者が健診・レセプトデータを基に抽出した候補者リストから、糖尿病性腎症病期や年齢など優先順位を踏まえ対象者を選定 (2) 直営 愛知県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき対象者を抽出</p>	<p>【保健指導実施者数】</p> <table border="1"> <tr><td></td><td>委託</td><td>直営</td></tr> <tr><td>H28年度</td><td>5人</td><td>—</td></tr> <tr><td>H29年度</td><td>7人</td><td>—</td></tr> <tr><td>H30年度</td><td>14人</td><td>—</td></tr> <tr><td>R元年度</td><td>15人</td><td>—</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>14人</td><td>—</td></tr> <tr><td>R3年度</td><td>13人</td><td>13人</td></tr> <tr><td>R4年度</td><td>10人</td><td>12人</td></tr> </table> <p>【申込率】</p> <table border="1"> <tr><td></td><td>委託</td><td>直営</td></tr> <tr><td>H28年度</td><td>6.3%</td><td>—</td></tr> <tr><td>H29年度</td><td>4.5%</td><td>—</td></tr> <tr><td>H30年度</td><td>4.9%</td><td>—</td></tr> <tr><td>R元年度</td><td>4.7%</td><td>—</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>3.9%</td><td>—</td></tr> <tr><td>R3年度</td><td>3.9%</td><td>14.3%</td></tr> <tr><td>R4年度</td><td>2.8%</td><td>6.6%</td></tr> </table> <p><評価等> 申込率は全体平均で4.9%であったのに対し、59歳以下では1.8%と低い。働き盛り世代が利用しやすい保健指導プログラムを整備する必要がある。</p>		委託	直営	H28年度	5人	—	H29年度	7人	—	H30年度	14人	—	R元年度	15人	—	R2年度	14人	—	R3年度	13人	13人	R4年度	10人	12人		委託	直営	H28年度	6.3%	—	H29年度	4.5%	—	H30年度	4.9%	—	R元年度	4.7%	—	R2年度	3.9%	—	R3年度	3.9%	14.3%	R4年度	2.8%	6.6%	<p>【保健指導前後のデータの変化】</p> <p>●委託</p> <table border="1"> <tr><td></td><td>HbA1c</td><td>BMI</td><td>血圧</td></tr> <tr><td>改善</td><td>4人</td><td>3人</td><td>4人</td></tr> <tr><td>変化なし</td><td>3人</td><td>4人</td><td>3人</td></tr> <tr><td>悪化</td><td>1人</td><td>1人</td><td>1人</td></tr> </table> <p>●直営</p> <table border="1"> <tr><td></td><td>HbA1c</td><td>BMI</td><td>血圧</td></tr> <tr><td>改善</td><td>5人</td><td>6人</td><td>6人</td></tr> <tr><td>変化なし</td><td>2人</td><td>4人</td><td>3人</td></tr> <tr><td>悪化</td><td>3人</td><td>2人</td><td>2人</td></tr> </table> <p>※評価可能者のみ計上 変化なしは適正範囲を維持した者も含む</p>		HbA1c	BMI	血圧	改善	4人	3人	4人	変化なし	3人	4人	3人	悪化	1人	1人	1人		HbA1c	BMI	血圧	改善	5人	6人	6人	変化なし	2人	4人	3人	悪化	3人	2人	2人	<p>○R3年度から直営による糖尿病性腎症重症化予防プログラムを開始し、保健指導実施者数を増やすことができた。指導体制を維持するため、専門職の確保や職員のスキルアップが必要である。</p> <p>○申込率が低下してきているため、対象者の抽出方法や案内方法などを工夫する必要がある。また、かかりつけ医から紹介してもらえよう医療機関への働きかけも必要である。</p> <p>○保健指導前後で血液検査等のデータは改善または適正範囲を維持することができ、保健指導の効果が見られた。</p> <p>○R3年度からICTを活用した面談も対応可能としたが、利用者が少ない（R3～R4年度利用実績：2人）ため、周知方法を検討する必要がある。</p>	<p>脳血管疾患の総医療費に占める割合</p> <p>(R4年度) 目標値 2.638% 実績値 2.366% 達成</p> <p>虚血性心疾患の総医療費に占める割合</p> <p>(R4年度) 目標値 2.368% 実績値 1.633% 達成</p>																			
	委託	直営																																																																																																							
H28年度	5人	—																																																																																																							
H29年度	7人	—																																																																																																							
H30年度	14人	—																																																																																																							
R元年度	15人	—																																																																																																							
R2年度	14人	—																																																																																																							
R3年度	13人	13人																																																																																																							
R4年度	10人	12人																																																																																																							
	委託	直営																																																																																																							
H28年度	6.3%	—																																																																																																							
H29年度	4.5%	—																																																																																																							
H30年度	4.9%	—																																																																																																							
R元年度	4.7%	—																																																																																																							
R2年度	3.9%	—																																																																																																							
R3年度	3.9%	14.3%																																																																																																							
R4年度	2.8%	6.6%																																																																																																							
	HbA1c	BMI	血圧																																																																																																						
改善	4人	3人	4人																																																																																																						
変化なし	3人	4人	3人																																																																																																						
悪化	1人	1人	1人																																																																																																						
	HbA1c	BMI	血圧																																																																																																						
改善	5人	6人	6人																																																																																																						
変化なし	2人	4人	3人																																																																																																						
悪化	3人	2人	2人																																																																																																						

事業名	事業の概要（内容・方法）	R4年度までの振り返り（評価・課題点の明確化）				事業評価 達成・未達成の状況確認	目標値の評価		課題																																																																																																																
		ストラクチャー	プロセス	アウトプット	アウトカム		指標	達成状況																																																																																																																	
生活習慣 医療機関 受診予防 のための	<p>【内容】 特定健康診査の結果、下記のいずれかに該当し、かつ治療を受けていない者に対して通知による受診勧奨を実施（必要に応じて、電話・訪問での再勧奨を実施）</p> <p>【対象者】 (1) 高血圧 ①収縮期血圧180mmHg以上または拡張期血圧110mmHg以上 ②収縮期血圧160mmHg以上または拡張期血圧100mmHg以上かつ「高血圧治療ガイドライン」リスク第二層以上 (2) 脂質異常症 ①LDLコレステロール180mg/dl以上の非肥満者 ②LDLコレステロール180mg/dl以上かつ(2)①以外の者で、冠動脈疾患のリスク因子を併せ持つ者 (3) 慢性腎臓病(CKD) ①e-GFR 45 ml/min/1.73m²未満(70歳以上は40未満) ②過去3年間でe-GFRが年間5 ml/min/1.73m²以上低下している者</p>	<p>(現状) ・国保連合会の処理マニュアルを基に、抽出作業等の手順書を作成 ・KDBシステムから出力される帳票や、特定健診結果データから、有所見者の分析を実施</p> <p>【評価等】 ・事業実施のための予算の確保・人材の確保はできた。</p> <p>(R3年度～) ・対象者の条件を拡大したことで、ハイリスク者を新たに掘り起こすことができた。</p>	<p>(現状) ・特定健診データ管理システム等の処理スケジュールに合わせて、月ごとの作業スケジュールを設定 ・個別に健診時の数値を記載した勧奨通知を送付 ・通知3か月後に、レポートで送付者の受診状況を確認</p> <p>【評価等】 ・おおむねスケジュールどりに実施できた。</p> <p>(R3年度～) ・対象者の条件を拡大したことで、ハイリスク者を新たに掘り起こすことができた。</p>	<p>【各年度実績】 (基準該当者)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>年度</th><th>該当者数(人)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29</td><td>1,078</td></tr> <tr><td>H30</td><td>1,050</td></tr> <tr><td>R元</td><td>1,114</td></tr> <tr><td>R2</td><td>1,131</td></tr> <tr><td>R3</td><td>1,861</td></tr> <tr><td>R4</td><td>1,760</td></tr> </tbody> </table> <p>(通知送付数)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>年度</th><th>該当者数(人)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29</td><td>613</td></tr> <tr><td>H30</td><td>679</td></tr> <tr><td>R元</td><td>636</td></tr> <tr><td>R2</td><td>646</td></tr> <tr><td>R3</td><td>1,016</td></tr> </tbody> </table>	年度	該当者数(人)	H29	1,078	H30	1,050	R元	1,114	R2	1,131	R3	1,861	R4	1,760	年度	該当者数(人)	H29	613	H30	679	R元	636	R2	646	R3	1,016	<p>【事業目標】 ○通知前と通知後で、医療機関受診率が20%上昇する。 ○事業対象者(通知送付者)の割合が前年度から減少する。</p> <p>【評価等】 ○通知前後の医療機関受診率(%)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>年度</th><th>通知前</th><th>通知後</th><th>増減</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29</td><td>43.4</td><td>56.6</td><td>+13.2</td></tr> <tr><td>H30</td><td>35.3</td><td>60.1</td><td>+24.8</td></tr> <tr><td>R元</td><td>43.0</td><td>62.4</td><td>+19.4</td></tr> <tr><td>R2</td><td>42.9</td><td>65.3</td><td>+22.4</td></tr> <tr><td>R3</td><td>45.4</td><td>64.3</td><td>+18.9</td></tr> <tr><td>R4</td><td>43.5</td><td>62.3</td><td>+18.8</td></tr> </tbody> </table> <p>○事業対象者(通知送付者)割合</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>年度</th><th>割合</th><th>年度</th><th>割合</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29</td><td>56.9</td><td>R2</td><td>57.1</td></tr> <tr><td>H30</td><td>64.7</td><td>R3</td><td>54.6</td></tr> <tr><td>R元</td><td>57.1</td><td>R4</td><td>56.5</td></tr> </tbody> </table> <p>○Ⅱ度以上高血圧者の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>年度</th><th>割合</th><th>年度</th><th>割合</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H30</td><td>5.4</td><td>R2</td><td>7.0</td></tr> <tr><td>R元</td><td>5.4</td><td>R3</td><td>7.1</td></tr> </tbody> </table> <p>○脂質異常(LDL140以上)の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>年度</th><th>割合</th><th>年度</th><th>割合</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H30</td><td>29.2</td><td>R2</td><td>30.3</td></tr> <tr><td>R元</td><td>29.2</td><td>R3</td><td>30.3</td></tr> </tbody> </table> <p>○Ⅲ度高血圧再勧奨後受診数(率)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>年度</th><th>受診数</th><th>受診率</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>R3</td><td>9</td><td>12.7%</td></tr> <tr><td>R4</td><td>15</td><td>28.8%</td></tr> </tbody> </table>	年度	通知前	通知後	増減	H29	43.4	56.6	+13.2	H30	35.3	60.1	+24.8	R元	43.0	62.4	+19.4	R2	42.9	65.3	+22.4	R3	45.4	64.3	+18.9	R4	43.5	62.3	+18.8	年度	割合	年度	割合	H29	56.9	R2	57.1	H30	64.7	R3	54.6	R元	57.1	R4	56.5	年度	割合	年度	割合	H30	5.4	R2	7.0	R元	5.4	R3	7.1	年度	割合	年度	割合	H30	29.2	R2	30.3	R元	29.2	R3	30.3	年度	受診数	受診率	R3	9	12.7%	R4	15	28.8%	<p>【医療機関受診勧奨】 ○新型コロナウイルス感染症流行の影響による受診控えが社会的問題となったが、通知後の受診率の伸びは横ばいで推移しており、一定の効果が見込まれる。 ○項目別では高血圧の受診率の伸びが低い。アンケートの結果を踏まえ、適切な受診タイミングを判断できるよう、正しい情報の周知が必要</p> <p>【高血圧未受診者再勧奨】 ○R3年度は、新型コロナウイルス感染症の流行による訪問中止や、メンバー不足により、アプローチが不十分だった。 ○R4年度はアンケート返送率が低かったが、訪問等による介入数が増え、勧奨後受診率が伸びている。</p>	<p>健診受診者のⅡ度以上高血圧者の割合</p> <p>(R4年度) 目標値5.0% 実績値7.0% 未達成</p> <p>健診受診者の脂質異常症者の割合</p> <p>(R4年度) 目標値26.2% 実績値27.4% 未達成</p> <p>虚血性心疾患の総医療費に占める割合</p> <p>(R4年度) 目標値2.368% 実績値1.633% 達成</p> <p>脳血管疾患の総医療費に占める割合</p> <p>(R4年度) 目標値2.638% 実績値2.366% 達成</p>	<p>○通知後も未受診の者への対策 ・未受診理由の把握を引き続き実施し、個別の受診勧奨を拡大する等、受診勧奨の実効性向上 ○医療にかかっているが健診で血圧が高い「通知前受診者」が4割を超えており、コントロール不良者への取組を強化する必要がある。 ○家庭血圧測定の実行 ・対象者へ家庭血圧の測定を呼びかけるほか、市ホームページや広報等の媒体を用いて、住民全体に家庭での血圧測定を勧めている。 ○事業連携 (ポピュレーションアプローチ) ・脳・心血管疾患の予防について、データ等を活用し住民に分かりやすく情報提供をする。健康増進部門や介護・高齢部門など、関係課と連携をしながら広く周知を行う。</p>										
		年度	該当者数(人)																																																																																																																						
		H29	1,078																																																																																																																						
		H30	1,050																																																																																																																						
R元	1,114																																																																																																																								
R2	1,131																																																																																																																								
R3	1,861																																																																																																																								
R4	1,760																																																																																																																								
年度	該当者数(人)																																																																																																																								
H29	613																																																																																																																								
H30	679																																																																																																																								
R元	636																																																																																																																								
R2	646																																																																																																																								
R3	1,016																																																																																																																								
年度	通知前	通知後	増減																																																																																																																						
H29	43.4	56.6	+13.2																																																																																																																						
H30	35.3	60.1	+24.8																																																																																																																						
R元	43.0	62.4	+19.4																																																																																																																						
R2	42.9	65.3	+22.4																																																																																																																						
R3	45.4	64.3	+18.9																																																																																																																						
R4	43.5	62.3	+18.8																																																																																																																						
年度	割合	年度	割合																																																																																																																						
H29	56.9	R2	57.1																																																																																																																						
H30	64.7	R3	54.6																																																																																																																						
R元	57.1	R4	56.5																																																																																																																						
年度	割合	年度	割合																																																																																																																						
H30	5.4	R2	7.0																																																																																																																						
R元	5.4	R3	7.1																																																																																																																						
年度	割合	年度	割合																																																																																																																						
H30	29.2	R2	30.3																																																																																																																						
R元	29.2	R3	30.3																																																																																																																						
年度	受診数	受診率																																																																																																																							
R3	9	12.7%																																																																																																																							
R4	15	28.8%																																																																																																																							
	<p>【評価等】 ・対象者の情報を担当内で共有し、特定保健指導等の機会と併せることで、家庭効率的に勧奨を実施した。</p>	<p>【評価等】 ・事前にアンケートを送付することで、返送がない方に対しても訪問理由等が伝わりやすく、家庭血圧測定などの状況確認もスムーズに行うことができた。</p>	<p><アンケート返送数と電話・訪問勧奨数(人)></p> <table border="1"> <thead> <tr><th>年度</th><th>返送数</th><th>電話</th><th>訪問</th><th>対象者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>R3</td><td>30</td><td>4</td><td>2</td><td>71</td></tr> <tr><td>R4</td><td>16</td><td>11</td><td>6</td><td>52</td></tr> </tbody> </table> <p><アンケート結果> R3,4回答者 計46名</p> <table border="1"> <thead> <tr><th colspan="2">家庭血圧の測定頻度(%)</th><th colspan="2">家庭血圧の値(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>毎日</td><td>31%</td><td>正常血圧</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>時々</td><td>20%</td><td>正常高値血圧</td><td>10.3</td></tr> <tr><td>気が付いた時</td><td>31%</td><td>高値血圧</td><td>28.2</td></tr> <tr><td>測っていない</td><td>11%</td><td>I度高血圧</td><td>35.9</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>Ⅱ度高血圧</td><td>15.4</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>Ⅲ度高血圧</td><td>10.3</td></tr> </tbody> </table> <p>自分の値をどう思うか(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th></th><th></th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>少し下げたい</td><td>18</td><td>医師から問題なし</td><td>12</td></tr> <tr><td>健診時だけ高い</td><td>21</td><td>いつもと変わらない</td><td>8</td></tr> <tr><td>調子が悪くない</td><td>12</td><td>測るたびに変わる</td><td>7</td></tr> </tbody> </table> <p>薬を飲んで下げることにどう思うか(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th></th><th></th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>薬以外で下げたい</td><td>22</td><td>副作用が心配</td><td>8</td></tr> <tr><td>一生飲まないといけない</td><td>14</td><td>病院に行きたくない</td><td>8</td></tr> <tr><td>内服は仕方ない</td><td>11</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	年度	返送数	電話	訪問	対象者数	R3	30	4	2	71	R4	16	11	6	52	家庭血圧の測定頻度(%)		家庭血圧の値(%)		毎日	31%	正常血圧	0.0	時々	20%	正常高値血圧	10.3	気が付いた時	31%	高値血圧	28.2	測っていない	11%	I度高血圧	35.9			Ⅱ度高血圧	15.4			Ⅲ度高血圧	10.3					少し下げたい	18	医師から問題なし	12	健診時だけ高い	21	いつもと変わらない	8	調子が悪くない	12	測るたびに変わる	7					薬以外で下げたい	22	副作用が心配	8	一生飲まないといけない	14	病院に行きたくない	8	内服は仕方ない	11			<p>○事業対象者(通知送付者)割合</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>年度</th><th>割合</th><th>年度</th><th>割合</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29</td><td>56.9</td><td>R2</td><td>57.1</td></tr> <tr><td>H30</td><td>64.7</td><td>R3</td><td>54.6</td></tr> <tr><td>R元</td><td>57.1</td><td>R4</td><td>56.5</td></tr> </tbody> </table> <p>○Ⅱ度以上高血圧者の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>年度</th><th>割合</th><th>年度</th><th>割合</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H30</td><td>5.4</td><td>R2</td><td>7.0</td></tr> <tr><td>R元</td><td>5.4</td><td>R3</td><td>7.1</td></tr> </tbody> </table> <p>○脂質異常(LDL140以上)の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>年度</th><th>割合</th><th>年度</th><th>割合</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H30</td><td>29.2</td><td>R2</td><td>30.3</td></tr> <tr><td>R元</td><td>29.2</td><td>R3</td><td>30.3</td></tr> </tbody> </table>	年度	割合	年度	割合	H29	56.9	R2	57.1	H30	64.7	R3	54.6	R元	57.1	R4	56.5	年度	割合	年度	割合	H30	5.4	R2	7.0	R元	5.4	R3	7.1	年度	割合	年度	割合	H30	29.2	R2	30.3	R元	29.2	R3	30.3	<p>(R4年度) 目標値2.368% 実績値1.633% 達成</p> <p>(R4年度) 目標値2.638% 実績値2.366% 達成</p>	
年度	返送数	電話	訪問	対象者数																																																																																																																					
R3	30	4	2	71																																																																																																																					
R4	16	11	6	52																																																																																																																					
家庭血圧の測定頻度(%)		家庭血圧の値(%)																																																																																																																							
毎日	31%	正常血圧	0.0																																																																																																																						
時々	20%	正常高値血圧	10.3																																																																																																																						
気が付いた時	31%	高値血圧	28.2																																																																																																																						
測っていない	11%	I度高血圧	35.9																																																																																																																						
		Ⅱ度高血圧	15.4																																																																																																																						
		Ⅲ度高血圧	10.3																																																																																																																						
少し下げたい	18	医師から問題なし	12																																																																																																																						
健診時だけ高い	21	いつもと変わらない	8																																																																																																																						
調子が悪くない	12	測るたびに変わる	7																																																																																																																						
薬以外で下げたい	22	副作用が心配	8																																																																																																																						
一生飲まないといけない	14	病院に行きたくない	8																																																																																																																						
内服は仕方ない	11																																																																																																																								
年度	割合	年度	割合																																																																																																																						
H29	56.9	R2	57.1																																																																																																																						
H30	64.7	R3	54.6																																																																																																																						
R元	57.1	R4	56.5																																																																																																																						
年度	割合	年度	割合																																																																																																																						
H30	5.4	R2	7.0																																																																																																																						
R元	5.4	R3	7.1																																																																																																																						
年度	割合	年度	割合																																																																																																																						
H30	29.2	R2	30.3																																																																																																																						
R元	29.2	R3	30.3																																																																																																																						

事業名	事業の概要（内容・方法）	R4年度までの振り返り（評価・課題点の明確化）				事業評価 達成・未達成の状況確認	目標値の評価		課題																																																																																																																																																								
		ストラクチャー	プロセス	アウトプット	アウトカム		指標	達成状況																																																																																																																																																									
国保がん検診無料化事業	<p>【背景】 がんは、本市の死因の第1位である。また、国保の医療費に占める割合も第1位となっている。このような中、がん検診の受診率は目標値である25%に達していない。</p> <p>【目的】 受診しやすい環境づくりとして、R2年度からR5年度までを「がん検診受診促進期間」と位置付け、国保加入者の自己負担金を無料とすることで、新たな受診者の獲得や検診受診の習慣化を図る。これにより、がんを早期に発見し、早期に治療を行うことにより、がんの死亡率を低下させるとともに医療費を抑制する。</p> <p>【無料化の適用方法】 受診時に国民健康保険証を提示</p> <p>【対象となるがん検診】 ○胃がん検診 ・胃部X線検査（バリウム） 50歳以上・年度に1回 ・胃内視鏡検査 50歳以上・2年度に1回 ○肺がん・結核検診 ・胸部X線検査 40歳以上・年度に1回 +喀痰細胞診（該当者のみ） 50歳以上・年度に1回 ○大腸がん検診 ・便潜血反応検査 40歳以上・年度に1回 ○乳がん検診 ・マンモグラフィ検査 40歳以上・2年度に1回 ○子宮頸がん検診 ・視診・細胞診・内診 +体部検査（医師の判断による） 20歳以上・2年度に1回 ○前立腺がん ・PSA検査 50歳以上・年度に1回</p>	<p>【受診しやすい環境づくり】 ・R3年度から、地域会場・健診団体の予約に、WEB予約システムを導入。これにより、24時間いつでも予約が可能となった。 ・市民ニーズの高い休日検診・託児付検診を提供</p> <p>【特定健診との同時実施】 特定健診とがん検診を同時に受けることができる会場がある。</p> <p>【他機関との連携】 ・協定締結機関（明治安田生命）の外交員による受診勧奨 ・青色申告会の会員にチラシを配布</p> <p>【新型コロナウイルス感染症による影響】 ・R2年度以降、市保健所での検診は全て中止 ・R2年4,5月、指定医療機関の個別検診を中止（胃内視鏡検査は7月末まで中止） ・R2年4～7月、集団検診を中止または延期 ・R3年4,5月、集団検診を中止または延期</p> <p>【評価等】 ・受診促進のための実施体制を整えることができた。</p>	<p>【周知・啓発】 ・年度毎に、周知啓発について新たな取組を実施する。</p> <p>○実施した周知啓発（R2年度まで） ・公共施設、医療機関などにポスターやチラシを設置 ・国保・年金課窓口で広告を入れたポケットティッシュを配布 ・国民健康保険証の一斉更新・交付の際にチラシを同封。封筒広告も活用 ・健診のしおりに広告記事を掲載 ・市政広報番組、広報紙などの広報媒体を活用 ・市役所本館1階の行政情報モニターを活用した周知 ・市公式LINEでの配信 ・民間フリーペーパーに広告記事を掲載</p> <p>OR3年度に新たに実施 ・市役所別館に横断幕を掲示</p> <p>OR4年度に新たに実施 ・協定締結機関（明治安田生命）の外交員による受診勧奨 ・集いの場を活用し、がん検診の重要性に関する講話と受診勧奨を実施</p> <p>【評価等】 ・年度毎に、新たな取組を実施することができた。</p>	<p>【無料化助成件数】</p> <p>●胃がん検診（件）</p> <table border="1"> <tr><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th></tr> <tr><td>4,676</td><td>5,606</td><td>6,205</td></tr> </table> <p>●肺がん検診（件）</p> <table border="1"> <tr><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th></tr> <tr><td>10,240</td><td>11,687</td><td>13,056</td></tr> </table> <p>●大腸がん検診（件）</p> <table border="1"> <tr><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th></tr> <tr><td>10,097</td><td>11,621</td><td>13,004</td></tr> </table> <p>●乳がん検診（件）</p> <table border="1"> <tr><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th></tr> <tr><td>3,446</td><td>3,850</td><td>4,356</td></tr> </table> <p>●子宮頸がん検診（件）</p> <table border="1"> <tr><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th></tr> <tr><td>2,995</td><td>3,530</td><td>3,856</td></tr> </table> <p>●前立腺がん検診（件）</p> <table border="1"> <tr><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th></tr> <tr><td>2,815</td><td>3,183</td><td>3,730</td></tr> </table> <p>【自己負担助成金額】</p> <p>●胃がん検診（千円）</p> <table border="1"> <tr><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th></tr> <tr><td>6,436</td><td>8,541</td><td>9,168</td></tr> </table> <p>●肺がん検診（千円）</p> <table border="1"> <tr><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th></tr> <tr><td>8,493</td><td>9,702</td><td>10,860</td></tr> </table> <p>●大腸がん検診（千円）</p> <table border="1"> <tr><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th></tr> <tr><td>5,362</td><td>6,186</td><td>6,894</td></tr> </table> <p>●乳がん検診（千円）</p> <table border="1"> <tr><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th></tr> <tr><td>4,869</td><td>5,462</td><td>6,154</td></tr> </table> <p>●子宮頸がん検診（千円）</p> <table border="1"> <tr><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th></tr> <tr><td>3,303</td><td>3,722</td><td>4,065</td></tr> </table> <p>●前立腺がん検診（千円）</p> <table border="1"> <tr><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th></tr> <tr><td>1,971</td><td>2,228</td><td>2,611</td></tr> </table>	R2年度	R3年度	R4年度	4,676	5,606	6,205	R2年度	R3年度	R4年度	10,240	11,687	13,056	R2年度	R3年度	R4年度	10,097	11,621	13,004	R2年度	R3年度	R4年度	3,446	3,850	4,356	R2年度	R3年度	R4年度	2,995	3,530	3,856	R2年度	R3年度	R4年度	2,815	3,183	3,730	R2年度	R3年度	R4年度	6,436	8,541	9,168	R2年度	R3年度	R4年度	8,493	9,702	10,860	R2年度	R3年度	R4年度	5,362	6,186	6,894	R2年度	R3年度	R4年度	4,869	5,462	6,154	R2年度	R3年度	R4年度	3,303	3,722	4,065	R2年度	R3年度	R4年度	1,971	2,228	2,611	<p>【受診率】</p> <p>●胃がん検診</p> <table border="1"> <tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th></tr> <tr><td>10.4%</td><td>10.3%</td><td>11.3%</td><td>12.7%</td></tr> </table> <p>●肺がん検診</p> <table border="1"> <tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th></tr> <tr><td>11.5%</td><td>12.4%</td><td>14.2%</td><td>16.0%</td></tr> </table> <p>●大腸がん検診</p> <table border="1"> <tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th></tr> <tr><td>11.7%</td><td>12.3%</td><td>14.2%</td><td>16.4%</td></tr> </table> <p>●乳がん検診</p> <table border="1"> <tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th></tr> <tr><td>15.9%</td><td>15.3%</td><td>16.5%</td><td>19.2%</td></tr> </table> <p>●子宮頸がん検診</p> <table border="1"> <tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th></tr> <tr><td>12.2%</td><td>12.2%</td><td>13.6%</td><td>15.7%</td></tr> </table> <p>【新規受診者※の推移】 ※直近3年以内に受診歴がない者</p> <p>●胃がん検診（人）</p> <table border="1"> <tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th></tr> <tr><td>1,147</td><td>1,638</td><td>1,976</td><td>2,150</td></tr> </table> <p>●肺がん検診（人）</p> <table border="1"> <tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th></tr> <tr><td>1,999</td><td>3,395</td><td>3,343</td><td>3,442</td></tr> </table> <p>●大腸がん検診（人）</p> <table border="1"> <tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th></tr> <tr><td>1,992</td><td>3,245</td><td>3,310</td><td>3,426</td></tr> </table> <p>●乳がん検診（人）</p> <table border="1"> <tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th></tr> <tr><td>1,208</td><td>1,401</td><td>1,542</td><td>1,923</td></tr> </table> <p>●子宮頸がん検診（人）</p> <table border="1"> <tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th></tr> <tr><td>1,394</td><td>1,517</td><td>1,665</td><td>1,893</td></tr> </table>	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	10.4%	10.3%	11.3%	12.7%	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	11.5%	12.4%	14.2%	16.0%	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	11.7%	12.3%	14.2%	16.4%	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	15.9%	15.3%	16.5%	19.2%	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	12.2%	12.2%	13.6%	15.7%	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	1,147	1,638	1,976	2,150	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	1,999	3,395	3,343	3,442	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	1,992	3,245	3,310	3,426	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	1,208	1,401	1,542	1,923	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	1,394	1,517	1,665	1,893	<p>○本事業について、より多くの対象者に知ってもらえるよう、あらゆる機会を捉えて周知啓発をすることができた。</p> <p>○受診率は目標には達しなかったが、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えにより、全国的に受診者数が低下する中、受診率は事業開始前を超える水準で推移しており、一定の事業効果が見込まれる。</p> <p>○新規受診者についても、全てのがん検診において、事業開始前を超える水準で推移している。</p>	<p>国保加入者 胃がん検診受診率</p> <p>国保加入者 肺がん検診受診率</p> <p>国保加入者 大腸がん検診受診率</p> <p>国保加入者 乳がん検診受診率</p> <p>国保加入者 子宮頸がん検診受診率</p>	<p>(R4年度) 目標値25% 実績値 12.7% 未達成</p> <p>(R4年度) 目標値25% 実績値 16.0% 未達成</p> <p>(R4年度) 目標値25% 実績値 16.4% 未達成</p> <p>(R4年度) 目標値25% 実績値 19.2% 未達成</p> <p>(R4年度) 目標値25% 実績値 15.7% 未達成</p>	<p>○受診率が目標値である25%に達していないため、引き続き新たな受診者の獲得や、検診受診の習慣化につながる取組を継続する必要がある。</p> <p>○がん検診を受診しない理由は年代や就業状況などでも異なることが推測されるため、より勧奨の効果を高めるためにもアンケート等を実施し未受診理由などを把握する必要がある。</p>
	R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																																																																														
	4,676	5,606	6,205																																																																																																																																																														
	R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																																																																														
10,240	11,687	13,056																																																																																																																																																															
R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																																																																															
10,097	11,621	13,004																																																																																																																																																															
R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																																																																															
3,446	3,850	4,356																																																																																																																																																															
R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																																																																															
2,995	3,530	3,856																																																																																																																																																															
R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																																																																															
2,815	3,183	3,730																																																																																																																																																															
R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																																																																															
6,436	8,541	9,168																																																																																																																																																															
R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																																																																															
8,493	9,702	10,860																																																																																																																																																															
R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																																																																															
5,362	6,186	6,894																																																																																																																																																															
R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																																																																															
4,869	5,462	6,154																																																																																																																																																															
R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																																																																															
3,303	3,722	4,065																																																																																																																																																															
R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																																																																															
1,971	2,228	2,611																																																																																																																																																															
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																																																																														
10.4%	10.3%	11.3%	12.7%																																																																																																																																																														
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																																																																														
11.5%	12.4%	14.2%	16.0%																																																																																																																																																														
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																																																																														
11.7%	12.3%	14.2%	16.4%																																																																																																																																																														
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																																																																														
15.9%	15.3%	16.5%	19.2%																																																																																																																																																														
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																																																																														
12.2%	12.2%	13.6%	15.7%																																																																																																																																																														
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																																																																														
1,147	1,638	1,976	2,150																																																																																																																																																														
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																																																																														
1,999	3,395	3,343	3,442																																																																																																																																																														
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																																																																														
1,992	3,245	3,310	3,426																																																																																																																																																														
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																																																																														
1,208	1,401	1,542	1,923																																																																																																																																																														
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																																																																														
1,394	1,517	1,665	1,893																																																																																																																																																														

事業名	事業の概要（内容・方法）	R4年度までの振り返り（評価・課題点の明確化）				事業評価 達成・未達成の状況確認	目標値の評価		課題																																																																																																																																																																																																				
		ストラクチャー	プロセス	アウトプット	アウトカム		指標	達成状況																																																																																																																																																																																																					
重複・頻回受診者等指導事業	<p>【内容】 是正が不要な加入者にその旨を通知し、適正受診へ向けた支援・指導を実施することにより、医療費の適正化を図る。</p> <p>【対象者】 下記に該当する者のうち、指導の必要があると判断した者 (1) 重複受診；同一疾患で月に3医療機関以上の受診を3か月以上継続している者 (2) 重複服薬；重複受診者のうち、投与日数が60日/月以上を超える同系薬品を含む者※ (3) 頻回受診；同一医療機関を月20日以上かつ3か月以上継続受診している者 ※令和3年度から、重複・多剤服用者対策事業が開始。重複服薬の対象者を、同種同効薬を複数の医療機関から3か月以上継続して処方されているおむね65歳未満の者と、変更している（重複・多剤服用者対策事業の対象者は、除外）。</p> <p>【実施方法】 ①レセプト情報から上記対象者を抽出 ②抽出者からがん・精神疾患・人工透析利用者等を除き、受診行動の是正が必要な者を選定 ③選定者に対し、各自の受診・服薬情報を記載した通知文書と適正受診を促すリーフレットを送付 ④必要に応じて電話・訪問等で状況確認や支援・指導を実施 ⑤通知3か月後、レセプトで受診状況を確認</p>	<p>（現状） ○レセプト情報を基に上記【対象者】(1)(2)(3)に該当する者を抽出（令和元年からは業者へ委託） ○不適切な状態が継続している者を対象とするべく、単月ではなく3～6か月間の受診・服薬状況で判断する。 ○通知文書は、各々の受診医療機関数、薬剤数や重複薬剤名、疾患名・処置内容等が記載できる様式とする。 ○効果測定は、KDBデータを活用し、通知前後各3か月の医療費や受診医療機関数・薬剤数を比較・検証する。 ○改善がみられずより悪質なケースは、外部機関（県や厚生支局）と連携する体制を構築 ○事業実施のための人員が不足しており、人員の確保が必要</p> <p>【評価等】 ○対象者抽出を業者委託することで、作業の効率化や抽出と精度を向上させることができた。 ○業者委託により、同一疾患での重複受診や同系薬品（先発・後発薬品の紐付けなど）の重複などより精度の高い対象者抽出を実施することができた。 ○事業効果をより詳細に評価するには、調剤費（薬剤にかかる費用）の算出方法を検討する必要がある。</p>	<p>（現状） ○抽出や効果測定のための処理手順について、マニュアルを作成。 ○対象者選定の際は、類似した疾患名や同系薬品（先発・後発薬品）を紐付けながら判断する。 ○がん末期・人工透析療養者・精神疾患（主に認知症）等選定の対象とならない者は除外する。</p> <p>【評価等】 ○是正が必要な重複であるか否かを判断する際、一時的に重複したものが長期（慢性的）かつ不適切に重複しているかの見極めが難しい。 ○重複している薬剤や処置などを通知文書へ掲載する際、医師からどこまで告知されているかが分からないため、病名・処置内容の記載に苦慮している。</p>	<p>（各年度実績） 【事業実施回数と通知文書送付数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● H29年度 実施回数：4回 <table border="1"> <tr><td>(1) 重複受診</td><td>；70人(2)を含む</td></tr> <tr><td>(2) 重複服薬</td><td>；—</td></tr> <tr><td>(3) 頻回受診</td><td>；22人 計 92人</td></tr> </table> ● H30年度 実施回数：2回 <table border="1"> <tr><td>(1) 重複受診</td><td>；66人(2)を含む</td></tr> <tr><td>(2) 重複服薬</td><td>；—</td></tr> <tr><td>(3) 頻回受診</td><td>；15人 計 81人</td></tr> </table> ● R元年度 実施回数：1回 <table border="1"> <tr><td>(1) 重複受診</td><td>；9人</td></tr> <tr><td>(2) 重複服薬</td><td>；31人</td></tr> <tr><td>(3) 頻回受診</td><td>；29人 計 69人</td></tr> </table> ● R2年度 実施回数：1回 <table border="1"> <tr><td>(1) 重複受診</td><td>；3人</td></tr> <tr><td>(2) 重複服薬</td><td>；39人</td></tr> <tr><td>(3) 頻回受診</td><td>；20人 計 62人</td></tr> </table> ● R3年度 実施回数：1回 <table border="1"> <tr><td>(1) 重複受診</td><td>；38人</td></tr> <tr><td>(2) 重複服薬</td><td>；15人</td></tr> <tr><td>(3) 頻回受診</td><td>；27人 計 80人</td></tr> </table> ● R4年度 実施回数：1回 <table border="1"> <tr><td>(1) 重複受診</td><td>；62人</td></tr> <tr><td>(2) 重複服薬</td><td>；4人</td></tr> <tr><td>(3) 頻回受診</td><td>；17人 計 83人</td></tr> </table> <p>【通知後の変化】 ～受診病院数（箇所・平均）～</p> <table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>通知前</th><th>通知後</th><th>増減</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29年度</td><td>2.6</td><td>2.4</td><td>▲0.2</td></tr> <tr><td>H30年度</td><td>6.0</td><td>5.3</td><td>▲0.7</td></tr> <tr><td>R元年度</td><td>4.9</td><td>4.0</td><td>▲0.9</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>4.0</td><td>3.3</td><td>▲0.7</td></tr> <tr><td>R3年度</td><td>6.3</td><td>5.5</td><td>▲0.8</td></tr> <tr><td>R4年度</td><td>5.0</td><td>4.2</td><td>▲0.8</td></tr> </tbody> </table> <p>～薬剤数（種類・平均）～</p> <table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>通知前</th><th>通知後</th><th>増減</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29年度</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H30年度</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>R元年度</td><td>20.3</td><td>19.6</td><td>▲0.7</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>18.6</td><td>17.6</td><td>▲1.0</td></tr> <tr><td>R3年度</td><td>10.6</td><td>10.1</td><td>▲0.5</td></tr> <tr><td>R4年度</td><td>32.8</td><td>32.8</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> <p>～受診日数（日数・平均）～</p> <table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>通知前</th><th>通知後</th><th>増減</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29年度</td><td>25.0</td><td>19.3</td><td>▲5.7</td></tr> <tr><td>H30年度</td><td>30.7</td><td>28.1</td><td>▲2.6</td></tr> <tr><td>R元年度</td><td>25.7</td><td>18.2</td><td>▲7.5</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>22.5</td><td>17.0</td><td>▲5.5</td></tr> <tr><td>R3年度</td><td>14.4</td><td>10.9</td><td>▲3.5</td></tr> <tr><td>R4年度</td><td>18.5</td><td>14.9</td><td>▲3.6</td></tr> </tbody> </table>	(1) 重複受診	；70人(2)を含む	(2) 重複服薬	；—	(3) 頻回受診	；22人 計 92人	(1) 重複受診	；66人(2)を含む	(2) 重複服薬	；—	(3) 頻回受診	；15人 計 81人	(1) 重複受診	；9人	(2) 重複服薬	；31人	(3) 頻回受診	；29人 計 69人	(1) 重複受診	；3人	(2) 重複服薬	；39人	(3) 頻回受診	；20人 計 62人	(1) 重複受診	；38人	(2) 重複服薬	；15人	(3) 頻回受診	；27人 計 80人	(1) 重複受診	；62人	(2) 重複服薬	；4人	(3) 頻回受診	；17人 計 83人		通知前	通知後	増減	H29年度	2.6	2.4	▲0.2	H30年度	6.0	5.3	▲0.7	R元年度	4.9	4.0	▲0.9	R2年度	4.0	3.3	▲0.7	R3年度	6.3	5.5	▲0.8	R4年度	5.0	4.2	▲0.8		通知前	通知後	増減	H29年度	—	—	—	H30年度	—	—	—	R元年度	20.3	19.6	▲0.7	R2年度	18.6	17.6	▲1.0	R3年度	10.6	10.1	▲0.5	R4年度	32.8	32.8	0		通知前	通知後	増減	H29年度	25.0	19.3	▲5.7	H30年度	30.7	28.1	▲2.6	R元年度	25.7	18.2	▲7.5	R2年度	22.5	17.0	▲5.5	R3年度	14.4	10.9	▲3.5	R4年度	18.5	14.9	▲3.6	<p>【事業目標】 ● 通知前後で ① 受診医療機関数が減少 ② 薬剤数が減少 ③ 月当たり受診日数が減少</p> <p>● 上記3項目で、通知前より減少した者の割合が50%以上</p> <p>● 通知前後3か月の医療費比較 通知後医療費÷通知前医療費が1.0以下</p> <p>【評価等】 通知後は、受診病院数、薬剤数、受診日数のいずれも平均で減少した。</p> <p>【事業対象者の変化】 ～受診病院数が減った者の割合～</p> <table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>人数</th><th>割合</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29年度</td><td>41人 / 70人</td><td>58.6%</td></tr> <tr><td>H30年度</td><td>39人 / 66人</td><td>59.1%</td></tr> <tr><td>R元年度</td><td>6人 / 9人</td><td>66.7%</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>2人 / 3人</td><td>66.7%</td></tr> <tr><td>R3年度</td><td>19人 / 36人</td><td>52.8%</td></tr> <tr><td>R4年度</td><td>34人 / 60人</td><td>56.7%</td></tr> </tbody> </table> <p>～薬剤数が減った者の割合～</p> <table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>人数</th><th>割合</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>R元年度</td><td>15人 / 27人</td><td>55.6%</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>18人 / 38人</td><td>47.4%</td></tr> <tr><td>R3年度</td><td>5人 / 13人</td><td>38.5%</td></tr> <tr><td>R4年度</td><td>1人 / 3人</td><td>33.3%</td></tr> </tbody> </table> <p>～受診日数が減った者の割合～</p> <table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>人数</th><th>割合</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29年度</td><td>19人 / 22人</td><td>86.4%</td></tr> <tr><td>H30年度</td><td>9人 / 15人</td><td>60.0%</td></tr> <tr><td>R元年度</td><td>19人 / 29人</td><td>65.5%</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>16人 / 18人</td><td>88.9%</td></tr> <tr><td>R3年度</td><td>20人 / 25人</td><td>80.0%</td></tr> <tr><td>R4年度</td><td>12人 / 16人</td><td>75.0%</td></tr> </tbody> </table> <p>【医療費の変化】 通知後医療費÷通知前医療費</p> <table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>削減率</th><th>削減額(千円)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29年度</td><td>0.74</td><td>6,406</td></tr> <tr><td>H30年度</td><td>0.84</td><td>5,893</td></tr> <tr><td>R元年度</td><td>0.97</td><td>523</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>0.98</td><td>299</td></tr> <tr><td>R3年度</td><td>0.89</td><td>1,718</td></tr> <tr><td>R4年度</td><td>0.90</td><td>1,896</td></tr> </tbody> </table>		人数	割合	H29年度	41人 / 70人	58.6%	H30年度	39人 / 66人	59.1%	R元年度	6人 / 9人	66.7%	R2年度	2人 / 3人	66.7%	R3年度	19人 / 36人	52.8%	R4年度	34人 / 60人	56.7%		人数	割合	R元年度	15人 / 27人	55.6%	R2年度	18人 / 38人	47.4%	R3年度	5人 / 13人	38.5%	R4年度	1人 / 3人	33.3%		人数	割合	H29年度	19人 / 22人	86.4%	H30年度	9人 / 15人	60.0%	R元年度	19人 / 29人	65.5%	R2年度	16人 / 18人	88.9%	R3年度	20人 / 25人	80.0%	R4年度	12人 / 16人	75.0%		削減率	削減額(千円)	H29年度	0.74	6,406	H30年度	0.84	5,893	R元年度	0.97	523	R2年度	0.98	299	R3年度	0.89	1,718	R4年度	0.90	1,896	<p>○受診病院数・薬剤数・受診日数は対象人数が少ないものがあり評価しづらい時もあるが、受診病院数、受診日数は目標を達成し減少しているが、薬剤数は改善できなかった。</p> <p>○医療費の変化にはあまり削減が見られなかった。</p> <p>○新規該当者は病院数・薬剤数などいずれを取っても改善がみられやすいが、該当者として繰り返し挙がってくる者は、改善がみられにくい。特に精神疾患で長期通院・服薬している者は改善が難しい。</p>	<p>○再掲者への対策 ・継続的な支援 ・かかりつけ医との連携 ・服薬情報等の一元化（お薬手帳の活用啓発）</p> <p>○適正化の更なる促進 ○お薬手帳の活用啓発 「重複・多剤服用者対策事業」と合わせて、国保加入者への啓発、広報、ホームページなど市の媒体を活用した啓発、病院、薬局など医療機関での啓発を引き続き行う。</p> <p>○悪質な事例への対応策 転売目的等不適切な処方を受けているものについては、関係機関（県・厚生支局等）へも情報提供し、是正へ向け連携して取り組む。</p> <p>○重複の発生を未然に防ぐ対策 マイナ保険証で、病院等を受診すれば、診療・調剤の情報が医師や薬剤師と共有でき、重複の発生を未然に防ぐことができる。広報・ホームページなど市の媒体を活用し、マイナ保険証の活用を推進する。</p>
		(1) 重複受診	；70人(2)を含む																																																																																																																																																																																																										
(2) 重複服薬	；—																																																																																																																																																																																																												
(3) 頻回受診	；22人 計 92人																																																																																																																																																																																																												
(1) 重複受診	；66人(2)を含む																																																																																																																																																																																																												
(2) 重複服薬	；—																																																																																																																																																																																																												
(3) 頻回受診	；15人 計 81人																																																																																																																																																																																																												
(1) 重複受診	；9人																																																																																																																																																																																																												
(2) 重複服薬	；31人																																																																																																																																																																																																												
(3) 頻回受診	；29人 計 69人																																																																																																																																																																																																												
(1) 重複受診	；3人																																																																																																																																																																																																												
(2) 重複服薬	；39人																																																																																																																																																																																																												
(3) 頻回受診	；20人 計 62人																																																																																																																																																																																																												
(1) 重複受診	；38人																																																																																																																																																																																																												
(2) 重複服薬	；15人																																																																																																																																																																																																												
(3) 頻回受診	；27人 計 80人																																																																																																																																																																																																												
(1) 重複受診	；62人																																																																																																																																																																																																												
(2) 重複服薬	；4人																																																																																																																																																																																																												
(3) 頻回受診	；17人 計 83人																																																																																																																																																																																																												
	通知前	通知後	増減																																																																																																																																																																																																										
H29年度	2.6	2.4	▲0.2																																																																																																																																																																																																										
H30年度	6.0	5.3	▲0.7																																																																																																																																																																																																										
R元年度	4.9	4.0	▲0.9																																																																																																																																																																																																										
R2年度	4.0	3.3	▲0.7																																																																																																																																																																																																										
R3年度	6.3	5.5	▲0.8																																																																																																																																																																																																										
R4年度	5.0	4.2	▲0.8																																																																																																																																																																																																										
	通知前	通知後	増減																																																																																																																																																																																																										
H29年度	—	—	—																																																																																																																																																																																																										
H30年度	—	—	—																																																																																																																																																																																																										
R元年度	20.3	19.6	▲0.7																																																																																																																																																																																																										
R2年度	18.6	17.6	▲1.0																																																																																																																																																																																																										
R3年度	10.6	10.1	▲0.5																																																																																																																																																																																																										
R4年度	32.8	32.8	0																																																																																																																																																																																																										
	通知前	通知後	増減																																																																																																																																																																																																										
H29年度	25.0	19.3	▲5.7																																																																																																																																																																																																										
H30年度	30.7	28.1	▲2.6																																																																																																																																																																																																										
R元年度	25.7	18.2	▲7.5																																																																																																																																																																																																										
R2年度	22.5	17.0	▲5.5																																																																																																																																																																																																										
R3年度	14.4	10.9	▲3.5																																																																																																																																																																																																										
R4年度	18.5	14.9	▲3.6																																																																																																																																																																																																										
	人数	割合																																																																																																																																																																																																											
H29年度	41人 / 70人	58.6%																																																																																																																																																																																																											
H30年度	39人 / 66人	59.1%																																																																																																																																																																																																											
R元年度	6人 / 9人	66.7%																																																																																																																																																																																																											
R2年度	2人 / 3人	66.7%																																																																																																																																																																																																											
R3年度	19人 / 36人	52.8%																																																																																																																																																																																																											
R4年度	34人 / 60人	56.7%																																																																																																																																																																																																											
	人数	割合																																																																																																																																																																																																											
R元年度	15人 / 27人	55.6%																																																																																																																																																																																																											
R2年度	18人 / 38人	47.4%																																																																																																																																																																																																											
R3年度	5人 / 13人	38.5%																																																																																																																																																																																																											
R4年度	1人 / 3人	33.3%																																																																																																																																																																																																											
	人数	割合																																																																																																																																																																																																											
H29年度	19人 / 22人	86.4%																																																																																																																																																																																																											
H30年度	9人 / 15人	60.0%																																																																																																																																																																																																											
R元年度	19人 / 29人	65.5%																																																																																																																																																																																																											
R2年度	16人 / 18人	88.9%																																																																																																																																																																																																											
R3年度	20人 / 25人	80.0%																																																																																																																																																																																																											
R4年度	12人 / 16人	75.0%																																																																																																																																																																																																											
	削減率	削減額(千円)																																																																																																																																																																																																											
H29年度	0.74	6,406																																																																																																																																																																																																											
H30年度	0.84	5,893																																																																																																																																																																																																											
R元年度	0.97	523																																																																																																																																																																																																											
R2年度	0.98	299																																																																																																																																																																																																											
R3年度	0.89	1,718																																																																																																																																																																																																											
R4年度	0.90	1,896																																																																																																																																																																																																											

事業名	事業の概要（内容・方法）	令和4年度までの振り返り（評価・課題点の明確化）				事業評価 達成・未達成の状況確認	目標値の評価		課題
		ストラクチャー	プロセス	アウトプット	アウトカム		指標	達成状況	
重複・多剤服用者対策事業	<p>【内容】 高齢者に起こりやすいとされるポリファーマシー（多剤服用）を防止するため、服薬情報を一覧にした文書を送付するなどにより、服薬の適正化を促す。</p> <p>令和2年度に試行実施 令和3年度から事業開始</p> <p>【対象者】 以下のいずれかに該当する65歳以上の加入者 ・複数の医療機関から効能が重複した薬が処方されている。 ・飲み合わせに注意が必要な薬を服用している。 ・おおむね15種類以上の薬を服用している。</p> <p>【周知啓発】 ○市ホームページや広報紙に「ポリファーマシーを知っていますか？」の記事を掲載 ○窓口に「あなたのおくすりいつ飲んでいきますか」の啓発カードを設置 ○市施設や医療・福祉関係機関を中心に、事業PRのチラシを配布</p> <p>【評価等】 ○管理薬剤師からの意見を踏まえて事業を開始したことで、事業体制の構築や事業開始のPRを効果的に行うことができた。 ○対象者抽出や通知書発送を業者委託し、作業の効率化を図ることができた。また、同系薬品ごとにグルーピング表示したりどの薬が重複しているかが一目で分かるなど、分かりやすい通知書を作成することができた。 ○くすりの使用適正協議会と連携し、協議会が作成した動画や啓発カードなど活用した周知啓発を実施することができた。</p>	<p>(R2年度) ○医師会・薬剤師会へ事業に関する事業説明を実施 ○通知書の作成と発送を試行的に実施 ○発送後、調剤薬局の管理薬剤師を対象に事業に対する意見照会（アンケート）を実施</p> <p>(現状) 【個別通知】 ○レセプト情報を基に左記【対象者】に該当する者を事業候補者として抽出 ○薬剤数が多い者や同種同効薬の重複が存在するなど見直しの優先度が高い者上位約1,000～1,200名を通知対象者として選定 ○服薬情報を一覧にした通知文書を送付 ○対象者が持参した通知書を基に医師・薬剤師が必要に応じて処方内容を見直し ○通知発送後、特に見直しを勧める必要があると思われる者へ保健師が電話による見直し勧奨を実施 ○通知前後各3か月の薬剤数や重複の改善状況、削減額などを比較・検証</p> <p>【周知啓発】 ○市ホームページや広報紙に「ポリファーマシーを知っていますか？」の記事を掲載 ○窓口に「あなたのおくすりいつ飲んでいきますか」の啓発カードを設置 ○市施設や医療・福祉関係機関を中心に、事業PRのチラシを配布</p> <p>【評価等】 ○管理薬剤師からの意見を踏まえて事業を開始したことで、事業体制の構築や事業開始のPRを効果的に行うことができた。 ○対象者抽出や通知書発送を業者委託し、作業の効率化を図ることができた。また、同系薬品ごとにグルーピング表示したりどの薬が重複しているかが一目で分かるなど、分かりやすい通知書を作成することができた。 ○くすりの使用適正協議会と連携し、協議会が作成した動画や啓発カードなど活用した周知啓発を実施することができた。</p>	<p>(試行実施) ○管理薬剤師からの意見や対象が高齢者であることを踏まえ、委託業者と文字サイズや分かりやすい表現などに配慮しながら通知書デザインを検討</p> <p>(現状) ○効率化のため業務委託を活用 ○がん末期・人工透析療養者等は対象から除外 ○対象者からの問合せに迅速に対応できるよう委託業者が設置するサポートデスクを活用 ○処方医や薬剤師と連携するための「連携ツール」をホームページへ掲載し、訪問看護や介護関係機関からの働きかけを促した。</p>	<p>【通知候補者数】 ※各年1回候補者リストを集計（ ）は被保険者に占める割合 OR2年度 3,149人（3.04%） OR3年度 3,117人（3.08%） OR4年度 2,936人（3.03%）</p> <p>【実施回数と通知文書送付数】 OR2年度 実施回数；2回 1回目 937人 2回目 973人 合計 1,910人 OR3年度 実施回数；3回 1回目 1,025人 2回目 1044人 3回目 340人 合計 2,409人 OR4年度 実施回数；2回 1回目 1,200人 2回目 973人 合計 2,173人</p> <p>【対象者の平均年齢】 70.0～70.6歳</p>	<p>【通知前後の平均薬剤数】 (通知前) (通知後) OR2年度 10.4種類 → 9.5種類 OR3年度 10.0種類 → 8.9種類 OR4年度 10.2種類 → 9.3種類</p> <p>【薬剤数が減少した者の割合】 OR2年度 31.8% OR3年度 35.0% OR4年度 33.6%</p> <p>【重複が改善した者の割合】 OR2年度 63.7% OR3年度 68.8% OR4年度 63.8%</p> <p>【削減効果額】 OR2年度 9,777,416円 OR3年度 3,071,670円 OR4年度 2,149,209円</p> <p>【1人あたり削減額】 OR2年度 5,603円 OR3年度 4,031円 OR4年度 3,227円</p>	<p>【事業目標】 ○重複が改善した人の割合 4割 ○1人当たり削減額 6,000円/月 ↓ 【目標達成状況】 ○重複が改善した人の割合は各年とも6～7割と、目標を達成できている。 ○1人当たりの削減額は、いずれの年も目標を達成できていない。</p>	—	—	<p>○適正化の促進 ＜ポリファーマシーの認知度向上＞ 事業対象者だけでなく、より多くの人にポリファーマシーについて知ってもらい、飲んでいる薬を正しく理解し必要以上にもらわないようにするなどについて啓発する。</p> <p>＜お薬手帳の活用＞ ポリファーマシー発生防止のためには服用している薬の全てを知ってもらう事が重要であることや、そのためにお薬手帳を1冊にまとめておくことを啓発する。</p> <p>＜マイナ保険証の利用促進＞ マイナ保険証で病院等を受診すれば、診療・調剤の情報が医師や薬剤師と共有できるため、重複の発生を未然に防ぐことができる旨を周知する。</p> <p>○通知対象者や実施回数の見直し 被保険者の減少などにより、事業対象者が想定件数に達していないことから、通知対象者の設定や実施回数を再考する必要がある。</p> <p>○この取組が医療費（調剤費）の削減にどの程度効果を上げているかの分析・検証ができていないため、今後検証を実施する必要がある。</p>

事業名	事業の概要（内容・方法）	R4年度までの振り返り（評価・課題点の明確化）				事業評価 達成・未達成の状況確認	目標値の評価		課題																																																		
		ストラクチャー	プロセス	アウトプット	アウトカム		指標	達成状況																																																			
シ エ ネ リ ッ ク 医 薬 品 普 及 啓 発 事 業	<p><共通> 【内容】 ジェネリック医薬品の利用促進のため、国民健康保険被保険者に対する周知・啓発や差額通知を行う。</p>	<p>【予算・人員】 実施のための予算の確保、人材の確保はできた。</p>	<p>【事業評価手法】 国保連合会及び委託業者から提供される通知後の切替状況や、普及率・削減効果といった情報から事業評価を行う。</p>		<p>【ジェネリック医薬品使用割合】 (国保総合システムによる集計値)</p> <table border="1"> <tr><td>H29年度</td><td>66.7%</td><td>H30年4月審査分</td></tr> <tr><td>H30年度</td><td>71.7%</td><td>H31年4月審査分</td></tr> <tr><td>R元年度</td><td>74.8%</td><td>R2年4月審査分</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>76.9%</td><td>R3年4月審査分</td></tr> <tr><td>R3年度</td><td>77.3%</td><td>R4年4月審査分</td></tr> <tr><td>R4年度</td><td>80.0%</td><td>R5年4月審査分</td></tr> </table>	H29年度	66.7%	H30年4月審査分	H30年度	71.7%	H31年4月審査分	R元年度	74.8%	R2年4月審査分	R2年度	76.9%	R3年4月審査分	R3年度	77.3%	R4年4月審査分	R4年度	80.0%	R5年4月審査分	<p>○ジェネリック医薬品の普及率は上昇しており、国の示す80%の普及率を達成することができた。</p> <p>○国民健康保険被保険者の減少により、ジェネリック医薬品希望シールの送付数も減少しているが、切替割合は増加しており、ジェネリック医薬品への知識が浸透しつつあると考えられる。</p>	<p>後発医薬品の 使用割合</p>	<p>(R4年度) 目標値 80.0% 実績値 80.0% (R5年度4 月審査) 達成</p>	<p>○普及率の維持・向上 ・普及率を向上させるために、県、医療関係機関（医師会、薬剤師会など）との更なる連携を行う。 ・後発医薬品の流通状況や、切替に対する反応など、普及率向上に必要な情報を医療機関や薬局と協力し収集、対策や方針の相談を行う。</p> <p>○差額通知発送範囲の拡大 ・花粉症・アレルギー疾患対応薬のよに処方時期が明確もしくは定期的に処方されているものについて流通状況を鑑みながら独自の通知発送を検討する。 ・国保連合会委託の差額通知は5月診療分を7月発送であり、花粉症対応薬の処方後の通知となってしまう。前年の1～4月のレセプト等も参考に、花粉症流行前の1月頃に事前通知発送を検討する。</p> <p>○啓発活動 ・希望シールや、保険証ケースでの啓発活動は継続しつつ、薬剤費の削減・適正化につながるOTC医薬品（※）の利用促進などのセルフメディケーションの周知啓発を併せて行う。</p> <p>※OTC薬品とは、「薬局、薬店、ドラッグストアなどで処方せんが無くても購入できる医薬品（市販薬）」を指す。</p>																																
	H29年度	66.7%	H30年4月審査分																																																								
	H30年度	71.7%	H31年4月審査分																																																								
R元年度	74.8%	R2年4月審査分																																																									
R2年度	76.9%	R3年4月審査分																																																									
R3年度	77.3%	R4年4月審査分																																																									
R4年度	80.0%	R5年4月審査分																																																									
<p><周知・啓発> 【方法】 ・ジェネリック医薬品に関する情報を、HP、広報紙、ラジオなどで周知。 ・ジェネリック医薬品希望シールや、カードケースの配布</p>	<p>【実施体制の整備】 市民課、各支所等と連携し、ジェネリック情報提供に関する啓発物を窓口等で配布する体制を整えた。</p>	<p>【利用促進ツールの配布】 ○ジェネリック医薬品希望シール 毎年7月中旬に実施している国民健康保険証の一斉更新・交付の際に同封 ○ジェネリック医薬品希望カードケース 国保窓口や市民課、支所等の窓口を設置し、配布</p>	<p>【ジェネリック医薬品希望シール発注数】</p> <table border="1"> <tr><td>H29年度</td><td>75,000</td></tr> <tr><td>H30年度</td><td>73,000</td></tr> <tr><td>R元年度</td><td>73,000</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>73,000</td></tr> <tr><td>R3年度</td><td>70,000</td></tr> <tr><td>R4年度</td><td>70,000</td></tr> <tr><td>R5年度</td><td>69,000</td></tr> </table>	H29年度	75,000	H30年度	73,000	R元年度	73,000	R2年度	73,000	R3年度	70,000	R4年度	70,000	R5年度	69,000	<p>【中核市における普及率の順位】 (厚労省資料より)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>診療月</th><th>順位</th><th>本市</th><th>平均</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H30.9月診療分</td><td>46位/54市</td><td>68.7%</td><td>73.5%</td></tr> <tr><td>H31.3月診療分</td><td>45位/54市</td><td>71.3%</td><td>75.4%</td></tr> <tr><td>R元.9月診療分</td><td>49位/58市</td><td>71.9%</td><td>75.5%</td></tr> <tr><td>R元.3月診療分</td><td>49位/58市</td><td>74.5%</td><td>78.0%</td></tr> <tr><td>R2.9月診療分</td><td>50位/60市</td><td>75.4%</td><td>78.4%</td></tr> <tr><td>R3.3月診療分</td><td>49位/60市</td><td>76.6%</td><td>79.3%</td></tr> <tr><td>R3.9月診療分</td><td>51位/62市</td><td>76.8%</td><td>79.3%</td></tr> <tr><td>R4.3月診療分</td><td>48位/62市</td><td>77.4%</td><td>79.4%</td></tr> <tr><td>R4.9月診療分</td><td>45位/62市</td><td>78.7%</td><td>80.1%</td></tr> </tbody> </table>	診療月	順位	本市	平均	H30.9月診療分	46位/54市	68.7%	73.5%	H31.3月診療分	45位/54市	71.3%	75.4%	R元.9月診療分	49位/58市	71.9%	75.5%	R元.3月診療分	49位/58市	74.5%	78.0%	R2.9月診療分	50位/60市	75.4%	78.4%	R3.3月診療分	49位/60市	76.6%	79.3%	R3.9月診療分	51位/62市	76.8%	79.3%	R4.3月診療分	48位/62市	77.4%	79.4%	R4.9月診療分	45位/62市	78.7%	80.1%	<p>○厚労省資料ではジェネリック医薬品の使用割合はH30年9月診療分からR4年の同月までに10%増加し、中核市平均よりも多く増加しているが、平均値には届いておらず普及率の順位は低い水準である。</p>
H29年度	75,000																																																										
H30年度	73,000																																																										
R元年度	73,000																																																										
R2年度	73,000																																																										
R3年度	70,000																																																										
R4年度	70,000																																																										
R5年度	69,000																																																										
診療月	順位	本市	平均																																																								
H30.9月診療分	46位/54市	68.7%	73.5%																																																								
H31.3月診療分	45位/54市	71.3%	75.4%																																																								
R元.9月診療分	49位/58市	71.9%	75.5%																																																								
R元.3月診療分	49位/58市	74.5%	78.0%																																																								
R2.9月診療分	50位/60市	75.4%	78.4%																																																								
R3.3月診療分	49位/60市	76.6%	79.3%																																																								
R3.9月診療分	51位/62市	76.8%	79.3%																																																								
R4.3月診療分	48位/62市	77.4%	79.4%																																																								
R4.9月診療分	45位/62市	78.7%	80.1%																																																								
<p><差額通知> 【方法】 ・ジェネリック医薬品に関するお知らせ（差額通知書）の送付 ・処方された先発薬のうち、ジェネリック医薬品が存在するものについて切り替えた場合の差額を通知 ※5月～12月診療が対象。7月～毎月送付（年8回） 【事業の流れ】 ・対象者抽出 ・差額通知書の発送 ・発送後の切替状況の確認 ・事業評価・次年度計画</p>	<p>【委託業者の選定】 ・愛媛県国保連合会の取りまとめで下記のとおり委託を実施（県内20市町） ・委託業者との連携は円滑に行うことができた。 ～H27年度：安川情報システム株式会社 H28、H29年度：株式会社データホライゾン H30年度～：愛媛県国保連合会</p>	<p>【対象抽出】 送付対象者の条件設定、データ管理について問題なく実施できた。 〈条件〉 ・1個人に対して合計で100円以上の差額のあるもの ・通知対象とする薬剤は14日以上処方があるもの ・年齢要件はなし ・注射薬や新生物、抗精神病薬は対象外 ・医科（院内処方・外来のみ）と調剤（院外処方）を含める。</p>	<p>【送付数】 (通)</p> <table border="1"> <tr><td>H29年度</td><td>28,977</td></tr> <tr><td>H30年度</td><td>31,809</td></tr> <tr><td>R元年度</td><td>25,524</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>25,421</td></tr> <tr><td>R3年度</td><td>22,768</td></tr> <tr><td>R4年度</td><td>21,736</td></tr> </table>	H29年度	28,977	H30年度	31,809	R元年度	25,524	R2年度	25,421	R3年度	22,768	R4年度	21,736	<p>【切替数/切替割合】</p> <table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>切替数</th><th>割合</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H30年度</td><td>3,346</td><td>10.5%</td></tr> <tr><td>R元年度</td><td>2,642</td><td>10.4%</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>3,273</td><td>12.9%</td></tr> <tr><td>R3年度</td><td>2,620</td><td>11.5%</td></tr> <tr><td>R4年度</td><td>3,182</td><td>14.6%</td></tr> </tbody> </table>		切替数	割合	H30年度	3,346	10.5%	R元年度	2,642	10.4%	R2年度	3,273	12.9%	R3年度	2,620	11.5%	R4年度	3,182	14.6%	<p>【切替による削減効果】 (千円)</p> <table border="1"> <tr><td>H30年度</td><td>19,359</td></tr> <tr><td>R元年度</td><td>19,069</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>30,032</td></tr> <tr><td>R3年度</td><td>13,437</td></tr> <tr><td>R4年度</td><td>19,268</td></tr> </table>	H30年度	19,359	R元年度	19,069	R2年度	30,032	R3年度	13,437	R4年度	19,268														
H29年度	28,977																																																										
H30年度	31,809																																																										
R元年度	25,524																																																										
R2年度	25,421																																																										
R3年度	22,768																																																										
R4年度	21,736																																																										
	切替数	割合																																																									
H30年度	3,346	10.5%																																																									
R元年度	2,642	10.4%																																																									
R2年度	3,273	12.9%																																																									
R3年度	2,620	11.5%																																																									
R4年度	3,182	14.6%																																																									
H30年度	19,359																																																										
R元年度	19,069																																																										
R2年度	30,032																																																										
R3年度	13,437																																																										
R4年度	19,268																																																										

6. 第2期データヘルス計画に係る考察と課題

(1) 中長期目標の達成状況

中長期目標疾患(脳血管疾患・虚血性心疾患・慢性腎臓病)が総医療費に占める割合はいずれも減少し、これらの新規患者数や治療中の者の割合も併せて減少していることから、未治療者を治療へつなぐ取組や、重症化予防のための保健指導などの各種取組に一定の成果があったものと考えます。

しかし、脳血管疾患・虚血性心疾患の医療費割合やレセプト件数は、依然、国や同規模保険者と比べて高い状況が続いているため、引き続きこれらの疾患を減少させるための取組を継続していく必要があります。

糖尿病性腎症による透析導入者については、患者の増加は抑えられていますが原因疾患の一つである糖尿病性腎症の新規患者数や治療中の者の割合は増加しているため、今後、糖尿病性腎症の対象者への早期介入、糖尿病の治療中断やコントロール不良者への対策の強化などについて検討する必要があります。

(2) 短期目標の達成状況

特定健診受診者で、Ⅱ度以上高血圧、LDL140mg/dl 以上、HbA1c6.5%以上が占める割合は、いずれも目標を達成できませんでした。特に血圧や血糖は、有所見率が国の平均より高いことから、未治療者への医療機関受診勧奨や、これらの症状が進展する原因となるメタボリックシンドロームを解消させるための保健指導などを強化する必要があります。

また、健診受診率そのものが低いことや、特定保健指導の実施率、メタボリックシンドローム(及び予備群)の減少率が目標に達していないことも課題であるため、引き続き、より多くの人に利用してもらうための周知啓発や利用勧奨に取り組んでいきます。

(3) その他

がん医療費の増大抑制や早期発見・早期治療の推進を目的に、令和2年度から4年間の期間限定で「国保がん検診無料化事業」を実施し、受診率そのものは目標を達成できなかったものの、新たな受診者の獲得や連続受診者の増加、がん発見者の増加といった一定の成果を上げることができました。

がんは、主たる死因の割合、医療費、患者数共に最も多い疾患であることから、今後も、検診の重要性や受診の習慣化に向けた周知啓発を継続し、予防や早期発見・早期治療に取り組むことが重要と考えます。

ほか、後発医薬品の利用促進や適正受診・適正服薬に向けた指導など医療費適正化に向けた取組についても、関係機関と連携しながら引き続き取り組んでいきます。

7. 第3期データヘルス計画の目標設定

第2期計画の考察、課題を踏まえ、第3期計画の目標を以下の通り設定しました。

関連計画		評価指標(案)	ベースライン	中間評価	最終評価	目標値	データの把握方法				
			R4	R7	R10	R11					
データヘルス計画	中長期目標	脳血管疾患、虚血性心疾患、慢性腎臓病の発症および医療費の増大を抑制	アウトカム	1	心疾患による死亡の割合の減少	31.3%	減少	減少	減少	KDBシステム (帳票No.1)	
				2	脳血管疾患による死亡の割合の減少	14.0%	減少	減少	減少		
				3	脳血管疾患の総医療費に占める割合の減少	2.37%	2.26%	2.09%	2.03%	KDBシステム	
				4	虚血性心疾患の総医療費に占める割合の減少	1.63%	1.57%	1.48%	1.45%		
				5	慢性腎不全(透析有)の総医療費に占める割合の減少	3.66%	3.60%	3.51%	3.48%		
				6	被保険者1,000人あたり新規脳梗塞・脳出血患者数	20.49人	減少	減少	減少	DHPシステム	
				7	被保険者1,000人あたり新規虚血性心疾患患者数	22.54人	減少	減少	減少		
				8	被保険者1,000人あたり新規人工透析患者数	0.41人	減少	減少	減少		
	短期目標	高血圧、脂質異常症、糖尿病の早期発見と合併症発症の防止			9	健診受診者の高血圧者の割合の減少(160mmHg/100mmHg以上)	7.1%	6.7%	6.1%	5.9%	特定健診・特定保健指導結果(法定報告値) ※ヘルスサポートラボツールを用いて集計
					10	健診受診者の脂質異常者の割合の減少(LDL180mg/dl以上)	4.2%	4.0%	3.6%	3.5%	
					11	★健診受診者のHbA1c8.0%以上の者の割合の減少	1.4%	1.30%	1.15%	1.10%	
					12	受診勧奨後、医療機関受診に繋がった割合(糖尿病)	43.4%	50%以上	50%以上	50%以上	市の独自集計
					13	受診勧奨後、医療機関受診に繋がった割合(高血圧)	24.2%	30%以上	30%以上	30%以上	市の独自集計
特定健診等計画	メタボリックシンドロームの改善、生活習慣病発症の予防	アウトカム	アウトプット	14	★特定健診受診率	33.1%	40%	55%	60%	特定健診・特定保健指導結果(法定報告値)	
				15	★特定保健指導実施率	24.8%	36%	54%	60%		
				16	メタボリックシンドローム・予備群の減少率	19.3%	25%以上	25%以上	25%以上		
				17	★特定保健指導による特定保健指導対象者の減少	22.2%	25%以上	25%以上	25%以上		
保険者努力支援制度	短期目標	がんの早期発見、早期治療の推進	アウトカム	アウトプット	18	国保加入者のがん検診平均受診率	16.4%	19.3%	23.7%	25%以上	地域保健事業報告
					19	65歳以上で、処方薬剤数が月10種類以上の人の割合	6.5%	6.5%以下	6.5%以下	6.5%以下	KDBシステム
					20	後発医薬品の使用割合	80.0%	80%以上	80%以上	80%以上	厚労省報告

★すべての都道府県で設定することが望ましい指標

第3章 課題を解決するための戦略

1. 保健事業の方向性

第3期データヘルス計画における保健事業の方向性を次のようにまとめました。

(1) 生活習慣病重症化の予防

生活習慣病重症化による合併症の発症・進展を抑制するため、医療機関受診が必要な方へ適切な受診を働きかけ、治療中の方には医療機関等と連携した保健指導を実施していきます。

(2) 生活習慣病の予防、早期発見

生活習慣病は自覚症状がないため、まずは健診の機会を提供し、受診を促します。

また、健診結果を踏まえ、各々が主体的に健康行動が取れるよう、個別の保健指導やポピュレーションアプローチを組み合わせ、情報提供やサポートを実施します。

(3) 適正受診・適正服薬の推進

健康被害の発生防止や医療費の適正化のため、適正受診に向けた支援や周知啓発に取り組んでいきます。

2. 個別の保健事業

保健事業の実施に当たっては、個別の事業ごとに目標値を設定し、定期的に達成状況を評価するとともに、必要に応じて内容等の見直しを図ります(図表3-1)。

図表3-1: 個別の保健事業一覧

目的	事業名	個別保健事業計画
生活習慣病重症化の予防	○糖尿病性腎症重症化予防事業	3-3,3-4
	○高血圧重症化予防事業	3-5,3-6
	○生活習慣病重症化予防のための医療機関受診勧奨事業	3-7
生活習慣病の予防、早期発見	○特定健康診査事業 ○特定保健指導事業	3-1,3-2
	○国保がん検診受診啓発事業	3-8
適正受診・適正服薬の推進	○重複・頻回受診者等指導事業	3-9
	○重複・多剤服用者対策事業	3-10
	○ジェネリック医薬品普及啓発事業	3-11

個別保健事業計画

3-1

事業名	特定健康診査事業			
目的	糖尿病・高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病に主眼を置いた健康診査を行うことにより、特定保健指導対象者の抽出を行い、生活習慣病の予防及び医療費の適正化を図る。			
課題	特定健康診査受診率が目標(60%)を達成しておらず、中核市や県内の他市町村と比較して低い。			
内容	<p>★第4期特定健康診査等実施計画(p.43)に沿って実施</p> <p>対象者 40～74歳までの被保険者</p> <p>実施方法 ① 集団健診(各地区・健診団体) ② 個別健診(指定医療機関)</p> <p>【受診率向上の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 健診未受診者に対し、通知による受診勧奨を実施(民間委託) ○ 利用しやすい環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・WEB 健診予約システム(24 時間受付)の活用 ・土日の健診会場や託児付健診の継続実施、人気の会場の追加 ・特定健診の適切な受診やがん検診の同時受診など医師会や医療機関との連携 			
評価指標	区分	指標	ベースライン(R4)	目標値(R11)
	アウトカム	受診勧奨対象者の特定健康診査受診率	33.2%	35.0%
	アウトプット	受診勧奨通知送付数	31,735 通	50,000 通
	プロセス	特定健診対象者への受診券送付率	—	99.99%
	ストラクチャー	集団健診の回数及び個別健診の実施機関数	383	360以上

目標	短期目標	特定健康診査受診率	33.1%	60.0%
	詳細指標	・新規受診者の割合 ・健診継続受診者の割合 ・健康状態不明者の割合		

個別保健事業計画

3-2

事業名	特定保健指導事業			
目的	特定保健指導が必要とされた者に対して、専門職が個別に介入することで、生活習慣の改善を促し、メタボリックシンドロームおよび関連する生活習慣病を減少させることを目的とする。			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導実施率が目標値(60%)に達していない。 ・メタボリックシンドローム該当者の減少率、保健指導による特定保健指導対象者の減少率は目標に満たず、成果に繋がる取組が必要 			
内容	<p>★第4期特定健康診査等実施計画(p.43)に沿って実施</p> <p>対象者 特定健康診査結果から抽出された積極的支援、動機付け支援対象者</p> <p>実施方法 来所・訪問による面談、ICT を活用した遠隔面談により保健指導を実施</p> <p>① 委託実施(民間事業者) ② 直営実施(国保・年金課)</p> <p>【実施率向上の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 効果的に事業を実施するため、R5年度から PFS(成果連動型民間委託方式)を導入 ○ 訪問、電話等による未利用者勧奨を実施 ○ 利用しやすい環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ICT 利用の促進、初回面談分割実施を導入 			
評価指標	区分	指標	ベースライン(R4)	目標値(R11)
	アウトカム	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	22.2%	25%
	アウトプット	特定保健指導実施率	24.8%	60%
	プロセス	指導効果等の分析、利用者増加のための取組	—	—
	ストラクチャー	指導体制の整備、人員、予算の確保	100%	100%

目標	中・長期目標	脳血管疾患の医療費に占める割合	2.37%	2.03%
		虚血性心疾患の医療費に占める割合	1.63%	1.45%
	詳細指標	・メタボリックシンドローム該当者のリスク項目保有率		
	短期目標	メタボリックシンドローム該当者・予備群割合の減少	19.3%	25%
詳細指標	・指導後の腹囲・体重減少率率(2cm,2kg) ・指導前後の行動変容ステージの変化			

個別保健事業計画

3-3

事業名	糖尿病性腎症重症化予防事業(受診勧奨)			
目的	健診結果が医療機関受診判定値以上の未治療者や治療中断者に対して早期受診を促すことで、糖尿病合併症の発症・進行や、糖尿病性腎症を原因とした人工透析移行を阻止する。			
課題	・HbA1c 有所見者の割合が増加しており、治療へ結びつける割合が目標値に達していない。			
内容	<p>★愛媛県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに沿って実施</p> <p>対象者</p> <p>①未治療者:特定健診結果で HbA1c が規定値以上にもかかわらず受診していない人</p> <p>②治療中断者:レセプト情報から糖尿病性腎症の既往があり、治療を中断している人</p> <p>実施方法</p> <p>○健診結果、レセプト情報から対象者を抽出し、通知文書・リーフレットを送付する。</p> <p>○通知後も未受診の者に対し、合併症リスクが高い人を中心に、個別の再勧奨を行う。</p>			
評価指標	区分	指標	ベースライン (R4)	目標値 (R11)
	アウトカム	通知文書送付後の医療機関受診率	44.5%	50%以上
	アウトプット	受診勧奨実施者数(対象者に対し100%)	100%	100%
	プロセス	規定値該当者数及び事業対象者の把握	100%	100%
	ストラクチャー	実施要領作成、予算確保	--	--

目標	中・長期目標	糖尿病性腎症による透析導入者の割合の維持	54.5%	ベースライン以下
		慢性腎不全(透析有)の総医療費に占める割合の減少	3.66%	3.48%
	詳細指標	・人工透析導入者数 ・新規透析導入者数 ・糖尿病性腎症の新規発症者数 ・腎移植の状況 ・総医療費の内訳(短期目標疾患・中長期目標疾患)		
	短期目標	健診受診者の HbA1c8.0%以上の者の割合の減少	1.4%	1.1%
詳細指標	・HbA1c 高値のうち、未治療者の割合 ・HbA1c 高値のうち治療中断者の割合 ・健診継続受診者の HbA1c 改善状況			

個別保健事業計画

3-4

事業名	糖尿病性腎症重症化予防事業(保健指導)			
目的	糖尿病性腎症重症化リスクの高い人に対して、かかりつけ医と連携した保健指導を行うことで、糖尿病合併症の進行や糖尿病性腎症による人工透析移行を阻止する。			
課題	<p>・糖尿病性腎症の新規患者が増加傾向にある。</p> <p>・特定健診受診者の中に、治療中にも関わらず血糖コントロール不良の人が見受けられる。</p>			
内容	<p>★愛媛県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに沿って実施</p> <p>対象者</p> <p>○糖尿病で通院治療中かつ糖尿病性腎症の悪化および透析に移行する可能性のある者</p> <p>実施方法</p> <p>○対象者の選定</p> <p>・レセプト情報及び特定健診データから、より優先度の高い対象者を選定</p> <p>○かかりつけ医と連携した保健指導</p> <p>・指示書に基づき保健指導を実施し、糖尿病連携手帳等を介して情報共有を行う。</p> <p>○専門職の確保</p> <p>・高度な専門知識が必要となるため、研修による育成や委託により実施体制を確保する。</p>			
評価指標	区分	指標	ベースライン (R4)	目標値 (R11)
	アウトカム	保健指導前後で HbA1c 値が改善した者の割合	50%	50%以上
	アウトプット	保健指導実施者数	22名	35名
	プロセス	事業該当者数及び事業対象者の把握	100%	100%
	ストラクチャー	実施要領作成、予算確保	--	--

目標	中・長期目標	糖尿病性腎症による透析導入者の割合の維持	54.5%	ベースライン以下
		慢性腎不全(透析有)の総医療費に占める割合の減少	3.66%	3.48%
	詳細指標	・人工透析導入者数 ・新規透析導入者数 ・糖尿病性腎症の新規発症者数 ・腎移植の状況 ・糖尿病治療者のうち、合併症を持つ人の割合		
	短期目標	健診受診者の HbA1c8.0%以上の者の減少	1.4%	1.1%
詳細指標	・HbA1c 高値のうち、治療中の割合(コントロール不良)			

個別保健事業計画

3-5

事業名	高血圧重症化予防事業（受診勧奨）			
目的・背景	健診結果が医療機関受診判定値以上の未治療者や治療中断者に対して早期受診を促すことで血圧のコントロールを図り、高血圧の重症化を阻止する。			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・心臓病、脳疾患の死因割合は、同規模保険者や国と比較して高い。 ・脳血管疾患、虚血性心疾患が医療費に占める割合は、同規模保険者や国と比較して高い 			
内容	<p>★愛媛県高血圧重症化予防プログラムに沿って実施</p> <p>対象者</p> <p>①未治療者：特定健診結果で血圧が規定値以上にもかかわらず受診していない人</p> <p>②治療中断者：レセプト情報から高血圧症の既往があり、治療を中断している人</p> <p>実施方法</p> <p>○健診結果、レセプト情報から対象者を抽出し、通知文書・リーフレットを送付する。</p> <p>○通知後も未受診の者に対し、合併症リスクが高い人を中心に、個別の再勧奨を行う。</p>			
評価指標	区分	指標	ベースライン (R4)	目標値 (R11)
	アウトカム	未受診者割合(通知対象者÷事業該当者)の減少	55.3%	前年度以下
	アウトプット	受診勧奨後、医療機関受診に繋がった割合(高血圧)	24.2%	30%以上
	プロセス	対象者の把握、通知送付、通知後の受診状況確認	100%	100%
	ストラクチャー	予算、人員の確保	100%	100%

目標	中・長期目標	脳血管疾患の総医療費に占める割合の減少	2.37%	2.03%
		虚血性心疾患の総医療費に占める割合の減少	1.63%	1.45%
		慢性腎不全(透析有)の総医療費に占める割合の減少	3.66%	3.48%
	詳細指標	<ul style="list-style-type: none"> ・脳梗塞、脳出血、虚血性心疾患、人工透析の新規患者割合と治療者割合 ・高血圧、脂質治療者のうち、合併症をもつ者の割合 ・総医療費の内訳(短期目標疾患・中長期目標疾患) 		
	短期目標	健診受診者の高血圧者の割合の減少(160/100mmHg以上)	7.1%	5.9%
詳細指標	<ul style="list-style-type: none"> ・Ⅱ度以上高血圧者のうち、治療中の割合(コントロール不良)・継続受診者の脂質改善状況 			

個別保健事業計画

3-6

事業名	高血圧重症化予防事業（保健指導）			
目的・背景	高血圧症で治療中の者のうち、循環器病発症リスクの高い者に対して医療機関と連携した保健指導を行い、適切に血圧をコントロールすることで重症化を予防することを目的とする。			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・心臓病、脳疾患の死因割合は、同規模保険者や国と比較して高い。 ・脳血管疾患、虚血性心疾患が医療費に占める割合は、同規模保険者や国と比較して高い 			
内容	<p>★愛媛県高血圧重症化予防プログラムに沿って実施</p> <p>対象者</p> <p>○高血圧で通院治療中かつ、高血圧治療ガイドラインによるリスク層別化で『高リスク』※に該当する者</p> <p>実施方法</p> <p>○対象者の選定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レセプト情報及び特定健診データから、より優先度の高い対象者を選定 ・かかりつけ医が保健指導を必要と判断した者について、紹介(指示)を受けて実施 <p>○かかりつけ医と連携した保健指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指示書に基づき保健指導を実施し、指導内容等の情報共有を行う。 <p>○専門職の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度な専門知識が必要となるため、研修による育成や委託により実施体制を確保する 			
評価指標	区分	指標	ベースライン (R4)	目標値 (R11)
	アウトカム	保健指導前後で血圧値が改善した者の割合	--	50%以上
	アウトプット	保健指導実施者数	--	前年度以上
	プロセス	事業該当者数及び事業対象者の把握	--	100%
	ストラクチャー	予算、人員の確保	--	100%

目標	中・長期目標	脳血管疾患の総医療費に占める割合の減少	2.37%	2.03%
		虚血性心疾患の総医療費に占める割合の減少	1.63%	1.45%
		慢性腎不全(透析有)の総医療費に占める割合の減少	3.66%	3.48%
	詳細指標	<ul style="list-style-type: none"> ・脳梗塞、脳出血、虚血性心疾患、人工透析の新規患者割合と治療者割合 ・高血圧、脂質治療者のうち、合併症をもつ者の割合 ・総医療費の内訳(短期目標疾患・中長期目標疾患) 		
	短期目標	◎健診受診者の高血圧者の割合の減少(160/100mmHg以上)	7.1%	5.9%
詳細指標	<ul style="list-style-type: none"> ・Ⅱ度以上高血圧者のうち、治療中の割合(コントロール不良) 			

個別保健事業計画

3-7

事業名	生活習慣病重症化予防のための医療機関受診勧奨事業			
目的・背景	疾病の重症化防止と将来的な医療費適正化を目指して、特定健康診査の結果、既定の判定値を超え医療機関を受診する必要があるにもかかわらず未受診である者を、受診および治療に結びつける。			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・脳心血管疾患有病者では、高血圧、脂質異常症の有病率が75～80%にのぼる。 ・特定健診における受診勧奨判定値以上の割合は増加傾向にある。二次疾患の発症を抑制するために、未受診者に対して早期に受診を促し、基礎疾患をコントロールする必要がある。 			
内容	<p>対象者 特定健診結果で、脂質・腎機能が規定値以上にもかかわらず、医療機関未受診または受診を中断している者</p> <p>実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健診結果、レセプト情報から対象者を抽出し、通知文書・リーフレットを送付する。 ○通知後も未受診の者に対し、合併症リスクが高い人を中心に、個別の再勧奨を行う。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活習慣病予防に関するポピュレーションアプローチをあわせて実施 ○高齢者保健事業と介護予防事業の一体的実施の関係課と連携を行う。 			
評価指標	区分	指標	ベースライン (R4)	目標値 (R11)
	アウトカム	未受診者割合(通知対象者÷事業該当者)の減少	57.7%	前年度以下
	アウトプット	通知文書送付後の医療機関受診率	20.9%	通知前+20%以上
	プロセス	対象者の把握、通知送付、通知後の受診状況確認	100%	100%
	ストラクチャー	予算、人員の確保	100%	100%

目標	中・長期目標	脳血管疾患の総医療費に占める割合の減少	2.37%	2.03%
		虚血性心疾患の総医療費に占める割合の減少	1.63%	1.45%
		慢性腎不全(透析有)の総医療費に占める割合の減少	3.66%	3.48%
	詳細指標	<ul style="list-style-type: none"> ・脳梗塞、脳出血、虚血性心疾患、人工透析の新規患者割合と治療者割合 ・脂質治療者のうち、合併症をもつ者の割合 		
	短期目標	健診受診者の脂質異常者の割合の減少(LDL180mg/dl以上)	4.2%	3.48%
詳細指標	<ul style="list-style-type: none"> ・事業対象者の割合 ・継続受診者の脂質改善状況 			

個別保健事業計画

3-8

事業名	国保がん検診受診啓発事業(R6年度～)			
目的	がん検診を継続的に受診し早期発見・早期治療をすることにより、健康寿命の延伸と医療費の適正化を図る。			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診受診率は無料化事業等の取り組みにより向上したが、目標(25%)に達していない。 ・更なる新規受診者の獲得とがん検診の習慣化のため、対象者のニーズの把握を行うとともに、ターゲット層に合わせた啓発に取り組む必要がある。 			
内容	<p>【対象となるがん検診】 松山市のがん検診(胃・肺・大腸・乳・子宮頸・前立腺がん) ※対象年齢や受診間隔は国の推奨に準ずる</p> <p>【実施方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○がん検診を受けるメリットなどを、広報・チラシ等の媒体を活用して啓発 ○インセンティブを活用した利用促進 ○未受診者に対するアンケート等を分析し、効果的な周知・啓発・勧奨を行う。 ○健康づくり推進課や関係機関と連携 			
評価指標	区分	指標	ベースライン (R4)	目標値 (R11)
	アウトカム	国保加入者のがん検診平均受診率	16.4%	25%以上
	詳細指標	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診受診率(市全体) ・がん発見率 		
	アウトプット	受診勧奨実施数(計画に対し)	--	100%
	プロセス	啓発・勧奨対象者の把握・選定	--	100%
ストラクチャー	健康づくり推進課・関係機関との連携、予算確保	--	2	

個別保健事業計画

3-9

事業名	重複・頻回受診者等指導事業			
目的・背景	はしご受診、重複服薬、頻回受診など受診行動の是正が必要な者に対し、適正受診へ向けた支援・指導を実施することにより、医療費適正化や薬の副作用の防止を図る。			
課題	<ul style="list-style-type: none"> 介入後の受診医療機関数・薬剤数・受診日数に減少は見られるが、医療費の削減額にはさほどつながっていない。 新規該当者は改善が見られやすい一方、繰り返し該当者としてあがってくる者も一定数いる。 			
内容	<p>対象者 はしご受診、頻回受診、重複服薬に該当する者のうち、指導の必要があると判断したもの</p> <p>実施方法 ○レセプト情報から受診行動の是正が必要な者を選出し、服薬情報(通知)と適正受診を促すリーフレットを送付(年1回実施) ○必要に応じて電話対応・訪問等で状況確認や支援・指導を実施</p> <p>その他 ○必要に応じて関係機関(医療機関・薬局・県業務衛生担当課など)と連携 ○広報・ホームページでの啓発や、マイナ保険証等の活用を促進するための啓発を実施</p>			
評価指標	区分	指標	ベースライン(R4)	目標値(R11)
	アウトカム	送付後の受診医療機関(1)、薬剤数(1)、受診日数(1)の減少者割合 50%以上	2	3
	アウトプット	通知実施率	100%	100%
	プロセス	対策実施による効果検証の実施	100%	100%
	ストラクチャー	予算の確保、医師会・薬剤師会との連携	--	--

目標	中・長期目標	基準該当者の減少	1.0	1.0 以下
	短期目標	医療費削減率(通知後医療費÷通知前医療費)	0.90	1.0 以下維持

個別保健事業計画

3-10

事業名	重複・多剤服用者対策事業			
目的	高齢者に起こりやすいとされるポリファーマシー(多剤服用)を防止するため、服薬情報を一覧にした文書を送付するなどにより、服薬の適正化を促す。			
課題	<ul style="list-style-type: none"> 本市 65 歳以上加入者のひとりあたり医療費が全国平均より高い 65 歳以上加入者は、65 歳未満と比べて調剤医療費が 1.5 倍、6 種類以上服薬している者が 2.3 倍にのぼる。 			
内容	<p>(1)服薬情報の通知</p> <p>対象者 重複服薬、多剤服薬に該当する者のうち、指導の必要があると判断したもの</p> <p>実施内容 ○対象者に服薬情報を記載した通知を送付(事業者委託) ○必要に応じて、保健師による服薬内容の見直しに向けたサポート</p> <p>(2)周知啓発 <ul style="list-style-type: none"> ポリファーマシーの認知度向上のための啓発 服薬適正化のためのポイントについて お薬手帳やマイナポータルの活用、かかりつけ薬局の利用推進、マイナ保険証の利用推進、電子処方箋やリフィル処方箋に関する情報提供 </p> <p>(3)その他 ○薬剤師会や医師会等、関係機関との連携</p>			
評価指標	区分	指標	ベースライン(R4)	目標値(R11)
	アウトカム	重複服薬が解消した人の割合	63.8%	40%以上を維持
	アウトプット	対象者の通知後の結果(変化)の把握	100%	100%
	プロセス	実施要領の作成	1	1
	ストラクチャー	予算確保(委託料、レセプト提供手数料、啓発資材作成料)	--	要求額=決定額

目標	中・長期目標	15日以上かつ6種類以上処方者の割合(65歳以上)	20.7%	20%以下
		1人あたり削減額(年額)の推移(R04年度=1.0)	1.0	1.0 以下
		基準該当者の減少(R4年度=1.0)	1.0	1.0 以下
	短期目標	重複服薬が解消した人の割合	63.8%	40%以上を維持

個別保健事業計画

3-11

事業名	ジェネリック医薬品普及啓発事業			
目的	被保険者に対し後発医薬品(ジェネリック医薬品)について周知・啓発を行うことで使用を促進し、被保険者の負担軽減及び医療費の抑制を図る。			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・国の掲げる目標(使用割合80%)は達成しているが、国平均には届いていない。 ・流通が不安定な状況が続いており、協力団体と連携し対策を講じていく必要がある。 			
内容	<p>(1)ジェネリック医薬品差額通知書の送付(委託事業)</p> <p>【実施内容】</p> <p>対象者 ジェネリック医薬品への切り替えについて、一定以上の差額がある者</p> <p>実施内容 切り替えが可能な医薬品と、その差額を通知する文書を送付</p> <p>(2)ジェネリック医薬品に関する情報提供</p> <p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保険証送付時に啓発用リーフレットを同封し、全世帯へ配布 ・ホームページ等の広報媒体での啓発や、窓口でのジェネリック医薬品希望カードの配布 ・ジェネリック医薬品への切り替えと併せて、OTC 医薬品の利用促進など、セルフメディケーションにつながる取組を実施 			
評価 指標	区分	指標	ベースライン (R4)	目標値 (R11)
	アウトカム	切替による削減効果額(R4を1.0とする)	1.0	1.0以上
		通知者のジェネリック医薬品切替率	14.6%	20%
	アウトプット	切り替え希望シール発送(国保加入世帯)	100%	100%
	プロセス	差額通知による切り替え状況の把握等の効果検証	1	1
ストラクチャー	予算確保、啓発・情報提供の整備	--	--	
目標	短期目標	ジェネリック医薬品使用割合80%以上を維持	80.0%	80%以上

3. 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

後期高齢者の自立した生活を実現し、健康寿命の延伸を図っていくためには、生活習慣病等の重症化を予防する取組と、生活機能の低下を防止する取組の双方を一体的に実施する必要があるため、後期高齢者医療の保健事業と介護予防との一体的な実施を進める必要があります。

(1) 事業の方向性

① 重症化予防の取組(ハイリスクアプローチ)

後期高齢者医療広域連合や市内の関係部局と連携し、糖尿病や高血圧などの重症化予防に取り組みます。

② 通いの場等への積極的な関与(ポピュレーションアプローチ)

市内の関係部局と連携し、集いの場などにおいて、地域の健康課題をテーマにした健康教育を行うほか、必要に応じて医療・介護などの各種サービスへ繋がります。

4. ポピュレーションアプローチ

地域全体の健康意識を底上げするため、ポピュレーションアプローチに取り組みます。生活習慣病の重症化により医療費や介護費等社会保障費の増大につながっている実態や、その背景にある本市の特性等について広く市民へ周知していきます。

また、関係部局と連携し、地区別の健診データや生活習慣等の情報から健康課題の分析を行うことで、地区特性を踏まえた効果的なアプローチを実施します(図表3-2)。

図表3-2: 統計からみえる松山市の食(例示)

統計からみえる松山市の食 ~ 総務省統計局 家計調査 2020~2022年平均 ~					
項目名	全国ランキング(※)		項目名	全国ランキング(※)	
	購入金額	購入量		購入金額	購入量
みかん	1位	4位	牛乳	44位	47位
その他の柑橘	2位	2位	生鮮野菜	46位	49位
ちくわ	3位	—	豆類	46位	—
そうざい材料セット	4位	—	海藻	50位	—
ハンバーガー(外食)	4位	—	チーズ	51位	47位
その他のパン	6位	1位	米	52位	51位

※都道府県庁所在市及び政令指定都市(全52都市)

第4章 特定健康診査・特定保健指導の実施(法定義務)

1. 第4期特定健康診査等実施計画について

保険者は、高齢者の医療の確保に関する法律第19条に基づき、特定健康診査等実施計画を定めま
す。第4期特定健康診査等実施計画からの主な変更点は以下のとおりです(図表4-1)。

図表4-1: 第4期特定健康診査等実施計画(2024年以降)での変更点

特定健診 の見直し	(1) 基本的な健診の項目 中性脂肪において、やむを得ず空腹時以外で中性脂肪を測定する場合は、食直後を除き随時中性脂肪による血中脂質検査を可とした。
	(2) 標準的な質問票 喫煙や飲酒に係る質問項目について、より正確にリスクを把握できるよう詳細な選択肢へ修正。特定保健指導の受診歴を確認する質問項目に修正
特定保健 指導の見 直し	(1) 評価体系の見直し 特定保健指導の実績評価にアウトカム評価を導入し、主要達成目標を腹囲2cm・体重2kg減とし、生活習慣病予防につながる行動変容や腹囲1cm・体重1kg減をその達成目標として設定
	(2) 特定保健指導の初回面接の分割実施の条件緩和 特定保健指導の初回面接は、特定健康診査実施日から1週間以内であれば初回面接の分割実施として取り扱えるよう条件を緩和
	(3) 糖尿病等の生活習慣病に係る服薬を開始した場合の実施率の考え方 特定健康診査実施後又は特定保健指導開始後に服薬を開始した者については、実施率の計算において、特定保健指導対象者として、分母に含めないことを可とした。
	(4) 生活習慣病に係る服薬中の者に対する服薬状況の確認及び特定保健指導対象者からの除外 服薬中の者の特定保健指導対象者からの除外に当たって、確認する医薬品の種類、確認手順等を保険者があらかじめ定めている場合は、専門職以外であっても対象者本人への事実関係の再確認と同意の取得を行えることとした。
	(5) その他の運用の改善 看護師が特定保健指導を行える暫定期間を第4期期間においても延長することとした。

出典: 特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き(第4版)

2. 目標値の設定

国が定める特定健診等基本指針を基に、目標値を以下のとおり設定します(図表4-2, 4-3)。

図表4-2: 特定健診受診率・特定保健指導実施率の目標値

年度	ベースライン (R4)	R6	R7	R8	R9	R10	R11
特定健診受診率	33.1%	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%	60.0%
特定保健指導実施率	24.8%	30.0%	36.0%	42.0%	48.0%	54.0%	60.0%

図表4-3: 特定健診・特定保健指導対象者の見込み(人)

年度		ベースライン (R4)	R6	R7	R8	R9	R10	R11
特定健診	対象者	68,106	65,697	64,301	63,118	62,313	61,722	61,474
	受診者数	22,510	22,994	25,720	28,403	31,157	33,947	36,884
特定保健指導	対象者数	2,473	2,593	2,900	3,203	3,513	3,828	4,159
	実施者数	614	778	1,044	1,345	1,686	2,067	2,495

※住民基本台帳をもとに、国保・年金課で独自推計

3. 特定健診の実施

(1) 対象者

松山市国民健康保険に加入している40歳から74歳までの被保険者とします。

(2) 実施方法

健診は、特定健診実施機関に委託します。県医師会、各健診団体と市町村国保側の代表保険者が集合契約を行います。

- ① 集団健診(地域会場・健診施設)
- ② 個別健診(指定医療機関)

(3) 特定健診委託基準

高齢者の医療の確保に関する法律第28条と特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準(以下、実施基準と言う。)第16条第1項に基づき、具体的に委託できるものの基準については、厚生労働大臣の告示において定められています。

(4) 特定健診実施項目

国が定めた項目に加え、追加の検査(心電図・血清クレアチニン・尿酸・尿潜血・貧血)を実施します。血中脂質検査のうち LDL コレステロールについては、空腹時中性脂肪または随時中性脂肪が400mg/dl 以上又は食後採血の場合は、non-HDL コレステロールの測定に代えられます(実施基準第1条第4項)(図表4-4)。

図表4-4： 特定健診検査項目

健診項目		松山市	国	健診項目		松山市	国
身体測定	身長	○	○	血糖検査	空腹時血糖	●	●
	体重	○	○		HbA1C	○	●
	BMI	○	○		随時血糖	●	●
	腹囲	○	○	尿検査	尿糖	○	○
血压	収縮期血压	○	○		尿蛋白	○	○
	拡張期血压	○	○		尿潜血	○	
肝機能検査	AST(GOT)	○	○	血液学検査	ヘマトクリット値	○	□
	ALT(GPT)	○	○		血色素量	○	□
	γ-GT(γ-GTP)	○	○		赤血球数	○	□
血中脂質検査	空腹時中性脂肪	●	●	その他	心電図	○	□
	随時中性脂肪	●	●		眼底検査	□	□
	HDL-c	○	○		血清クレアチニン(eGFR)	○	□
	LDL-c	○	○		尿酸	○	
	(NON-HDL-c)						

○…必須項目、□…医師の判断に基づき選択的に実施する項目、●…いずれかの項目の実施で可

(5) 周知・案内の方法

対象者には5月末に特定健康診査受診券と受診方法等を記載した案内を送付します。実施率を高めるためには、対象者に認知してもらうことが不可欠であることから、案内の全戸配布に加え、市政広報やSNS等を活用し、幅広い世代に対して周知広報活動を行います。また、他の保険から国民健康保険へ加入する際、手続きの機会を活用した周知を図るほか、他の保険者と連携した情報提供を行います。

また、健診未受診者に対しては、未受診理由の把握や、受診行動に結び付きやすい通知方法を取り入れ、より効果的な勧奨を行います。

(6) 医療機関等との適切な連携

治療中であっても特定健診の対象者であることから、かかりつけ医からも本人へ健診受診を勧めってもらうなど、医療機関と連携した周知を行います。また、結果の見方を記載したリーフレットを配布し、健診受診者が自分自身の健康を振り返ることができるよう、健診実施機関と連携した情報提供を行います。

4. 特定保健指導の実施

(1) 対象者

特定健診の結果により、生活習慣の改善が必要であると判断された者とします。

(2) 対象者の抽出

特定健診の結果から、保健指導対象者の階層化を行います(図表4-5)。

図表4-5： 特定保健指導対象者の階層化

腹囲	追加リスク		喫煙歴	対象	
	①血圧	②脂質		③血糖	40-64 歳
≥85(男性) ≥90(女性)	2つ以上該当		あり なし	積極的支援	動機付け支援
	1つ該当				
上記以外で BMI≥25	3つ該当		あり なし	積極的支援	動機付け支援
	2つ該当				
	1つ該当				

①血圧	収縮期血圧 130mmHg 以上 または 拡張期血圧 85mmHg 以上
②脂質	中性脂肪 150mg/dl 以上(随時の場合 175mg/dl 以上) または HDL コレステロール 40mg/dl 未満
③血糖	空腹時血糖 100mg/dl 以上 または HbA1c5.6%以上

※服薬中の者は除く ※空腹時血糖と HbA1c の両方を測定している場合は、空腹時血糖の値を優先とする。

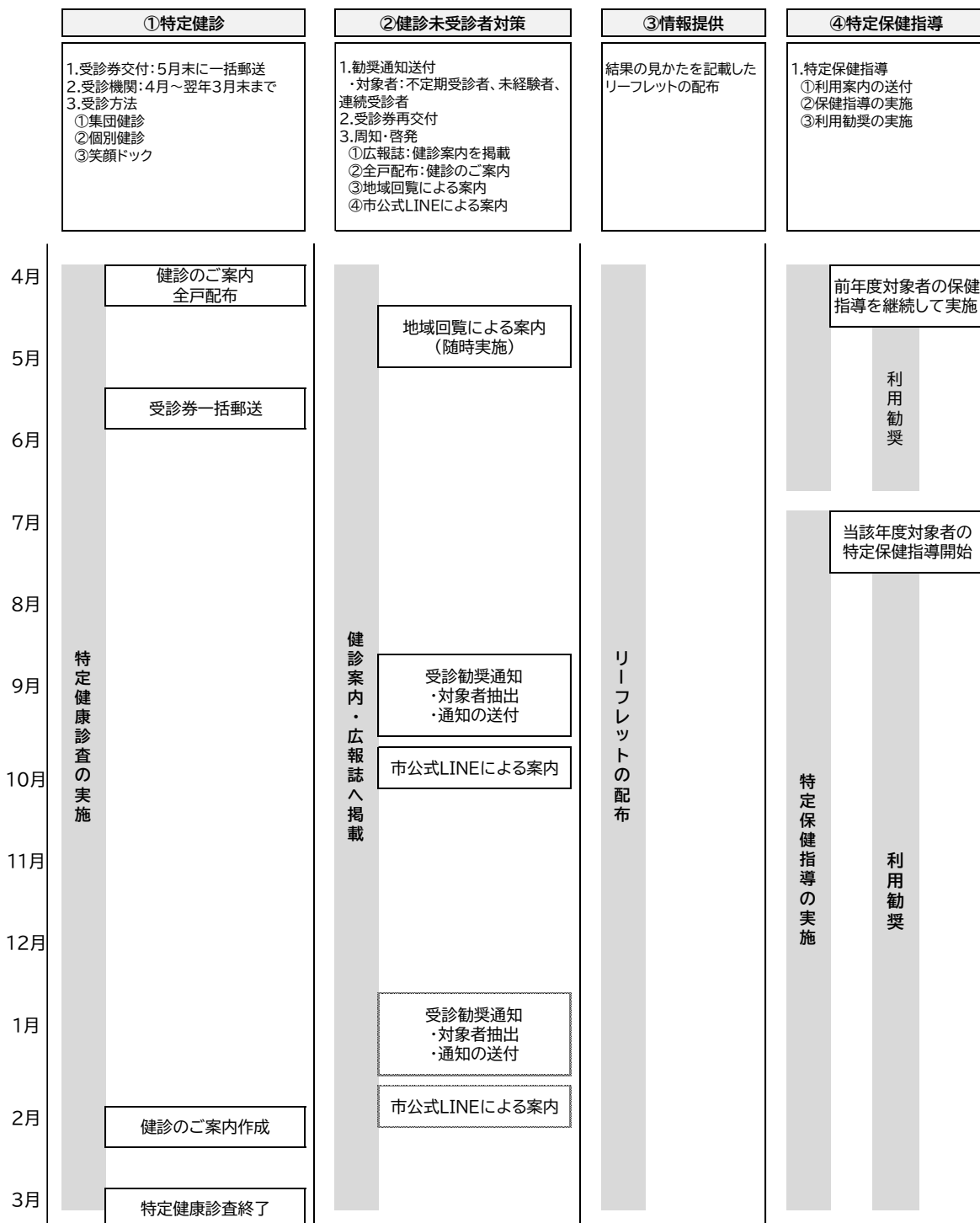
(3) 実施内容

特定保健指導は、保険者による直営と、民間事業者への委託により実施します。

(4) 生活習慣病予防のための健診・保健指導の実践スケジュール

特定健診・特定保健指導は、あらかじめ計画した年間スケジュールに沿って実施し、進捗状況を管理します(図表4-8)。

図表4-8: 健診・保健指導の年間スケジュール



(5) 実施率向上のための方策

より多くの対象者にメタボリックシンドロームの改善に取り組んでもらうためには、年代やライフスタイルなどに合わせた実施体制の構築や、取り組みやすい環境づくりを行う必要があります。

例えば、働き世代である40～50歳代の対象者には、隙間時間を活用して指導が受けられるようICTの活用や夜間・土日の実施など柔軟に対応できる環境を整えたり、健診当日に初回面接を分割して利用できる体制などを検討します。

また、申込みがなかった対象者への勧奨や、無関心層に対する働きかけの機会を設定するなど、様々な方法でアプローチを行っていきます。

なお、業務委託については、民間事業者ならではのアイデアや創意工夫を柔軟に採り入れ、より高い成果が得られるよう、成果連動型民間委託契約方式(PFS)の活用も検討します。

5. 個人情報の保護

(1) 基本的な考え方

特定健診・特定保健指導で得られる健康情報の取扱いについては、個人情報の保護に関する法律および松山市個人情報の保護に関する法律施行条例を踏まえた対応を行います。

また、特定健診、特定保健指導を外部委託する際は、個人情報の厳重な管理や、目的外使用の禁止等を契約書に定めます。

(2) 特定健診・保健指導の記録の管理・保存について

特定健診・特定保健指導の記録の管理は、自庁システムや特定健診データ管理システムで行います。

6. 結果の報告

実績報告については、特定健診データ管理システムから実績報告用データを作成し、健診実施年度の翌年度11月1日までに報告します。

7. 特定健康診査等実施計画の公表・周知

高齢者の医療の確保に関する法律第19条第3項の規定に基づき、計画は本市ホームページ等への掲載により公表、周知します。

(参考) 高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)第19条第3項
保険者は、特定健康診査等実施計画を定め、又はこれを変更したときは、
遅滞なく、これを公表しなければならない

第5章 計画の評価・見直し

1. 評価の時期

計画期間の中間年度に当たる令和8年度と最終年度に当たる令和11年度では、目標達成状況及び事業実施状況の評価を行い、新たな課題や状況を踏まえ、計画の見直しを図ります。

なお、必要な場合には、計画期間内でも計画の見直しを行うこととします。

2. 評価方法・体制

計画に基づき実施する各保健事業は、PDCAサイクルに沿って実施し、実施状況を定期的に把握・確認します。また、各事業で実施した内容及び結果については、以下の4つの指標に基づき評価します。

※評価における4つの指標

ストラクチャー (実施のための体制・システム)	・事業の運営状況を定期的に管理できる体制を整備しているか(予算等も含む。) ・保健指導実施のための専門職の配置・KDB活用環境の確保
プロセス (保健事業の実施過程)	・保健指導等の手順・教材はそろっているか ・必要なデータは入手できているか・スケジュールどおり行われているか
アウトプット (保健事業の実施量)	・特定健診受診率、特定保健指導実施率 ・計画した保健事業を実施したか・保健指導実施数、受診勧奨実施数など
アウトカム (成果)	・設定した目標に達することができたか(検査データの変化、医療費の変化、糖尿病等生活習慣病の有病者の変化、要介護率など)

第6章 計画の公表・周知及び個人情報の取扱い

1. 計画の公表・周知

計画は、本市ホームページ等の媒体を通じて周知するほか、これらの公表・配布に当たっては、被保険者、保健医療関係者の理解を促進するため、計画の要旨等をまとめた概要版を策定します。

2. 個人情報の取扱い

個人情報の保護に関する各種法令・ガイドラインに基づき、庁内等での利用、外部委託事業者への業務委託等の各場面で、その保有する個人情報の適切な取扱いが確保されるよう措置を講じます。

参考資料

参考資料1 様式 5-1 国・県・同規模と比べてみた松山市の位置

参考資料2 健診・医療・介護の一体的な分析

参考資料3 糖尿病重症化予防のためのレセプトと健診データの突合

参考資料4 高血圧重症化予防のためのレセプトと健診データの突合

参考資料5 脂質異常症重症化予防のためのレセプトと健診データの突合

参考資料6 HbA1c の年次比較

参考資料7 血圧の年次比較

参考資料8 LDL-C の年次比較

参考資料1：様式 5-1 国・県・同規模と比べてみた松山市の位置

様式5-1 国・県・同規模平均と比べてみた松山市の位置

R04年度

項目			保険者		同規模平均		県		国		データ元 (CSV)										
			実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合											
1	①	人口構成	総人口		487,452		31,452,289		1,299,781		123,214,261		KDB_NO.5 人口の状況 KDB_NO.3 健診・医療・介護データからみる地域の健康課題								
			65歳以上(高齢化率)	139,574	28.6	8,314,675	26.4	434,279	33.4	35,335,805	28.7										
			75歳以上	70,640	14.5	--	--	226,536	17.4	18,248,742	14.8										
			65~74歳	68,934	14.1	--	--	207,743	16.0	17,087,063	13.9										
			40~64歳	164,843	33.8	--	--	425,925	32.8	41,545,893	33.7										
	39歳以下	183,035	37.5	--	--	439,577	33.8	46,332,563	37.6												
	②	産業構成	第1次産業	3.2		1.8		7.7		4.0		KDB_NO.3 健診・医療・介護データからみる地域の健康課題									
			第2次産業	18.8		21.5		24.2		25.0											
			第3次産業	78.0		76.8		68.0		71.0											
	③	平均寿命	男性	80.5		80.9		80.2		80.8		KDB_NO.1 地域全体像の把握									
女性			87.2		87.1		86.8		87.0												
④	平均自立期間 (要介護2以上)	男性	80.1		80.1		79.9		80.1												
		女性	84.5		84.4		84.1		84.4												
2	①	死亡の状況	標準化死亡比 (SMR)	男性	100.7		99.3		103.6		100		KDB_NO.1 地域全体像の把握								
				女性	97.5		99.4		101.6		100										
				がん	1,485	47.1	90,510	51.2	4,549	46.0	378,272	50.6									
			心臓病	989	31.3	48,318	27.3	3,204	32.4	205,485	27.5										
			脳疾患	443	14.0	23,515	13.3	1,376	13.9	102,900	13.8										
			糖尿病	66	2.1	3,382	1.9	211	2.1	13,896	1.9										
	②	早世予防からみた死亡 (65歳未満)	合計	504		0.14		1,426		0.16		厚生省HP 人口動態調査 R2									
			男性	334		0.19		942		0.21											
	3	①	介護保険	1号認定者数(認定率)		31,293		22.5		1,702,783		20.5		KDB_NO.1 地域全体像の把握							
				新規認定者	要支援1.2	155,888		19.8		5,515,296		12.2			378,847		17.0		21,785,044		12.9
要介護1.2					342,614		43.5		20,534,112		45.5		1,014,715		45.6		78,107,378		46.3		
要介護3以上					289,722		36.8		19,041,017		42.2		829,972		37.3		68,963,503		40.8		
2号認定者					709		0.43		41,864		0.39		1,752		0.41		156,107		0.38		
②		有病状況	糖尿病	8,187		25.1		443,953		24.8		24,592		25.2		1,712,613		24.3			
			高血圧症	18,308		55.9		952,945		53.6		53,626		55.3		3,744,672		53.3			
			脂質異常症	13,366		40.7		602,481		33.6		36,861		37.9		2,308,216		32.6			
			心臓病	20,520		63.0		1,076,085		60.6		60,516		62.6		4,224,628		60.3			
			脳疾患	8,871		27.3		396,610		22.6		25,615		26.7		1,568,292		22.6			
			がん	3,840		11.7		219,003		12.2		11,323		11.6		837,410		11.8			
			筋・骨格	19,258		59.1		961,876		54.1		56,168		58.1		3,748,372		53.4			
精神		12,865		39.4		653,718		37.0		36,931		38.3		2,569,149		36.8					
③		介護給付費	一人当たり給付費	323,857		301,091		320,144		290,668		59,662		KDB_NO.1 地域全体像の把握							
			1件当たり給付費(全体)	57,347		55,521		62,527		59,662		59,662									
			居室サービス	45,354		41,018		44,617		41,272		41,272									
	施設サービス		297,139		300,596		293,644		296,364		296,364										
④	医療費等	要介護認定別 医療費(40歳以上)	認定あり	7,726		8,543		8,073		8,610		KDB_NO.1 地域全体像の把握									
		認定なし	4,014		3,918		4,125		4,020												
4	①	国保の状況	被保険者数		96,767		6,104,064		280,726		27,488,882		KDB_NO.1 地域全体像の把握 KDB_NO.5 被保険者の状況								
			65~74歳	44,075	45.5			137,232	48.9	11,129,271	40.5										
			40~64歳	30,577	31.6			86,793	30.9	9,088,015	33.1										
			39歳以下	22,115	22.9			56,701	20.2	7,271,596	26.5										
	加入率			19.9		19.4		21.6		22.3											
	②	医療の概況 (人口千対)	病院数	41		0.4		2076		0.3		134		0.5		8,237		0.3			
			診療所数	488		5.0		29,803		4.9		1,213		4.3		102,599		3.7			
			病床数	7,312		75.6		393,610		64.5		20,594		73.4		1,507,471		54.8			
			医師数	1,645		17.0		109,226		17.9		3,847		13.7		339,611		12.4			
			外来患者数	760.6				704.0				748.2				687.8					
			入院患者数	20.5				17.7				23.0				17.7					
	③	医療費の 状況	一人当たり医療費	382,535		県内16位 同規模18位		350,112		390,048		339,680		KDB_NO.3 健診・医療・介護データからみる地域の健康課題 KDB_NO.1 地域全体像の把握							
			受診率	781.072				721.674		771.192		705.439									
			外来	費用の割合	60.6		60.8		57.7		60.4		60.4								
件数の割合				97.4		97.5		97.0		97.5		97.5									
入院			費用の割合	39.4		39.2		42.3		39.6		39.6									
			件数の割合	2.6		2.5		3.0		2.5		2.5									
1件あたり入院日数			15.8日		15.7日		16.5日		15.7日		15.7日										

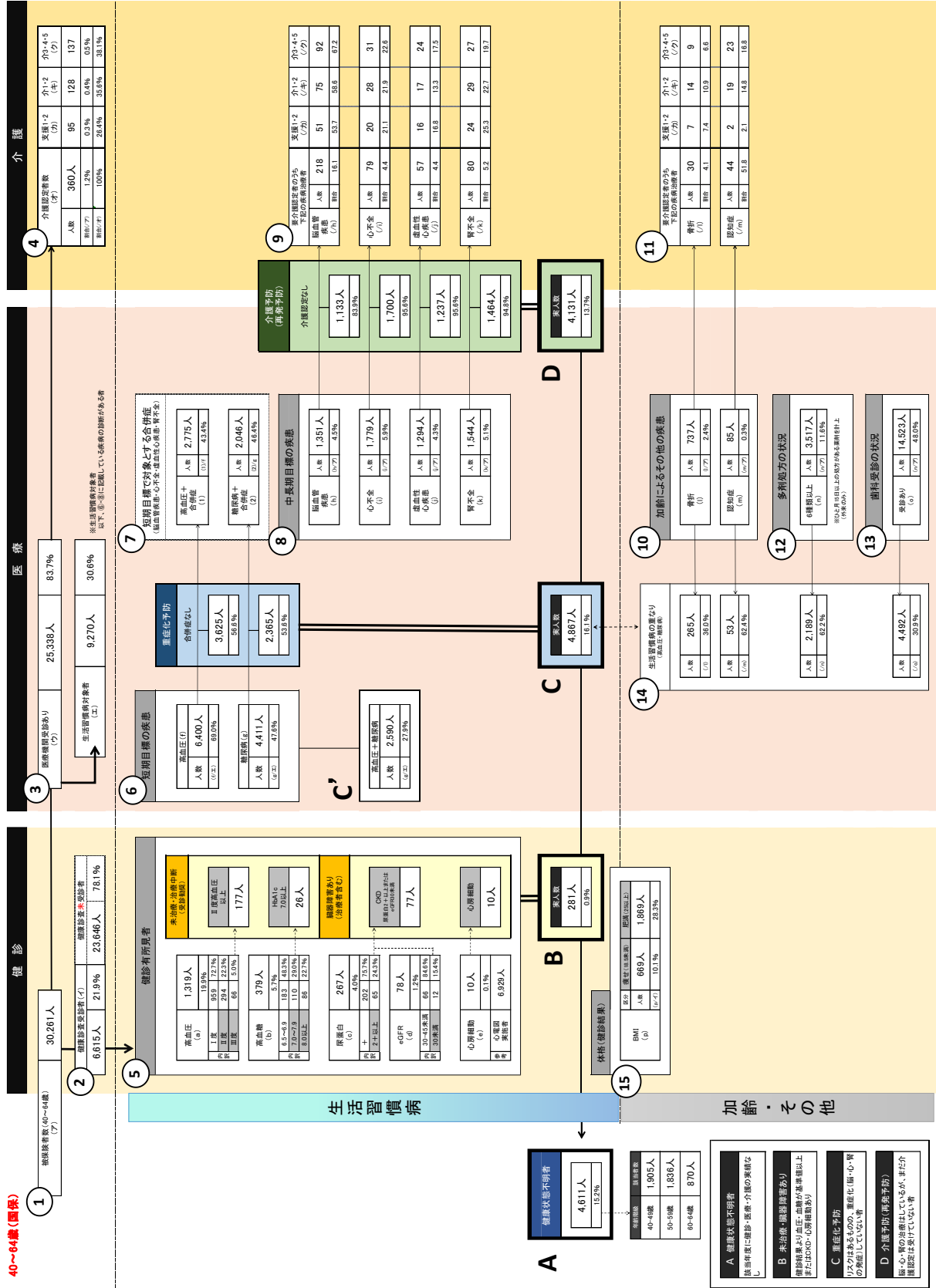
項目		保険者		同規模平均		県		国		データ元 (CSV)				
		実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合					
4	④	医療費分析 生活習慣病に 占める割合	最大医療資源債権名 (調剤含む)	がん	6,621,183,410	33.5	31.9	32.1	32.2	KDB NO.3 健診・医療・介護デー タからみる地域の健康課題				
				慢性腎不全(透析あり)	1,354,896,090	6.9	8.9	6.9	8.2					
				糖尿病	1,932,691,710	9.8	10.0	10.2	10.4					
				高血圧症	1,036,802,470	5.2	5.6	5.7	5.9					
				脂質異常症	719,524,700	3.6	4.0	3.5	4.1					
				脳梗塞・脳出血	872,206,720	4.4	4.0	4.3	3.9					
				狭心症・心筋梗塞	601,946,310	3.0	2.9	2.9	2.8					
				精神	2,746,921,220	13.9	15.2	15.4	14.7					
	筋・骨格	3,693,690,790	18.7	16.6	18.0	16.7								
	⑤	医療費分析 一人当たり医療 費/入院医療費 に占める割合	入院	高血圧症	215	0.1	241	0.2	308	0.2	KDB NO.43 疾病別医療費 分析(中分類)			
				糖尿病	1,238	0.8	1,146	0.8	1,400	0.8		1,144	0.9	
				脂質異常症	68	0.0	49	0.0	95	0.1		53	0.0	
				脳梗塞・脳出血	7,637	5.1	6,274	4.6	7,522	4.6		5,993	4.5	
				虚血性心疾患	4,359	2.9	4,079	3.0	4,360	2.6		3,942	2.9	
				腎不全	4,222	2.8	4,408	3.2	4,689	2.8		4,051	3.0	
		医療費分析 一人当たり医療 費/外来医療費 に占める割合	外来	高血圧症	10,499	4.5	9,803	4.6	11,793	5.2		10,143	4.9	
				糖尿病	19,357	8.3	17,457	8.2	20,683	9.2		17,720	8.6	
				脂質異常症	7,368	3.2	7,157	3.4	7,354	3.3		7,092	3.5	
				脳梗塞・脳出血	1,360	0.6	829	0.4	1,383	0.6		825	0.4	
虚血性心疾患				2,900	1.3	1,782	0.8	2,728	1.2	1,722		0.8		
腎不全	17,235	7.4	17,334	8.1	17,187	7.6	15,781	7.7						
⑥	健診有無別 一人当たり 点数	健診対象者 一人当たり	健診受診者	1,660		2,000		1,855		2,031	KDB NO.3 健診・医療・介護デー タからみる地域の健康課題			
			健診未受診者	16,451		13,838		15,257		13,295				
		生活習慣病対象者 一人当たり	健診受診者	4,540		5,971		5,151		6,142				
			健診未受診者	44,983		41,315		42,378		40,210				
⑦	健診・レセ 突合	受診勧奨者	13,002	57.7	836,876	56.5	40,463	59.3	3,881,055	57.0				
		医療機関受診率	12,193	54.1	782,814	52.9	36,976	54.2	3,543,116	52.0				
		医療機関非受診率	809	3.6	54,062	3.7	3,487	5.1	337,939	5.0				
5	特定健診の 状況	県内市町村数 22市町村 同規模市区町村数 85市町村	健診受診者	22,542		1,480,374		68,216		6,812,842	KDB NO.3 健診・医療・介護デー タからみる地域の健康課題 KDB NO.1 地域全体像の把握			
			受診率	32.6	県内16位 同規模65位	36.6	32.9	全国43位	37.1					
			特定保健指導終了者(実施率)	212	8.4	122,611	7.6	1,969	23.7	107,925		13.4		
			非肥満高血糖	2,079	9.2	125,292	8.5	6,471	9.5	615,549		9.0		
			メタボ	該当者	4,391	19.5	301,830	20.4	13,073	19.2		1,382,506	20.3	
				男性	3,025	32.5	206,190	33.6	9,026	30.8		965,486	32.0	
				女性	1,366	10.3	95,640	11.0	4,047	10.4		417,020	11.0	
				予備群	2,292	10.2	162,946	11.0	7,459	10.9		765,405	11.2	
				男性	1,572	16.9	111,262	18.1	5,111	17.4		539,738	17.9	
				女性	720	5.4	51,684	6.0	2,348	6.0		225,667	5.9	
			メタボ 該当・ 予備 群レ ベル	腹囲	総数	7,310	32.4	513,389	34.7	22,649		33.2	2,380,778	34.9
					男性	5,014	53.9	349,713	56.9	15,569		53.1	1,666,592	55.3
					女性	2,296	17.3	163,676	18.9	7,080		18.2	714,186	18.8
				BMI	総数	1,154	5.1	67,319	4.5	3,479		5.1	320,038	4.7
					男性	183	2.0	9,332	1.5	576		2.0	51,248	1.7
					女性	971	7.3	57,987	6.7	2,903		7.5	268,790	7.1
			血糖のみ	121	0.5	8,708	0.6	425	0.6	43,519		0.6		
			血圧のみ	1,620	7.2	114,347	7.7	5,415	7.9	539,490		7.9		
			脂質のみ	551	2.4	39,891	2.7	1,619	2.4	182,396		2.7		
血糖・血圧	570	2.5	41,700	2.8	1,985	2.9	203,072	3.0						
血糖・脂質	228	1.0	15,077	1.0	649	1.0	70,267	1.0						
血圧・脂質	2,146	9.5	146,589	9.9	6,246	9.2	659,446	9.7						
血糖・血圧・脂質	1,447	6.4	98,464	6.7	4,193	6.1	449,721	6.6						
6	①	問診の状況	服薬	高血圧	7,842	34.8	537,692	36.3	23,276	34.1	2,428,038	35.6		
				糖尿病	1,698	7.5	130,670	8.8	5,231	7.7	589,470	8.7		
②	既往歴	脂質異常症	6,551	29.1	432,260	29.2	18,399	27.0	1,899,637	27.9				
		脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	749	3.3	48,422	3.4	2,048	3.0	207,385	3.1				
6	③	生活習慣の 状況	喫煙	心臓病(狭心症・心筋梗塞等)	1,870	8.3	82,472	5.7	5,340	7.9	365,407	5.5		
				腎不全	248	1.1	12,462	0.9	890	1.3	53,898	0.8		
				貧血	3,109	13.8	162,557	11.3	11,405	16.8	702,088	10.7		
				週3回以上朝食を抜く	1,227	10.7	149,747	11.7	4,163	8.9	642,886	10.4		
				週3回以上食後間食(～H29)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
				週3回以上就寝前夕食(H30～)	1,618	14.1	196,610	15.5	6,796	14.5	976,348	15.7		
				週3回以上就寝前夕食	1,618	14.1	196,610	15.5	6,796	14.5	976,348	15.7		
				食べる速度が速い	3,196	27.9	342,542	27.0	12,912	27.6	1,659,705	26.8		
				20歳時体重から10kg以上増加	4,138	36.2	445,044	34.7	16,628	35.5	2,175,065	35.0		
				1回30分以上運動習慣なし	6,484	56.7	749,454	58.2	25,933	55.4	3,749,069	60.4		
				1日1時間以上運動なし	5,312	46.5	610,186	48.1	16,734	35.7	2,982,100	48.0		
				睡眠不足	3,229	28.2	319,558	25.0	13,268	28.3	1,587,311	25.6		
				毎日飲酒	2,404	20.9	342,507	24.7	10,430	22.2	1,658,999	25.5		
				時々飲酒	2,662	23.1	326,038	23.5	10,112	21.5	1,463,468	22.5		
④	一日 飲酒 量	1合未満	5,744	65.9	688,675	65.9	24,975	66.5	2,978,351	64.1				
		1～2合	2,013	23.1	235,087	22.5	8,752	23.3	1,101,465	23.7				
		2～3合	747	8.6	91,896	8.8	3,059	8.1	434,461	9.4				
		3合以上	216	2.5	29,106	2.8	773	2.1	128,716	2.8				

参考資料2： 健診・医療・介護の一体的な分析

①40～64歳(国保)

参考：【(B)】加入支援対象者一貫く保費・通院・生活習慣病予防(併発症) 【(C)】加入支援対象者一貫く保費・通院・生活習慣病予防(併発症) 【(D)】加入支援対象者一貫く保費・通院・生活習慣病予防(併発症)

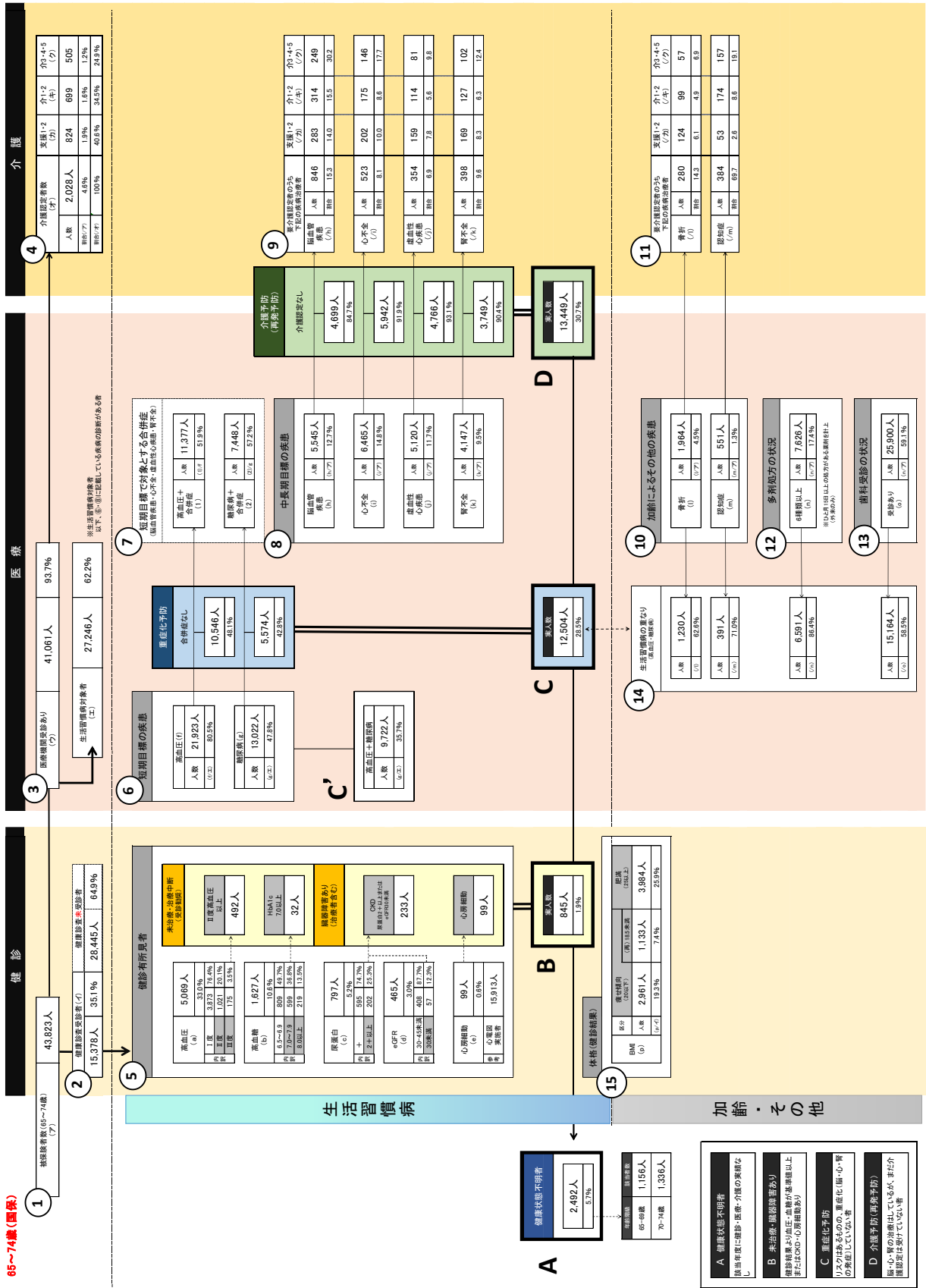
E表：健診・医療・介護データの一体的な分析から重症化予防・介護予防対象者を把握する（R04年度）



②65～74歳(国保)

【R04】介入対象者数(65～74歳) 43,823人
 【R03】介入対象者数(65～74歳) 41,061人
 【R02】介入対象者数(65～74歳) 27,246人
 【R01】介入対象者数(65～74歳) 2,492人

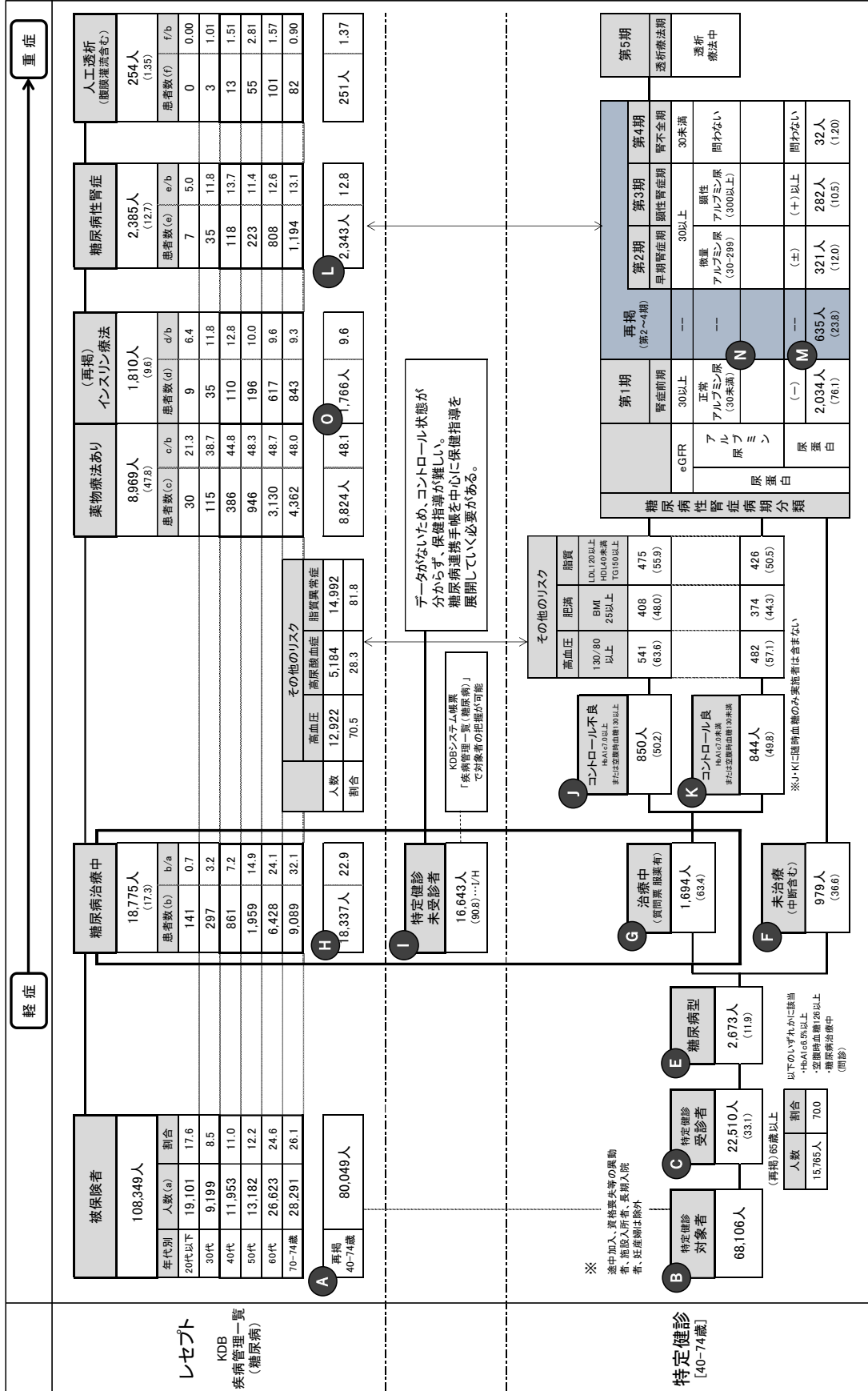
E表：健診・医療・介護データの一体的な分析から重症化予防・介護予防対象者を把握する（R04年度）



参考資料3：糖尿病重症化予防のためのレセプトと健診データの突合

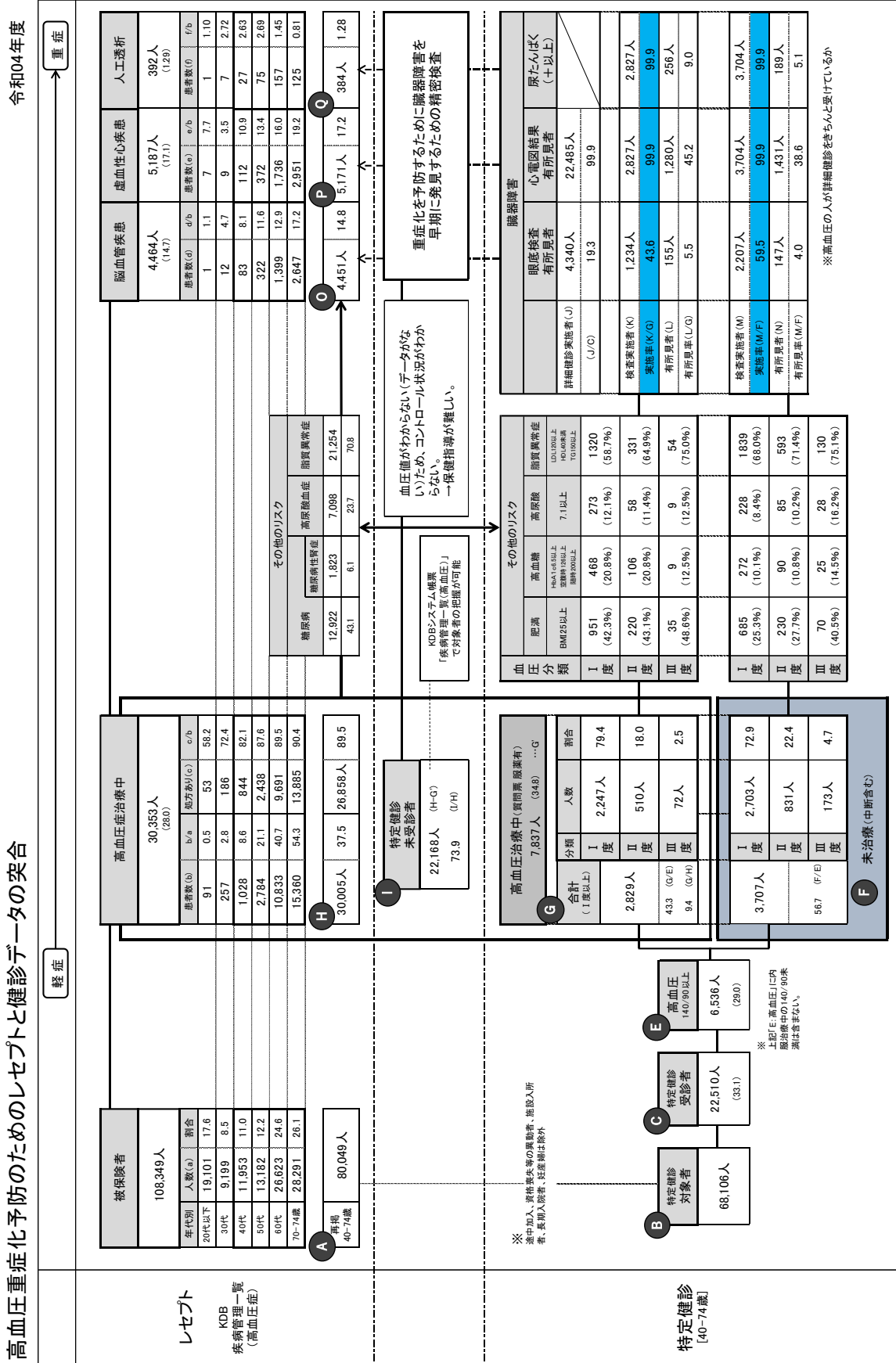
糖尿病重症化予防のためのレセプトと健診データの突合

令和04年度



※レセプト情報は、該当年度に資格がある者(合計)(年度途中の加入者や年度未時点に資格を喪失している者も含む)
 ※レセプト情報のうち、疾病管理一覧で把握できない項目については、「KDB構築」介入支援対象者一覧(栄養・重症化予防)から集計

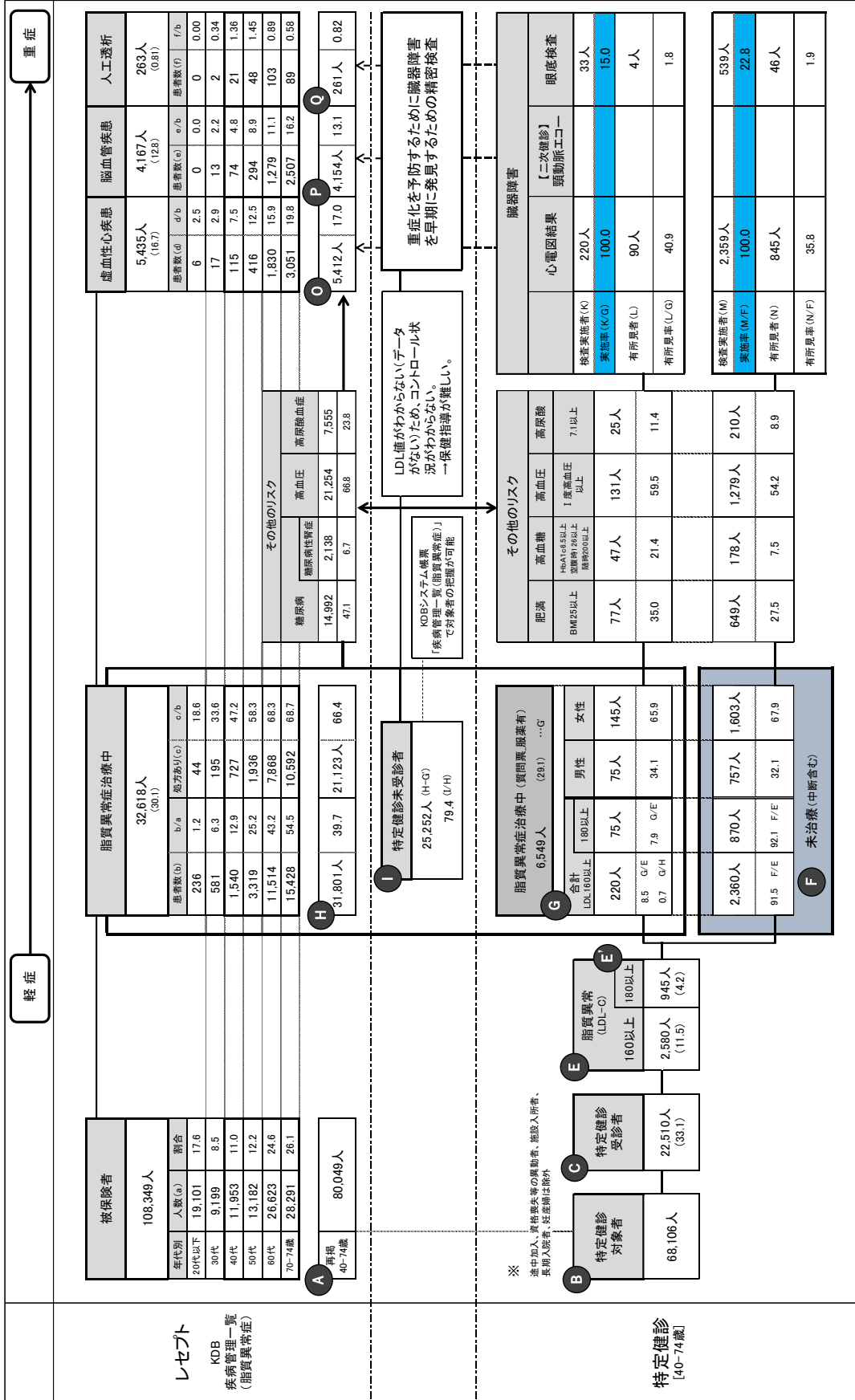
参考資料4： 高血圧重症化予防のためのレセプトと健診データの突合



参考資料5：脂質異常症重症化予防のためのレセプトと健診データの突合

脂質異常症重症化予防のためのレセプトと健診データの突合

令和04年度



※レセプト情報は、該当年度に資格が保たれている者(年齢途中の加入者や年度途中時点で資格を喪失している者も含む)
※レセプト情報のうち、疾病管理一覧で把握できない項目については、「KDB構築介入支援対象者一覧(栄養・重症化予防)」から漏計

参考資料6: HbA1cの年次比較

HbA1cの年次比較

	HbA1c測定		保健指導判定値						受診勧奨判定値						再掲			
			正常		正常高値		糖尿病の可能性が否定できない		糖尿病			合併症の危険が更に大きくなる						
			5.5以下		5.6~5.9		6.0~6.4		合併症予防のための目標		最低限達成が望ましい目標		8.0以上		7.4以上		8.4以上	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
A	B	B/A	C	C/A	D	D/A	E	E/A	F	F/A	G	G/A	H	H/A	I	I/A		
H29	23,015	10,030	43.6%	8,299	36.1%	2,721	11.8%	900	3.9%	734	3.2%	331	1.4%	653	2.8%	235	1.0%	
H30	24,688	11,226	45.5%	8,622	34.9%	2,824	11.4%	977	4.0%	745	3.0%	294	1.2%	619	2.5%	189	0.8%	
R01	23,179	9,968	43.0%	8,244	35.6%	2,860	12.3%	1,038	4.5%	736	3.2%	333	1.4%	635	2.7%	215	0.9%	
R02	20,887	8,936	42.8%	7,424	35.5%	2,599	12.4%	905	4.3%	743	3.6%	280	1.3%	587	2.8%	201	1.0%	
R03	21,147	8,774	41.5%	7,597	35.9%	2,789	13.2%	923	4.4%	756	3.6%	308	1.5%	634	3.0%	197	0.9%	
R04	22,510	9,143	40.6%	8,318	37.0%	2,997	13.3%	1,011	4.5%	731	3.2%	310	1.4%	611	2.7%	213	0.9%	

アウトカム(結果)評価 糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群の25%減少を目指して

重症化しやすいHbA1c6.5以上の方の減少は

年度	HbA1c測定	5.5以下	5.6~5.9	6.0~6.4	6.5以上			再掲		再掲率
					再)7.0以上	未治療	治療	再掲	割合	
H29	23,015	10,030 43.6%	8,299 36.1%	2,721 11.8%	1,965	911	1,054	8.5%	8.5%	
					1,065 4.6%	372 1.6%	693 3.0%	4.6%		
H30	24,688	11,226 45.5%	8,622 34.9%	2,824 11.4%	2,016	885	1,131	8.2%	8.2%	
					1,039 4.2%	360 1.4%	679 2.7%	4.2%		
R01	23,179	9,968 43.0%	8,244 35.6%	2,860 12.3%	2,107	943	1,164	9.1%	9.1%	
					1,069 4.6%	370 1.6%	699 3.0%	4.6%		
R02	20,887	8,936 42.8%	7,424 35.5%	2,599 12.4%	1,928	810	1,118	9.2%	9.2%	
					1,023 4.9%	333 1.6%	690 3.3%	4.9%		
R03	21,147	8,774 41.5%	7,597 35.9%	2,789 13.2%	1,987	795	1,192	9.4%	9.4%	
					1,064 5.0%	319 1.5%	745 3.5%	5.0%		
R04	22,510	9,143 40.6%	8,318 37.0%	2,997 13.3%	2,052	834	1,218	9.1%	9.1%	
					1,041 4.6%	325 1.4%	716 3.1%	4.6%		

治療と未治療の状況

	HbA1c測定		保健指導判定値						受診勧奨判定値						再掲				
			正常		正常高値		糖尿病の可能性が否定できない		糖尿病			合併症の危険が更に大きくなる							
			5.5以下		5.6~5.9		6.0~6.4		合併症予防のための目標		最低限達成が望ましい目標		8.0以上		7.4以上		8.4以上		
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
A	B	B/A	C	C/A	D	D/A	E	E/A	F	F/A	G	G/A	H	H/A	I	I/A			
治療中	H29	1,475	6.4%	25	1.7%	100	6.8%	296	20.1%	361	24.5%	500	33.9%	193	13.1%	415	28.1%	125	8.5%
	H30	1,551	6.3%	25	1.6%	107	6.9%	288	18.6%	452	29.1%	492	31.7%	187	12.1%	420	27.1%	108	7.0%
	R01	1,579	6.8%	24	1.5%	89	5.6%	302	19.1%	465	29.4%	485	30.7%	214	13.6%	423	26.8%	130	8.2%
	R02	1,542	7.4%	22	1.4%	83	5.4%	319	20.7%	428	27.8%	496	32.2%	194	12.6%	405	26.3%	137	8.9%
	R03	1,607	7.6%	35	2.2%	80	5.0%	300	18.7%	447	27.8%	533	33.2%	212	13.2%	453	28.2%	127	7.9%
	R04	1,694	7.5%	36	2.1%	110	6.5%	330	19.5%	502	29.6%	508	30.0%	208	12.3%	437	25.8%	134	7.9%
治療なし	H29	21,540	93.6%	10,005	46.4%	8,199	38.1%	2,425	11.3%	539	2.5%	234	1.1%	138	0.6%	238	1.1%	110	0.5%
	H30	23,137	93.7%	11,201	48.4%	8,515	36.8%	2,536	11.0%	525	2.3%	253	1.1%	107	0.5%	199	0.9%	81	0.4%
	R01	21,600	93.2%	9,944	46.0%	8,155	37.8%	2,558	11.8%	573	2.7%	251	1.2%	119	0.6%	212	1.0%	85	0.4%
	R02	19,345	92.6%	8,914	46.1%	7,341	37.9%	2,280	11.8%	477	2.5%	247	1.3%	86	0.4%	182	0.9%	64	0.3%
	R03	19,540	92.4%	8,739	44.7%	7,517	38.5%	2,489	12.7%	476	2.4%	223	1.1%	96	0.5%	181	0.9%	70	0.4%
	R04	20,816	92.5%	9,107	43.8%	8,208	39.4%	2,667	12.8%	509	2.4%	223	1.1%	102	0.5%	174	0.8%	79	0.4%

参考資料7： 血圧の年次比較

血圧の年次比較

	血圧測定者	正常				保健指導		受診勧奨判定値					
		正常		正常高値		高値血圧		Ⅰ度		Ⅱ度		Ⅲ度	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
A	B	B/A	C	C/A	B	B/A	D	D/A	E	E/A	F	F/A	
H29	23,015	6,499	28.2%	4,009	17.4%	6,262	27.2%	5,024	21.8%	1,031	4.5%	190	0.8%
H30	24,689	7,072	28.6%	4,153	16.8%	6,712	27.2%	5,407	21.9%	1,125	4.6%	220	0.9%
R01	23,179	6,431	27.7%	4,093	17.7%	6,348	27.4%	5,046	21.8%	1,081	4.7%	180	0.8%
R02	20,903	5,152	24.6%	3,495	16.7%	5,893	28.2%	4,899	23.4%	1,225	5.9%	239	1.1%
R03	21,147	5,361	25.4%	3,548	16.8%	5,895	27.9%	4,845	22.9%	1,269	6.0%	229	1.1%
R04	22,510	6,127	27.2%	3,766	16.7%	6,081	27.0%	4,950	22.0%	1,341	6.0%	245	1.1%

アウトカム(結果)評価 糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群の25%減少を目指して

重症化しやすいⅡ度以上高血圧の方の減少は

年度	健診受診者	正常 正常高値	高値	Ⅰ度 高血圧	Ⅱ度以上高血圧			再診 Ⅲ度高血圧	再掲	割合	
					再)Ⅲ度高血圧	未治療					割合
						人数	割合				
H29	23,015	10,508 45.7%	6,262 27.2%	5,024 21.8%	1,221	743	478	5.3%	5.3%	0.8%	
					190 0.8%	124 65.3%	66 34.7%				
H30	24,689	11,225 45.5%	6,712 27.2%	5,407 21.9%	1,345	844	501	5.4%	5.4%	0.9%	
					220 0.9%	165 75.0%	55 25.0%				
R01	23,179	10,524 45.4%	6,348 27.4%	5,046 21.8%	1,261	738	523	5.4%	5.4%	0.8%	
					180 0.8%	118 65.6%	62 34.4%				
R02	20,903	8,647 41.4%	5,893 28.2%	4,899 23.4%	1,464	886	578	7.0%	7.0%	1.1%	
					239 1.1%	167 69.9%	72 30.1%				
R03	21,147	8,909 42.1%	5,895 27.9%	4,845 22.9%	1,498	916	582	7.1%	7.1%	1.1%	
					229 1.1%	152 66.4%	77 33.6%				
R04	22,510	9,893 43.9%	6,081 27.0%	4,950 22.0%	1,586	1,004	582	7.0%	7.0%	1.1%	
					245 1.1%	173 70.6%	72 29.4%				

治療と未治療の状況

	血圧測定者	正常				保健指導		受診勧奨判定値							
		正常		正常高値		高値血圧		Ⅰ度		Ⅱ度		Ⅲ度			
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
A	B	B/A	C	C/A	C	C/A	D	D/A	E	E/A	F	F/A			
治療中	H29	7,624	33.1%	1,086	14.2%	1,333	17.5%	2,482	32.6%	2,245	29.4%	412	5.4%	66	0.9%
	H30	8,178	33.1%	1,150	14.1%	1,415	17.3%	2,739	33.5%	2,373	29.0%	446	5.5%	55	0.7%
	R01	7,898	34.1%	1,059	13.4%	1,410	17.9%	2,656	33.6%	2,250	28.5%	461	5.8%	62	0.8%
	R02	7,326	35.0%	892	12.2%	1,196	16.3%	2,428	33.1%	2,232	30.5%	506	6.9%	72	1.0%
	R03	7,405	35.0%	918	12.4%	1,292	17.4%	2,434	32.9%	2,179	29.4%	505	6.8%	77	1.0%
	R04	7,837	34.8%	1,152	14.7%	1,330	17.0%	2,526	32.2%	2,247	28.7%	510	6.5%	72	0.9%
治療なし	H29	15,391	66.9%	5,413	35.2%	2,676	17.4%	3,780	24.6%	2,779	18.1%	619	4.0%	124	0.8%
	H30	16,511	66.9%	5,922	35.9%	2,738	16.6%	3,973	24.1%	3,034	18.4%	679	4.1%	165	1.0%
	R01	15,281	65.9%	5,372	35.2%	2,683	17.6%	3,692	24.2%	2,796	18.3%	620	4.1%	118	0.8%
	R02	13,577	65.0%	4,260	31.4%	2,299	16.9%	3,465	25.5%	2,667	19.6%	719	5.3%	167	1.2%
	R03	13,742	65.0%	4,443	32.3%	2,256	16.4%	3,461	25.2%	2,666	19.4%	764	5.6%	152	1.1%
	R04	14,673	65.2%	4,975	33.9%	2,436	16.6%	3,555	24.2%	2,703	18.4%	831	5.7%	173	1.2%

参考資料8: LDL-Cの年次比較

LDL-Cの年次比較

	LDL測定者	正常		保健指導判定値				受診勧奨判定値				
		120未満		120～139		140～159		160～179		180以上		
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
	A	B	B/A	C	C/A	D	D/A	E	E/A	F	F/A	
総数	H29	23,015	10,790	46.9%	5,763	25.0%	3,717	16.2%	1,728	7.5%	1,017	4.4%
	H30	24,689	11,406	46.2%	6,069	24.6%	4,079	16.5%	1,996	8.1%	1,139	4.6%
	R01	23,179	10,793	46.6%	5,627	24.3%	3,918	16.9%	1,835	7.9%	1,006	4.3%
	R02	20,903	9,479	45.3%	5,080	24.3%	3,493	16.7%	1,764	8.4%	1,087	5.2%
	R03	21,147	9,625	45.5%	5,142	24.3%	3,603	17.0%	1,760	8.3%	1,017	4.8%
R04	22,510	10,914	48.5%	5,458	24.2%	3,558	15.8%	1,635	7.3%	945	4.2%	
男性	H29	9,264	4,975	53.7%	2,193	23.7%	1,284	13.9%	542	5.9%	270	2.9%
	H30	9,947	5,231	52.6%	2,358	23.7%	1,418	14.3%	633	6.4%	307	3.1%
	R01	9,553	5,030	52.7%	2,230	23.3%	1,403	14.7%	600	6.3%	290	3.0%
	R02	8,592	4,443	51.7%	2,066	24.0%	1,198	13.9%	559	6.5%	326	3.8%
	R03	8,699	4,465	51.3%	2,002	23.0%	1,343	15.4%	574	6.6%	315	3.6%
R04	9,293	5,065	54.5%	2,115	22.8%	1,281	13.8%	546	5.9%	286	3.1%	
女性	H29	13,751	5,815	42.3%	3,570	26.0%	2,433	17.7%	1,186	8.6%	747	5.4%
	H30	14,742	6,175	41.9%	3,711	25.2%	2,661	18.1%	1,363	9.2%	832	5.6%
	R01	13,626	5,763	42.3%	3,397	24.9%	2,515	18.5%	1,235	9.1%	716	5.3%
	R02	12,311	5,036	40.9%	3,014	24.5%	2,295	18.6%	1,205	9.8%	761	6.2%
	R03	12,448	5,160	41.5%	3,140	25.2%	2,260	18.2%	1,186	9.5%	702	5.6%
R04	13,217	5,849	44.3%	3,343	25.3%	2,277	17.2%	1,089	8.2%	659	5.0%	

アウトカム(結果)評価 糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群の25%減少を目指して

重症化しやすいLDL160以上の方の減少は

年度	健診受診者	120未満	120～139	140～159	160以上			再掲
					再)180以上	未治療	治療	
H29	23,015	10,790 46.9%	5,763 25.0%	3,717 16.2%	2,745 11.9%	2,506 91.3%	239 8.7%	4.4%
					1,017 4.4%	940 92.4%	77 7.6%	11.9%
H30	24,689	11,406 46.2%	6,069 24.6%	4,079 16.5%	3,135 12.7%	2,892 92.2%	243 7.8%	4.6%
					1,139 4.6%	1,061 93.2%	78 6.8%	12.7%
R01	23,179	10,793 46.6%	5,627 24.3%	3,918 16.9%	2,841 12.3%	2,606 91.7%	235 8.3%	4.3%
					1,006 4.3%	932 92.6%	74 7.4%	12.3%
R02	20,903	9,479 45.3%	5,080 24.3%	3,493 16.7%	2,851 13.6%	2,614 91.7%	237 8.3%	5.2%
					1,087 5.2%	1,006 92.5%	81 7.5%	13.6%
R03	21,147	9,625 45.5%	5,142 24.3%	3,603 17.0%	2,777 13.1%	2,562 92.3%	215 7.7%	4.8%
					1,017 4.8%	950 93.4%	67 6.6%	13.1%
R04	22,510	10,914 48.5%	5,458 24.2%	3,558 15.8%	2,580 11.5%	2,360 91.5%	220 8.5%	4.2%
					945 4.2%	870 92.1%	75 7.9%	11.5%

治療と未治療の状況

	LDL測定者	正常		保健指導判定値				受診勧奨判定値					
		120未満		120～139		140～159		160～179		180以上			
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
	A	B	B/A	C	C/A	D	D/A	E	E/A	F	F/A		
治療中	H29	5,832	25.3%	3,876	66.5%	1,230	21.1%	487	8.4%	162	2.8%	77	1.3%
	H30	6,422	26.0%	4,286	66.7%	1,338	20.8%	555	8.6%	165	2.6%	78	1.2%
	R01	6,218	26.8%	4,154	66.8%	1,294	20.8%	535	8.6%	161	2.6%	74	1.2%
	R02	6,016	28.8%	3,990	66.3%	1,281	21.3%	508	8.4%	156	2.6%	81	1.3%
	R03	6,144	29.1%	4,052	66.0%	1,325	21.6%	552	9.0%	148	2.4%	67	1.1%
R04	6,549	29.1%	4,523	69.1%	1,301	19.9%	505	7.7%	145	2.2%	75	1.1%	
治療なし	H29	17,183	74.7%	6,914	40.2%	4,533	26.4%	3,230	18.8%	1,566	9.1%	940	5.5%
	H30	18,267	74.0%	7,120	39.0%	4,731	25.9%	3,524	19.3%	1,831	10.0%	1,061	5.8%
	R01	16,961	73.2%	6,639	39.1%	4,333	25.5%	3,383	19.9%	1,674	9.9%	932	5.5%
	R02	14,887	71.2%	5,489	36.9%	3,799	25.5%	2,985	20.1%	1,608	10.8%	1,006	6.8%
	R03	15,003	70.9%	5,573	37.1%	3,817	25.4%	3,051	20.3%	1,612	10.7%	950	6.3%
R04	15,961	70.9%	6,391	40.0%	4,157	26.0%	3,053	19.1%	1,490	9.3%	870	5.5%	

松山市国民健康保険
第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)・
第4期特定健康診査等実施計画(案)

令和6年3月

松山市保健福祉部 国保・年金課
〒790-8571 松山市二番町4丁目7番地2
TEL:(089)948-6375 FAX:(089)934-2631
Email:kokuhonenkin@city.matsuyama.ehime.jp